

2020年2月

「東京レインボープライド
2019 来場者アンケート調査」
報告書

駒澤大学文学部社会学科社会学専攻 松信ひろみ研究室

目 次

はじめに（調査の実施概要と結果の概況）	1-9
---------------------	-----

第一章 アンケート集計結果

Q1 東京レインボープライド 2019 を知ったきっかけ	10
Q2 東京レインボープライド（パレード）への参加回数	10-11
Q3 参加目的	11
Q3SQ1 Q3 で最も主要な目的	11-12
Q4 会場での催しの満足度	12-14
Q4SQ1 会場での催しに満足しなかった理由	14-17
Q5 パレードへの参加方法	17-18
Q6 ブース出展している企業への好感度	18
Q7 レインボーウィーク期間の他の催しへの参加予定	18-19
Q9 LGBT 関連の団体や活動への参加状況	19
Q9SQ1 LGBT 関連の団体や活動に参加しない理由	20
Q10 学校での LGBT 教育の経験の有無	20-21
Q10SQ1 学校で経験した LGBT 教育の内容	21
Q10SQ2 学校での LGBT 教育の時期	22
Q11 職場での LGBT 研修の経験の有無と内容	22
Q11SQ1 職場で経験した LGBT 研修の内容	23
Q11SQ2 職場での LGBT 研修の対象者	23-24
Q12 学校での LGBT 教育への希望の有無	24
Q12SQ1 学校で希望する LGBT 教育の内容	24-25
Q12SQ2 学校での LGBT 教育の望ましい時期	25
Q13 職場での LGBT 研修への希望の有無	25-26
Q13SQ1 職場で希望する LGBT 研修の内容	26
Q13SQ2 職場での LGBT 研修の望ましい対象者	26-27
Q14 商品購入の基準（その製品の会社が LGBT に理解があるか否か）	27
Q15 職場選択の基準（LGBT に理解がある企業か否か）	27-28
Q16 LGBT が集まるお店の利用	28
Q17 日本で必要だと思われる同性カップルの法的保障制度	28-29
Q18 セクシュアリティを表現する言葉の認知	29-31
Q19 LGBT が子どもを養育することの是非	31-32
Q20 LGBT カップルの家族形成	32-33

Q21	回答者の年齢	33
Q22	回答者の居住地	33-34
Q23	回答者の家族構成	34
Q24	回答者の職業	34-35
Q25	回答者の LGBT であるか否か	35
Q26	パートナーの有無	35
Q27	同性パートナーシップ証明書の利用への意向	36
Q27SQ1	同性パートナーシップ証明書を利用しない理由	36-37
Q27SQ2	同性パートナーシップ証明書を利用する理由	37-38
Q28	パートナーとの関係で望むこと	38
Q29	パートナーとの間に子どもを望むか	38-39
Q29SQ1	パートナーとの間に子どもを望む理由	39
Q29SQ2	パートナーとの間に子どもを望まない理由	40
Q30	LGBT であることで感じる日常生活での不便・不自由	40-42
Q31	LGBT ではない人に求める理解の内容	42
Q32	回答者の身体的性と性自認	42-43
Q33	回答者の性的指向	43-44
Q34	回答者が自身のセクシュアリティを認識した時期	44-45
Q35	回答者のカミングアウトの状況	45-46
Q35SQ1	回答者がカミングアウトしている人	46
Q35SQ2	回答者がカミングアウトをしていない理由	46-47

第二章 アンケート項目の「その他」の具体的内容と自由記述

Q1	「その他」	48
Q3	「その他」	48-49
Q3SQ1	「その他」	49
Q4SQ1a~e	「その他」	49-50
Q4SQ2 a~e	具体的記述内容	50-51
Q5SQ1	具体的記述内容	51-52
Q7	「その他」	52
Q8	具体的記述内容	52-53
Q9SQ1	「その他」	53
Q10SQ1	「その他」	54
Q10SQ2	「その他」	54

Q11SQ1 「その他」	54
Q11SQ2 「その他」	54
Q12SQ1 「その他」	55
Q12SQ2 「その他」	55
Q13SQ1 「その他」	55
Q13SQ2 「その他」	56
Q17 「その他」	56
Q20 「その他」	56
Q22 「その他」	56
Q23 「その他」	56
Q24 「その他」	57
Q27SQ1 「その他」	57
Q27SQ2 「その他」	58
Q28 「その他」	58
Q29 「その他」	58
Q29SQ1 「その他」	58-59
Q29SQ2 「その他」	59
Q32 「その他」	59
Q33 「その他」	59
Q34 「その他」	60
Q35SQ1 「その他」	60
Q35SQ2 「その他」	60
自由記述 (感想・意見)	60-64

(参考資料 1) 調査票見本

(参考資料 2) 東京レインボープライド来場者アンケート 2015 年～2019 年 5 年間比較

あとがき (来場者アンケートを実施して)

はじめに（調査の実施概要と結果の概況）

本報告書は、2019年4月28日、及び29日に代々木公園イベント広場（東京都渋谷区）にて開催された「東京レインボープライド2019」のステージイベント、ブース、パレードに来場・参加された方々を対象として、特定非営利法人東京レインボープライド（共同代表：山縣真矢・杉山文野）の協力を得て、駒澤大学文学部社会学科社会学専攻松信ひろみ研究室（社会学専門演習Ⅱ）が実施した「レインボープライド2019来場者アンケート」の集計結果である。本調査は、この度の催しに対する意見や感想を伺うことを主要な目的としているが、加えてLGBTの方々の日ごろの生活や意識についても伺っている。なお、本調査は、日本社会学会倫理綱領及び、日本家族社会学会倫理綱領に基づき、作成、実施し、「駒澤大学『人を対象とする研究』に関する倫理委員会」の承認を得て実施された。

本調査の調査方法及び調査票の回収状況と結果の概要は以下の通りである。

1. 調査方法と対象者

- ① 「東京レインボープライド2019」に来場された方を対象として、当日の会場入りロアンケートブースにてアンケート調査への協力を呼びかけ、協力してくださった方を対象とした。その場で自計式にて回答。調査票は1198票配布し、回収できたのは364票である（回収率30.4%）。うち有効回答は、361票（有効回答率99.2%）である。
- ② 「東京レインボープライド2019」のHPに①と同じ内容のwebアンケートへのリンクを掲載し、4月28日から1ヶ月の回答期間を設けて、回答してもらった。回収票は361票であった。
- ③ 本調査のデータは①と②をあわせた形で集計している（計722票）。

2. 本調査の結果の概要

以下では、イベントに関する意見、及びLGBTの方々の生活にかかわる意識等を中心として、本調査の概要を検討する。なお、本年度の調査が五年目にあたるため、5年間比較の報告会を実施し、その折りの資料を巻末に掲載している。そこで、5年間の推移を中心として検討したい。

- ① 今回初めて来場したという回答者は42.9%である。過去5年間の推移をみると、2015年は57%であり、一貫して年々減少していることがわかる。それに対して、割合は高くないものの、一貫して増加しているのが5回目以上という来場者である。2015年は5%であったが、今年度は15.6%と5年間で3倍に増加している。このことは来場のきっかけからも読み取れる。来場のきっかけをみると、「以前から来場している」という割合が36.5%にも上る。その一方で2015年、2016年に多かった「友人・知人の紹介」、「HPなどインターネットのサイトを見て」、「Twitterをみて」は減少

傾向にあり、それぞれ順に、15.6%、11%、13.2%となっている。

- ② 来場の目的として最も多かったのは（複数選択）、過去5年間とも「ブースを見たり買い物をしたりするため」であるが、今回は62%と過去で最も高い割合であった。また、第二位は「LGBTに関する様々な情報を得るため」41.9%で、この理由も過去5年間二位である。一方、今回は、「PRIDEに関する知識や情報を得るため」、「LGBTの友人に会うため」という選択肢を用意したところ、前者は24.9%、後者は25.4%であった。さらに、これらの理由の中から一番主要な目的を回答してもらったところ、一位と二位が昨年とは逆転し、一位が「パレードに参加するため」で25%（昨年度は15.6%）、二位が「LGBTに関する様々な情報を得るため」で11.6%（昨年度は19.2%）となった。今年度はパレードへの参加方法が変わり、事前申し込みをせずに、当日参加が可能となったため、パレード参加を目的として来場した方が多かったのではないかと思われる。
- ③ 会場での催し（ステージ、ブース、パレード）と会場に出店していた飲食店に対する満足度はスコアの平均値で見た場合、「ステージ」の満足度が最も高く（3.38）、次いで「ブース」（3.26）、「パレード」（3.16）、「飲食の屋台」（3.09）となっている。過去5年の推移をみると、「パレード」については、一貫して3.3を超えるスコアを保っていたが、今回はかなりスコアが下がり、満足度が低くなってしまった。これは、当日参加が可能になった代わりに、歩き始めるまでにかかなり時間がかかる、場所がよくわからないなどの問題が発生したためであると思われる。一方、「ステージ」は2016年に大物アーティストのパフォーマンスがあった時には大変混雑したため、満足度が下がったが、後は一貫して満足度が上がっている。「ブース」と「飲食の屋台」に関しては、今回はスコアが下がっている。これは、会場にたくさんのブースが出て混雑したこともその要因であると考えられる。
- ④ 会場での催しと会場に出店していた飲食店に満足しなかった理由としては、「ステージ」については、昨年度一位であった「混雑していてよくみることができない」は28.5%と下がり（昨年度は58.7%）、最も割合が高かったのは、「内容がよくわからない」（31%）であった。この数値は過去5年で最も高い割合である。また、今回新たに設けた選択肢である「メッセージ性が弱い」（28.6%）、「パレードとかぶって見ることができない」（19%）も比較的高い割合であった。「ブース」については、昨年度最も満足しなかった理由として挙げられていた「何のブースなのかわかりづらい」が42.3%と昨年度の38.5%を超えて最も高い割合となった。さらに、昨年度は比較的低い割合であった「内容に偏りがある」が34.6%（昨年度は17.9%）と高い割合となった。また、「その他」が過去5年で最も割合が高く、46.2%となった。その他の詳細内容については、第二章を参照されたい。
- ⑤ 「パレード」に関しては、「その他」回答が59.1%と昨年に引き続き圧倒的に多い（昨年度は66.7%）。それ以外では、「開始時間・終了時間がわからない」が41.9%であ

り、昨年度の 10.3%を大幅に上回る結果となった。さらに、「どこでやっているのかわからない」が 36.6%と、やはり昨年度の 15.4%をかなり上回る割合となった。前述のように、今年度は参加しやすくなった代わりにこうした問題が発生してしまい、パレードの満足度が下がったと考えられる。「飲食店」に関しては、昨年度に引き続き、「混雑しすぎてなかなか買えない」、「食べるスペースが狭い」という割合が高い。前者に関しては 55.4%（昨年度は 39.7%）、後者は 50.5%（昨年度は 39.7%）である。また、今回新たに設けた選択肢である「値段が高すぎる」については、35.9%と比較的高い割合であった。「同じような内容の屋台が多い」は、22.3%と昨年度の 38.1%をかなり下回る結果であった。「会場全体」としては、「トイレの数が少ない」が 41.9%（昨年度 40%）と昨年度に引き続き最も高い割合であった。次いで「会場全体の配置がわかりにくい」が 32.6%であり、この割合は、昨年度の 23.6%を上回る割合であった。また、今回新たに設けた「一人では参加しづらい雰囲気がある」が比較的高く、29.1%であった。

- ⑥ LGBT 教育の経験、および研修の経験の有無に関しては、受けたことがある割合が教育は 24.2%（昨年度 20.8%）と昨年度を若干上回っている。しかし、5 年間推移では、大きな増加は見られない。研修に関しては、20.7%であり、昨年度の 21.6%を下回る結果となった。研修も教育と同様に、過去 5 年間において大きな増加は見られない。
- ⑦ 具体的に受けた教育および研修の内容としては、教育に関しては、「LGBT という言葉について簡単に触れた程度」が昨年度は 40.5%と最も高かったものの、今回は 31.5%にとどまり、代わって「具体的な事例や映像などで当事者の現状について説明する」が 33.8%と増加した（昨年度は 27.6%）。また、「当事者を招いて経験談を聞く」も 26%と、昨年度の 22.4%から微増した。一方、職場での研修内容に関しては、昨年度よりも割合は低くなっているものの、「当事者を招いて経験談を聞く」が 46.4%と圧倒的に高い割合である（昨年度は 50%）。次いで研修で多いのは、「LGBT という言葉について簡単に触れた程度」であり、31.3%（昨年度は 26.9%）である。教育を受けた時期は、「大学生」が 54.5%と圧倒的に高い割合であり、これは、「ジェンダー論」などの授業を選択した学生であると考えられる。また、研修の対象者に関しては、「社員全員」が 56.5%と圧倒的に高い割合ではあるが、「希望者のみ」も 26.1%見られる。こうしてみると、教育・研修は過去 5 年において大きな浸透は見られていないということがいえるだろう。
- ⑧ 商品購入の基準として、その商品を製造している会社が LGBT に理解のある会社か否かを配慮するかという点に関しては、過去 5 年間のスコアの平均値で比較すると、LGBT である人のほうが、LGBT でない人たちに比べて、LGBT に理解のある会社の商品であるか否かを気にするという傾向が、2017 年度からみられている。
- ⑨ 職場選択の基準として、会社を選択する際に、LGBT に理解のある会社か否かを気

にするかという点に関しては、過去 5 年間のスコアの平均値で比較すると、ほぼ一貫して LGBT である人たちは、LGBT でない人たちに比べて、職場選択の基準として、LGBT に理解がある会社であるかどうかを考慮している傾向がみられる。

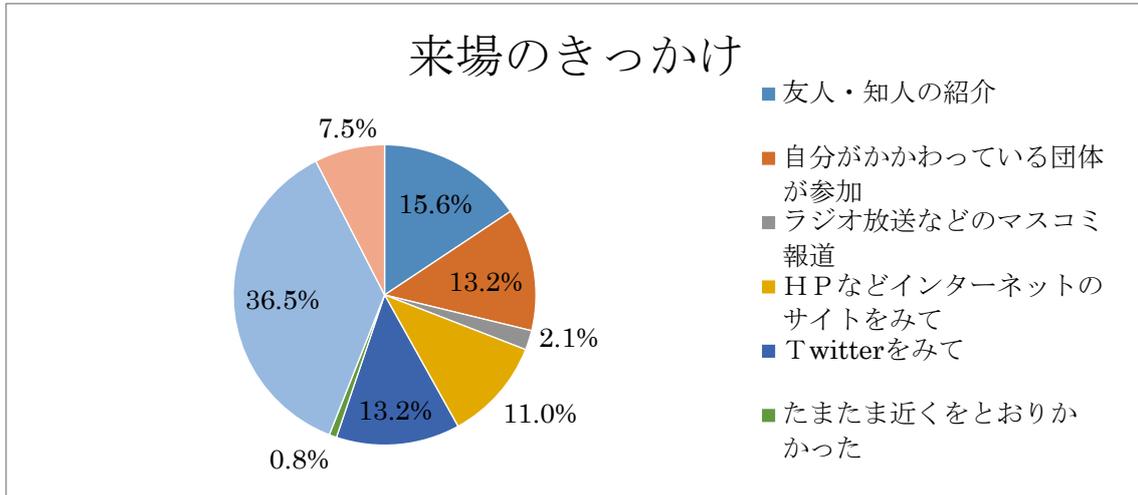
- ⑩ 新宿 2 丁目のように LGBT の方が多く集まるお店の利用については、過去 5 年の推移をみても、一貫して LGBT ではない人の利用は増えていないものの、LGBT の方の場合、「ほとんど利用したことがない」割合が減る傾向にあり、昨年度は 42.9% であったのに対して、今回は 35.8% となった。
- ⑪ 同性カップルに必要なと思う法的保障制度については、「異性間の法的婚姻制度と同じ同性間での法的婚姻制度」が昨年度同様に最も高く、71.3% であった。この数値は昨年度の 66.2% をかなり上回る数値である。それに対して、「異性間の法的婚姻制度とは異なる法的なパートナーシップ制度」は 12.9% (昨年度 13.8%)、「法的婚姻ではなく、異性・同性にこだわらない事実婚の法的保障」は 10.3% (昨年度 12%) と法的な婚姻とは異なる形でのパートナーへの保障を指示する割合が減少した。
- ⑫ 回答者の年齢は、過去 5 年の推移をみると、これまで同様、20 歳代、30 歳代が最も多いものの、今回は、この年齢層の全体に占める割合は減少し、40 歳代、50 歳代の参加者の割合が増加している。また、回答者の居住地については、昨年同様に東京 23 区と関東がそれぞれ 35% を占めているものの、今回選択肢を増やしたところ、中部、近畿などからの参加者もそれぞれ、6%、3% ほどみられ、全国から来場していることが確認された。
- ⑬ LGBT 当事者か否かに関しては、過去 5 年間の推移をみると、2015 年の来場者においては、LGBT ではない人の割合は 18% であったが、今回は 33.2% が LGBT ではない人であり、このイベントが広く浸透してきたことが伺える。
- ⑭ LGBT であるために日常生活で感じる不便や不自由に関して、「近所づきあい」、「保障制度」に関しては、「ほとんどない」「あまりない」の割合が過半数を占め、この傾向は昨年度と大きく変わらない。しかし、「職場・学校での人付き合い」に関しては、昨年度は「ほとんどない」が 14.1%、「あまりない」が 52.1% と「ない」という回答が 70% 近くを占めていた。しかし、今回は、「あまりない」が 18.3% と激減し、一方「時々ある」が 43.1% (昨年度は 22.7%)、「よくある」が 15.8% (昨年度は 11.1%) と不便・不自由を感じる割合が高く見られた。「施設利用」に関しても、「ほとんどない」が減少し、代わって「ときどきある」が増加している。こうした傾向は、LGBT という言葉は浸透してきたものの、周囲の正しい理解が得られていないということの意味しているように思われる。
- ⑮ 同性パートナーシップ証明書の利用については、過去 5 年推移でも、あまり大きな変化はない。しかし「必ず利用する」が昨年より若干増加して 15.8% (昨年度は 11.2%)、一方、「たぶん利用する」が昨年度より減少して 41.3% (昨年度は 48.3%) であった。また、利用したい理由としては、過去多かったパートナーや子どもの困り

ごと（病院、住まい）は年々減少し、「当然の権利である」、「今後役に立つかもしれない」、「職場で配偶者関連の福利厚生を受けたい」といった積極的理由が増加している。「当然の権利である」は56.6%（昨年度56.3%）、「今後役に立つかもしれない」49.4%（昨年度48.5%）、「職場で配偶者関連の福利厚生を受けたいから」43.3%（昨年度40%）であった。また、「パートナーであることを公的に証明してもらうことが嬉しい」は昨年度の46.3%より若干下がったものの、44.9%であった。一方、利用しない理由としては、「法律で保障される制度ではないから」かなり増加した。昨年度の26.9%に対して、今回は33.3%と最も高い割合であった。それに対して、昨年度は最も高い割合であった「必要性がない」が41%から29.5%とかなり減少した。「実効力がない」も昨年度の25.6%から微減し24.6%であったが、比較的高い割合である。こうした傾向から、当然の権利を得るための必要性の認識が高まったものの、その実効性についての認識も広まったということがいえるだろう。

- ⑩ 来場者の約60%がLGBTの方であるが、性的指向については、「ゲイ」の方が37.7%（昨年度34.5%）、「レズビアン」の方が14.6%（昨年度20.1%）、「バイセクシュアル・パンセクシュアル・ノンセクシュアル・アセクシュアル」の方は合わせて28.4%（昨年度は約25%）であった。性自認については、性別違和をもつ方は32.3%（昨年度も約30%）であった。
- ⑪ カミングアウトについては、一部の人にだけしている方が75.2%と昨年同様にもっとも多く（昨年度76.6%）、カミングアウトしている相手は（複数回答）、今年度新たに「友人・知人（ネット上も含む）」という選択肢を設けたところ、最も高い割合となり、75.3%であった。次いで、「学校時代の友人」50.3%（昨年度は65.9%）、次いで「当事者の友人」49.4%、「母親」39%（昨年度39.1%）、「パートナー」31.3%（昨年度38.3%）、「兄弟姉妹」30.7%（昨年度31.1%）であった。親族であっても「父親」は比較的低い傾向にあり、これらの傾向も昨年と同様である。「会社の同僚」と「会社の上司」の割合は増加傾向にあり、社会的にもLGBTの方々への認識が広まり、職場でもカミングアウトがしやすくなったということを示しているように思われる。

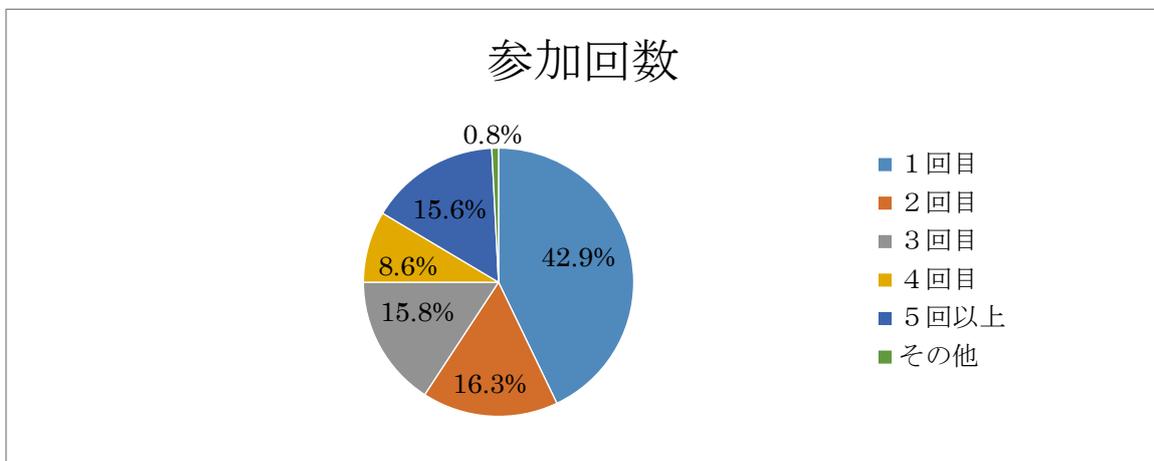
第一章 来場者アンケート集計結果

Q1 今回の東京レインボープライド2019を知ったきっかけについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



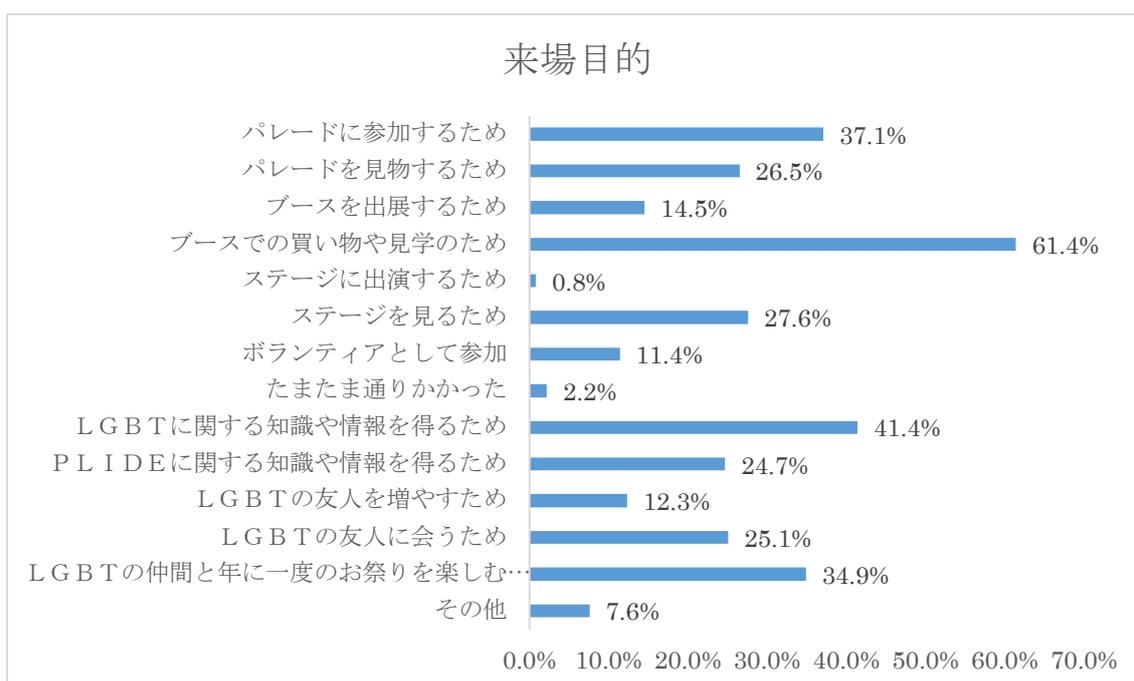
来場のきっかけで、「以前からきている」という回答が36.5%で最も多く、前年の31.5%を越す結果となった。以降、多い順に「友人・知人の紹介」という回答が15.6%、「自分がかかわっている団体が参加」、「Twitterをみて」という回答が13.2%で並んだ。「HPなどインターネットのサイトをみて」という回答が11%、「ラジオ放送などのマスコミ報道」という回答が2.1%、「たまたま近くをとおりかかった」という回答が0.8%という結果になった。（「その他」の具体的な内容は別途記載）。

Q2 東京レインボープライド（プライパレード）への参加は今回で何回目ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



今回の来場が「1回目」という回答が42.9%と一番多かった。それ以降、多かった順に「2回目」が16.3%、「3回目」が15.8%、「5回以上」が15.6%、「4回目」が8.6%という回答になった（「その他」の具体的な内容は別途記載）。

Q3 あなたがこの催しにいらっしゃった目的について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

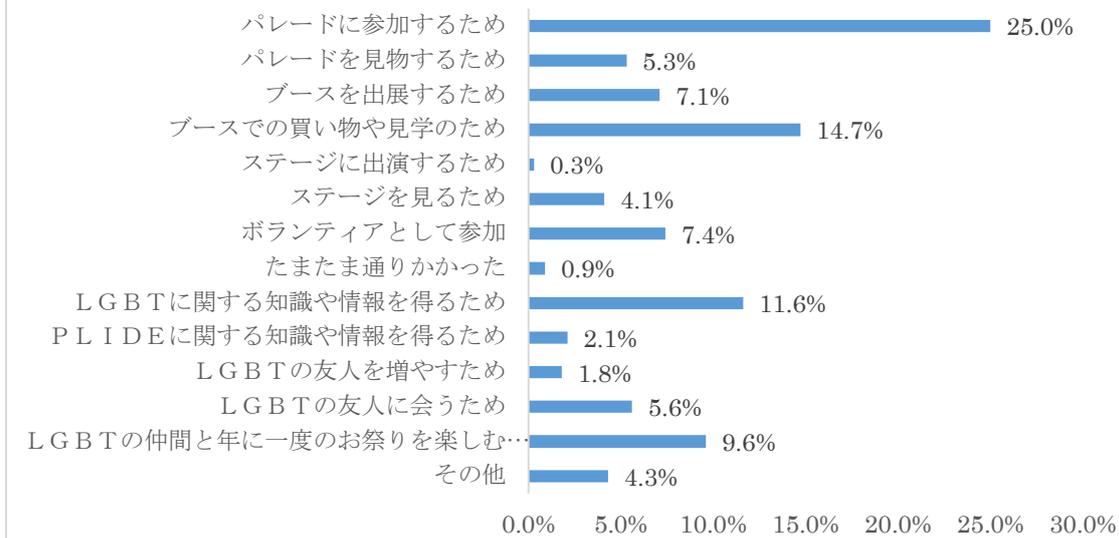


（複数回答の為、合計は100%にならない）

来場目的として、最も多かった回答は、「ブースで買い物や見学の為」の61.4%であった。以降、多かった順に「LGBTに関する知識や情報を得るため」が41.4%、「パレードに参加するため」が37.1%、「LGBTの仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため」が34.9%という回答になった。また、「たまたま通りかかった」という回答が2.2%であり、偶然来たという人もいた（「その他」の具体的な内容は別途記載）。

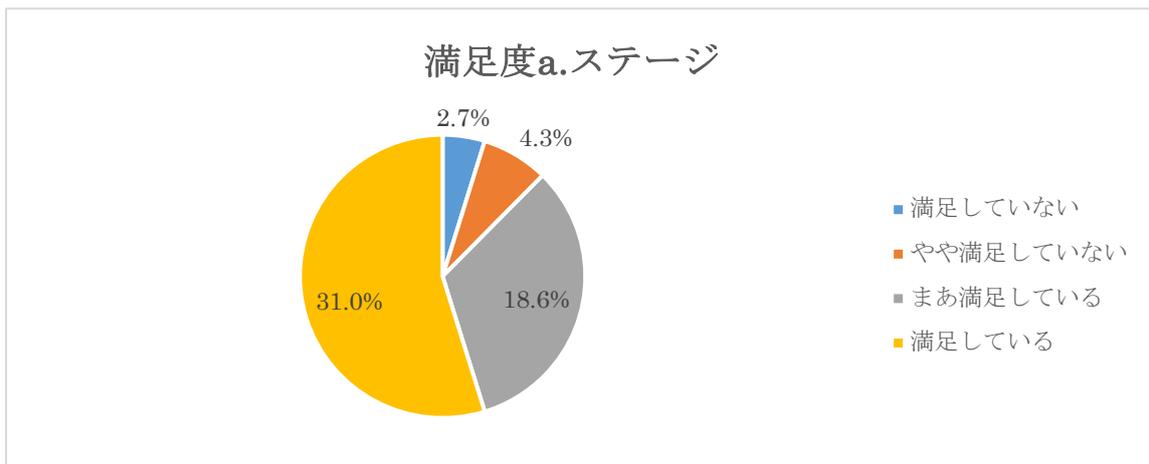
Q3SQ1 Q3の中で一番主要な目的は何ですか。あてはまる番号を1つだけ（ ）内にご記入ください。

一番主要な来場目的



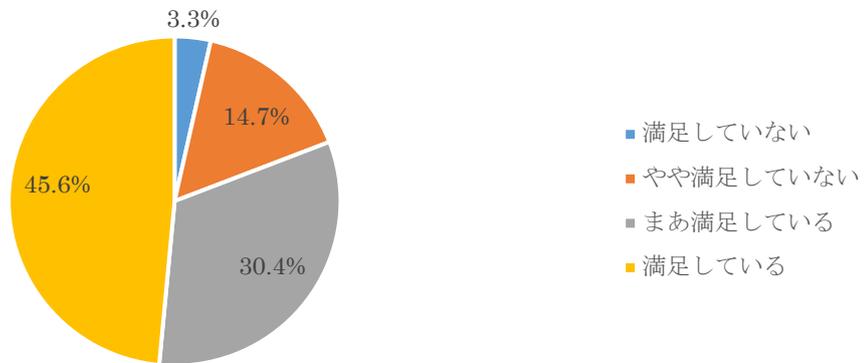
一番主要な来場目的で最も多かったのは「パレードに参加するため」の 25%であった。それ以降多かった順に、「ブースでの買い物や見学のため」の 14.7%、「LGBTに関する様々な情報を得るため」の 11.6%、「LGBT 仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため」の 9.8%と続いた（「その他」の具体的内容は別途記載）。

Q4 会場でのイベントにどの程度満足しましたか。a から e に関して、あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。



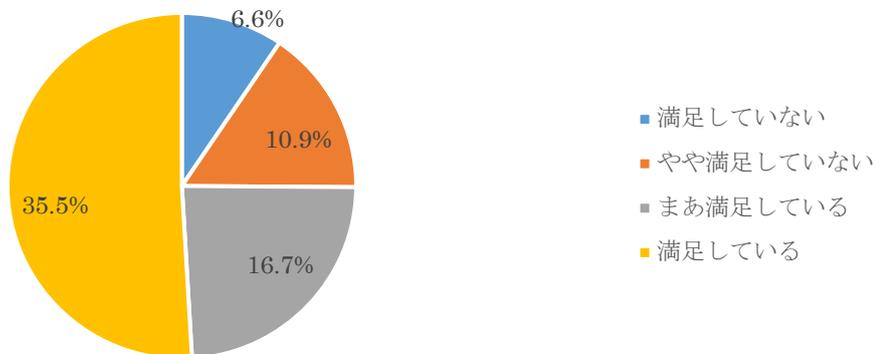
参加していない人の 43.4%を除いて集計した結果、ステージについては、満足している人とまあ満足している人が全体の 88%という結果となった。9 割近くの人が満足しているとみることが出来る。

満足度b.ブース



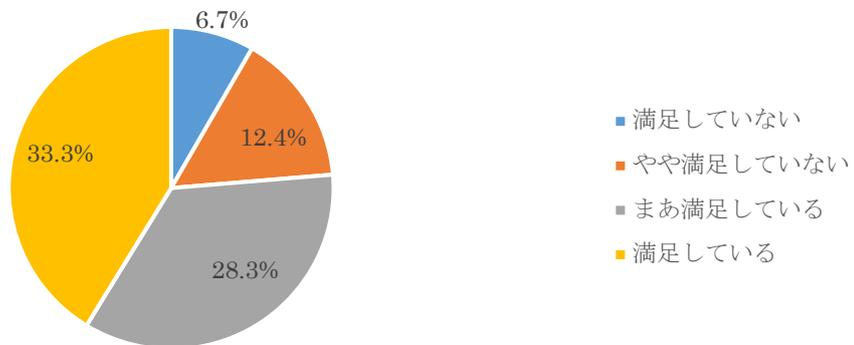
ブースについては、45.6%が満足しており、まあ満足している割合が 30.4%という結果となった。合わせて 76%が満足しているといえる。

満足度c.パレード



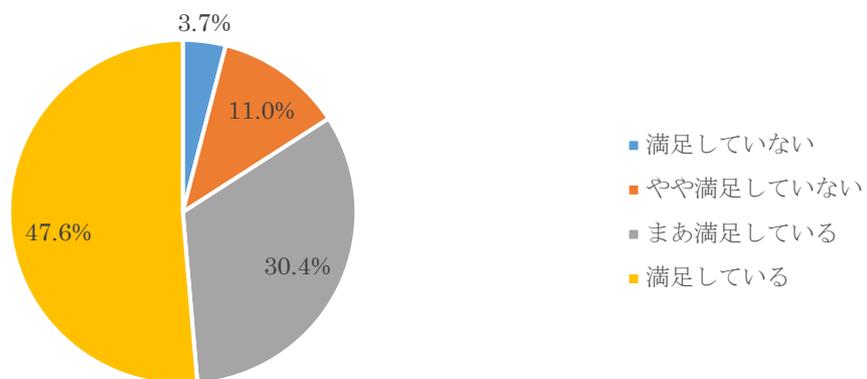
パレードについては、参加していない 30.1%の人を除いて集計した結果、満足しているが 50%、24%の人がまあ満足しているという結果となった。合わせて約 52%の人が満足していることが分かる。

満足度d.飲食の屋台



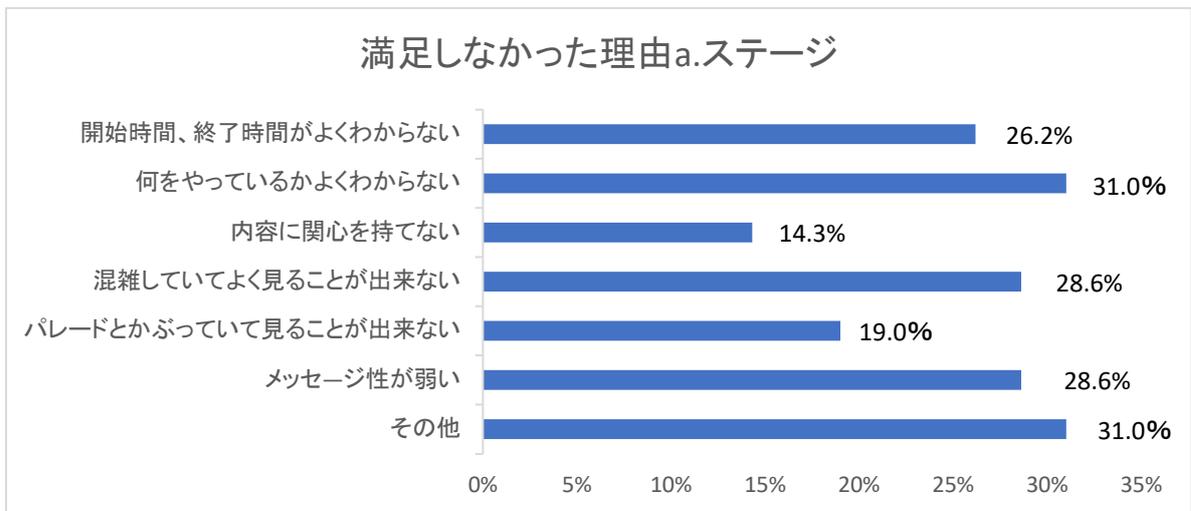
飲食の屋台については、33.3%が満足しており、28.3%がまあ満足しているという結果となった。半数以上の人満足しているといえる。

満足度e.会場全体



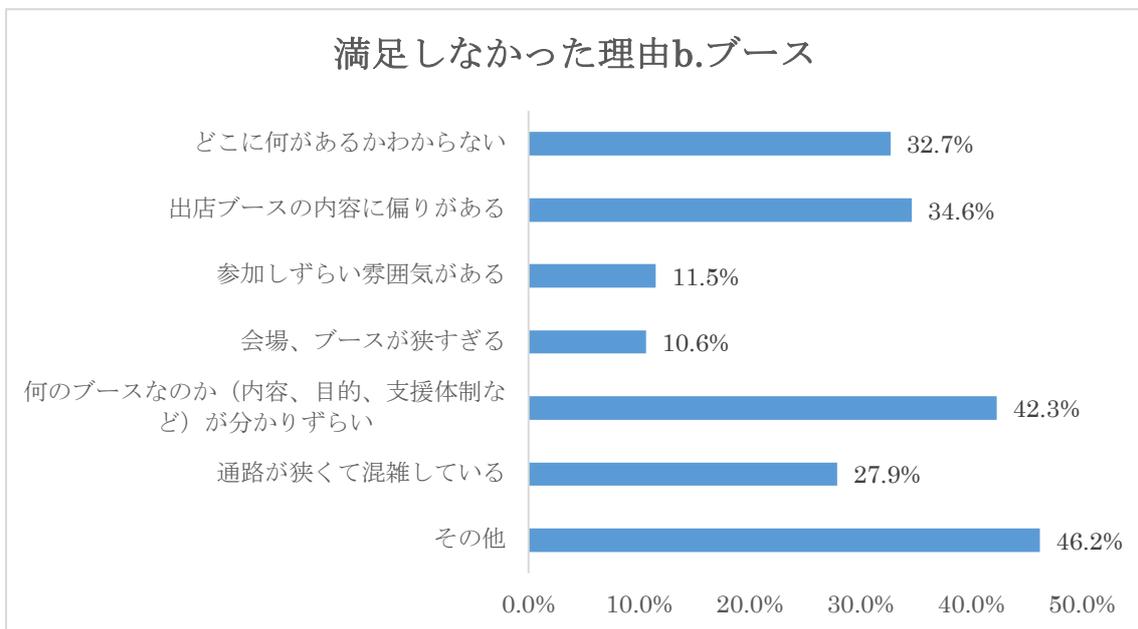
会場全体の満足度は、47.6%が満足しており、まあ満足している人が30.4%、やや満足していない人が11%、満足していない人が3.7%という結果となった。約80%が会場全体に満足していることが分かった。

Q4SQ1 Q4で「1.満足していない」、「2.やや満足していない」に○をつけた方に伺います。それぞれについてどのような点に満足されなかったのでしょうか。それぞれについてあてはまる番号に2つまで○をつけてください。



(複数回答のため、合計して 100%にはならない)

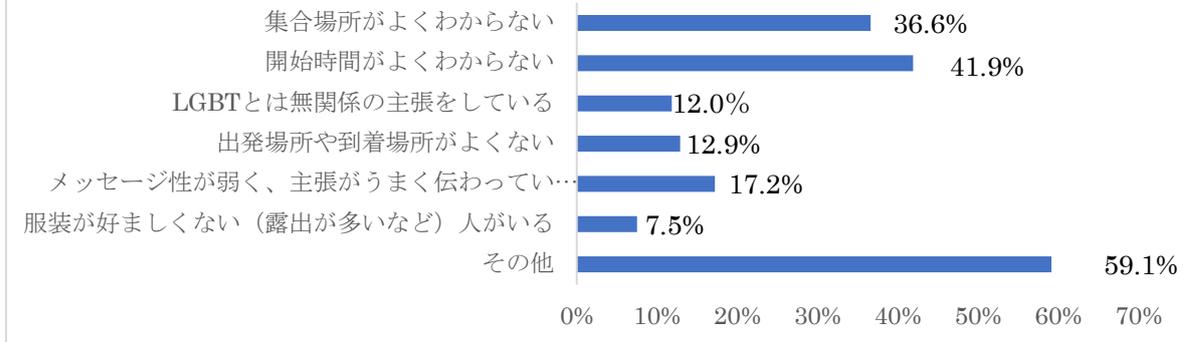
ステージについて、満足していない理由として最も多かったのは、「何をやっているかよくわからない」の 31%、「開始時間、終了時間がよくわからない」の 26.2%であった。他にも「メッセージ性が弱い」ことや「混雑していてよく見ることが出来ない」などがあげられる（「その他」の具体的内容は別途記載）。



(複数回答のため、合計して 100%にはならない)

ブースについて満足しなかった理由として、その他を除く最も多かったものは 42.3%である「何のブースなのかかわからない」ことであった。すこし LGBT とはかけ離れたブースもいくつか見受けられた。次いで「出店ブースの内容に偏りがある」34.6%、「どこに何があるのかかわからない」が 32.7%だった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

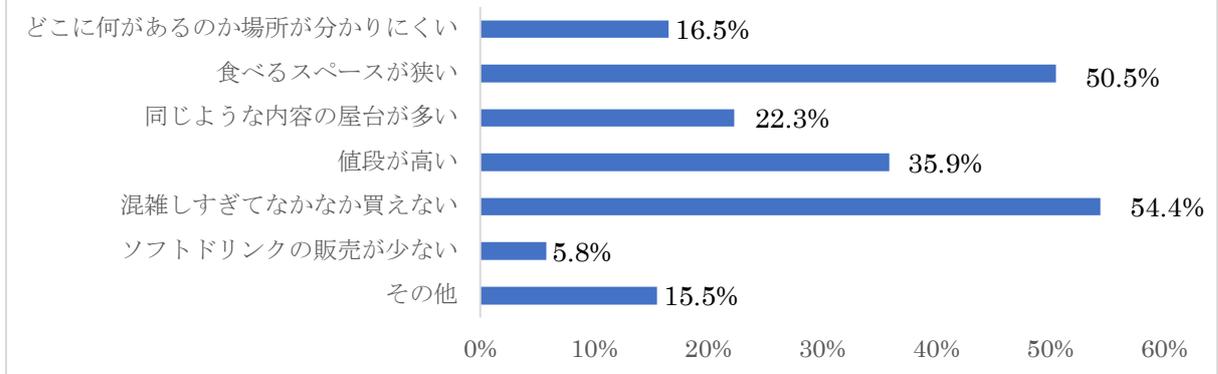
満足しなかった理由c.パレード



(複数回答のため、合計して100%にはならない)

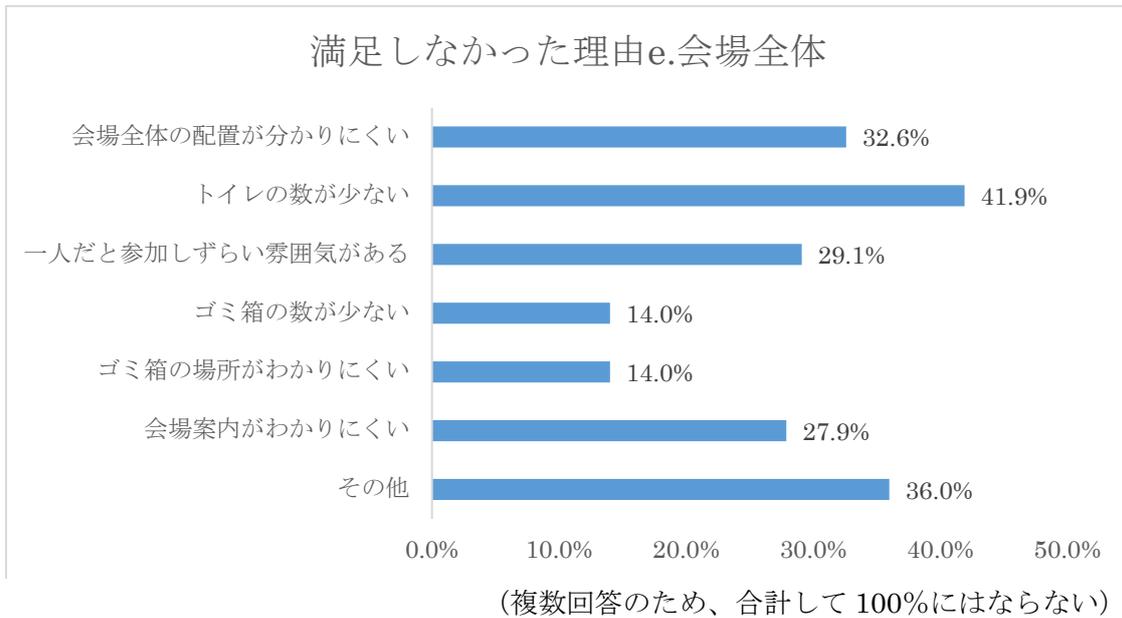
パレードに満足しなかった理由としては、「開始時間・終了時間がよくわからない」が41.9%と最も高く、次いで「集合場所が分からない」が36.6%と高い割合だった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

満足しなかった理由d.飲食の屋台



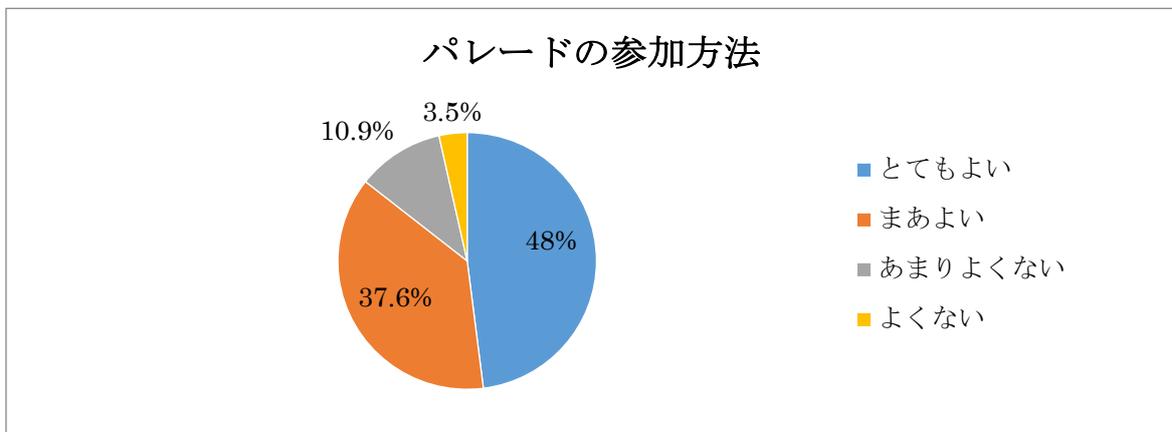
(複数回答のため、合計して100%にはならない)

飲食店の屋台に満足しなかった理由としては、「混雑しすぎてなかなか買えない」が最も多くて54.4%、次いで「食べるスペースが狭い」が50.5%だった。「値段が高い」の35.9%も次いで高かった。さらに「同じような屋台が多い」が22.3%、「どこに何があるか場所が分かりにくい」が16.5%、「ソフトドリンクの販売が少ない」が5.8%という結果となった（「その他」の具体的内容は別途記載）。



会場全体に満足しなかった理由としては、特に高かったのは「トイレの数が少ない」の41.9%であった。来場者が増えてきていることが原因ではないかと考えられる。「会場全体の配置が分かりにくい」、「会場案内が分かりにくい」も、それぞれ、32.6%、27.9%であった。また、「一人だと参加しづらい雰囲気がある」が29.1%と意外と高かった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

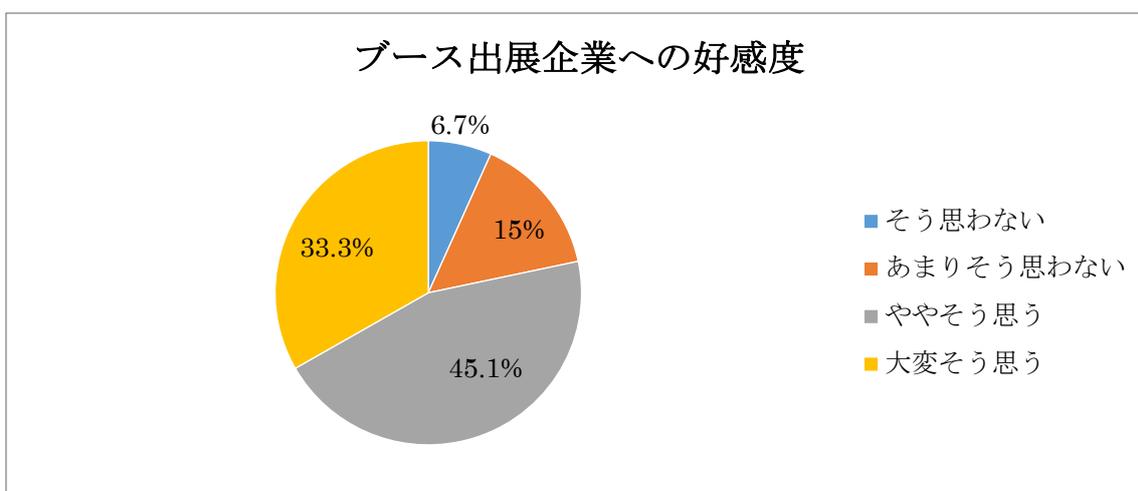
Q5 今回からパレードへの参加方法が変わり、事前予約なしに、当日参加することが可能になりました。今回のようなパレードへの参加方法をどのように思われますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



今年からパレードへの参加方法が変わり、事前予約なしに当日参加することが可能にな

った。この参加方法をどのように思うか尋ねたところ、「とてもよい」と肯定した割合が最も高く、48.0%であった。次いで「まあよい」が37.0%、「あまりよくない」と否定的な回答が10.9%であった。

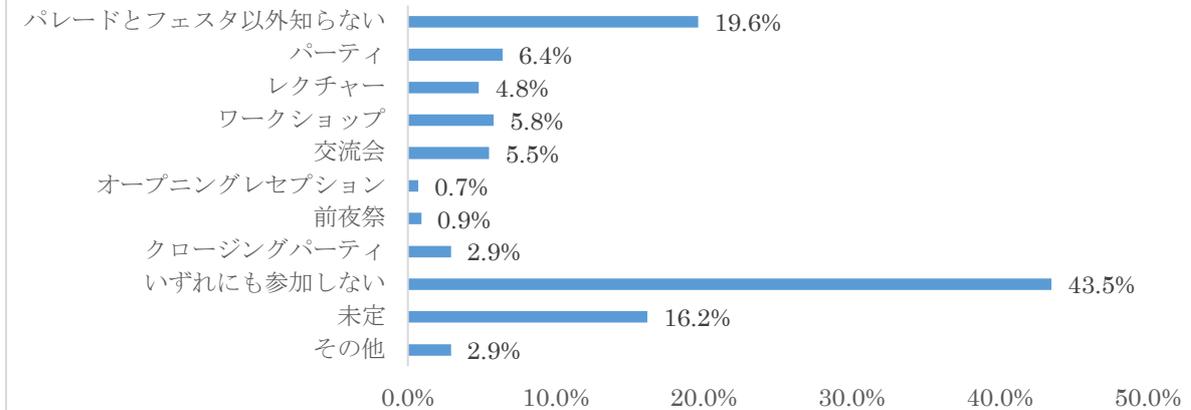
Q6 会場には多くの企業ブースを出展していますが、これらの企業は、LGBTに理解のある企業として好感がもてますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



東京レインボープライドには、多くの企業がブースを出展していた。これらの企業は、LGBTに理解のある企業として好感が持てるか尋ねたところ、「ややそう思う」という回答が最も割合が高く45.1%であった。次いで「大変そう思う」という非常に肯定的な割合が33.3%であった。この結果から、全体的に好感が持てる人が多かったといえる。

Q7 プライドウォークの期間は、この会場でのプライドフェスティバルとパレードのほか、オープニングレセプションをはじめとしてパーティやワークショップなど様々な催しが行われています。あなたはこれらにも参加します(した)か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

プライドウィークで参加する(した)催し



プライドウィークで参加する催しで、「いずれにも参加しない」という回答が43.5%で最も多かった。次いで多い順に「パレードとフェスタ以外知らない」という回答が19.6%、「未定」という回答が16.2%、「パーティ」という回答が6.4%、「ワークショップ」という回答が5.8%、「交流会」という回答が5.5%、「レクチャー」という回答が4.8%、「クロージングパーティ」と「その他」が2.9%、「前夜祭」が0.9%、「オープニングレセプション」が0.7%という結果になった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

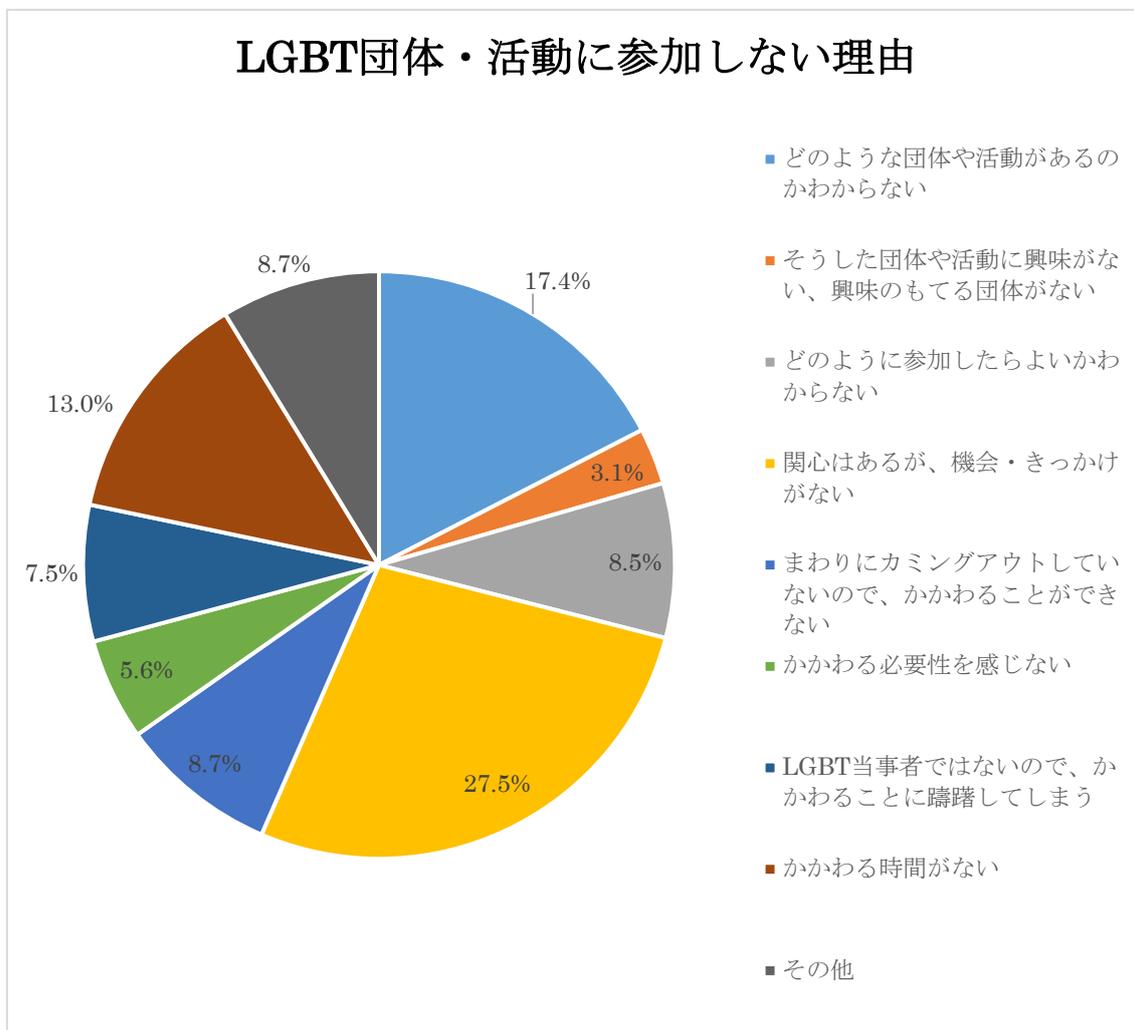
Q9 あなたはLGBT関連の団体や活動に参加していますか？あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

LGBT団体・活動への参加



LGBT関連の団体に所属、もしくは活動に「参加していない」という回答が67.6%と、全体の約6割を占めており、「参加している」という回答が32.4%であった。

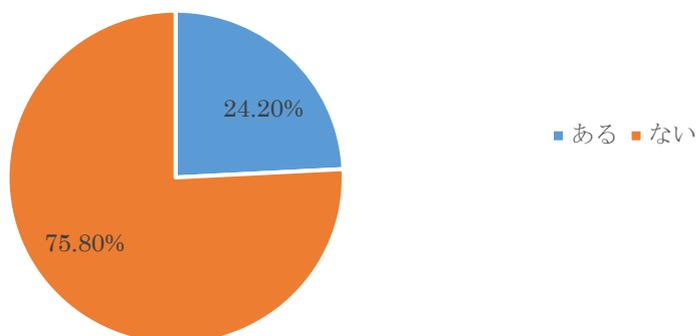
Q9SQ1 Q9で「2.LGBT 関連の活動はしていない」と回答された方に伺います。そうした活動をされていないのはなぜですか。もっともあてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。



Q9において、「LGBT 関連の活動はしていない」という回答が 6 割以上を占めた。そこで参加しない理由を Q9SQ1 で質問した。参加をしない、最も大きな理由は「関心はあるが、機会、きっかけがない」の 27.5%であった。次いで割合の大きな順に「どのような団体や活動があるのかわからない」(17.4%)、「かかわる時間がない」(13.0%)、「まわりにカミングアウトしていないので、関わることができない」(8.7%)、「どのように参加したらよいかかわからない」(8.5%)という回答であった。”知るきっかけ”というものが少ないが為に、活動にふみきれていない人が多いと推測できる（「その他」の具体的内容は別途記載）。

Q10 あなたは、これまでに学校で LGBT に関する授業を受けたことがありますか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

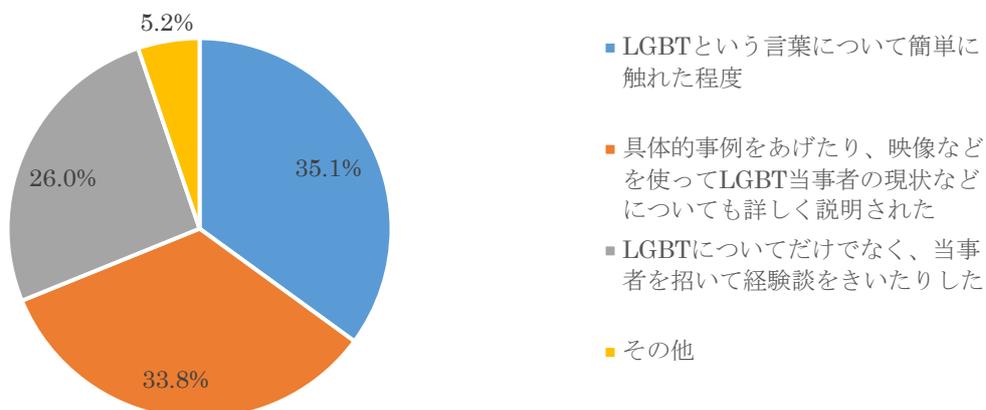
LGBT教育の経験



「LGBT に関する授業を受けたことがある」と回答した人は 24.2%だったのに対して、「LGBT に関する授業を受けたことがない」と回答した人は 75.8%だった。

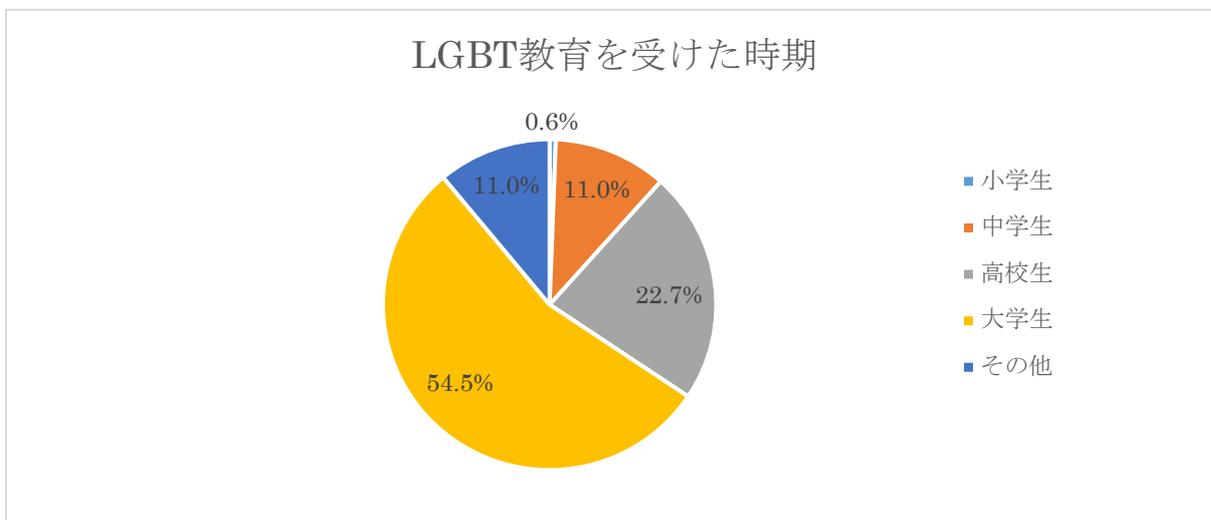
Q10SQ1 Q10で「1. ある」と回答された方に伺います。あなたが受けた授業はどのような内容のものでしたか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。複数回ある場合は、一番印象に残っているものをお答えください。

LGBT教育の内容



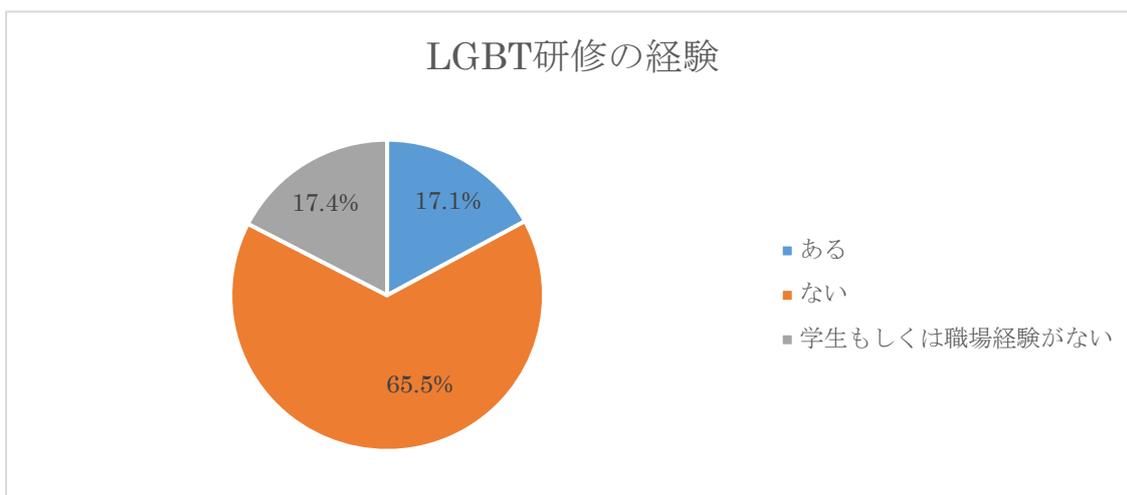
Q10で「1. ある」と回答した人へ授業内容を尋ねたところ、最も多かったのは「LGBTやセクシャルマイノリティという言葉などについて簡単に触れた程度(35.1%)」、次いで「具体的事例をあげたり、映像などを使ったりして LGBT 当事者の現状などについても詳しく説明された(33.8%)」、「LGBT についての説明だけでなく、当事者を招いて経験談をきいたりした (26.0%)」、「その他(5.2%)」という結果だった（「その他」の内容は別途記載）。

Q10SQ2 Q10SQ1 で回答された授業を受けたのはいつですか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



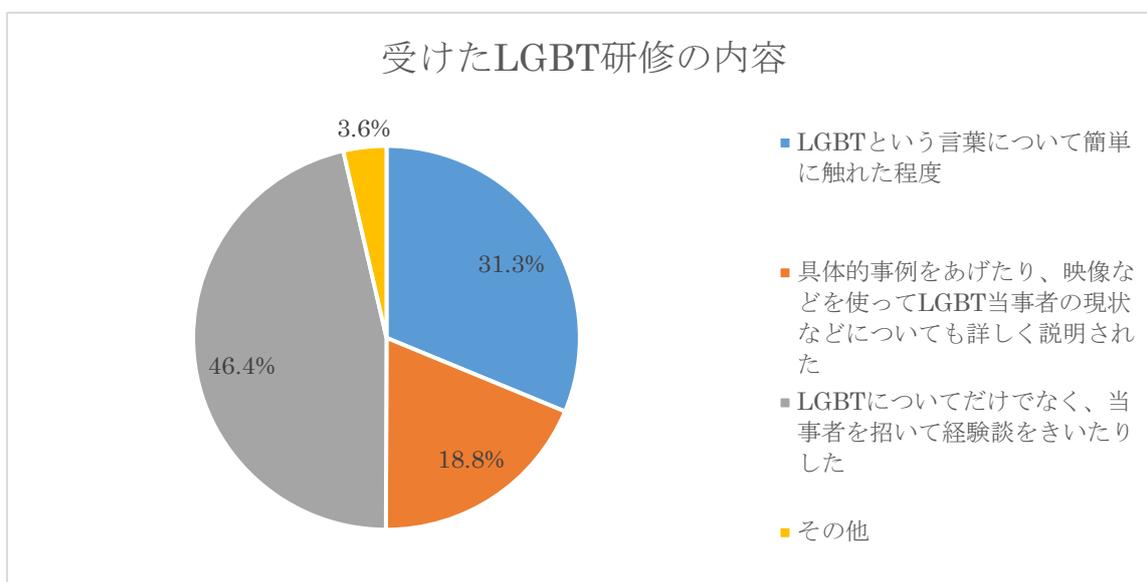
LGBT に関する授業を受けた時期で最も多かったのは「大学生(54.5%)」で、「高校生(22.7%)」、「中学生(11.0%)」、「小学生(0.6%)」、「その他(11.0%)」という結果だった。大学生の割合が最も多かったのは、自身の興味のある内容の授業を選択して選ぶことができるため LGBT に関して興味関心の高い人は、高校生以前の時期に比べて授業を受ける機会が多いからだと考えられる(「その他」の内容は別途記載)。

Q11 あなたは、これまでに職場で LGBT に関する研修を受けたことがありますか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



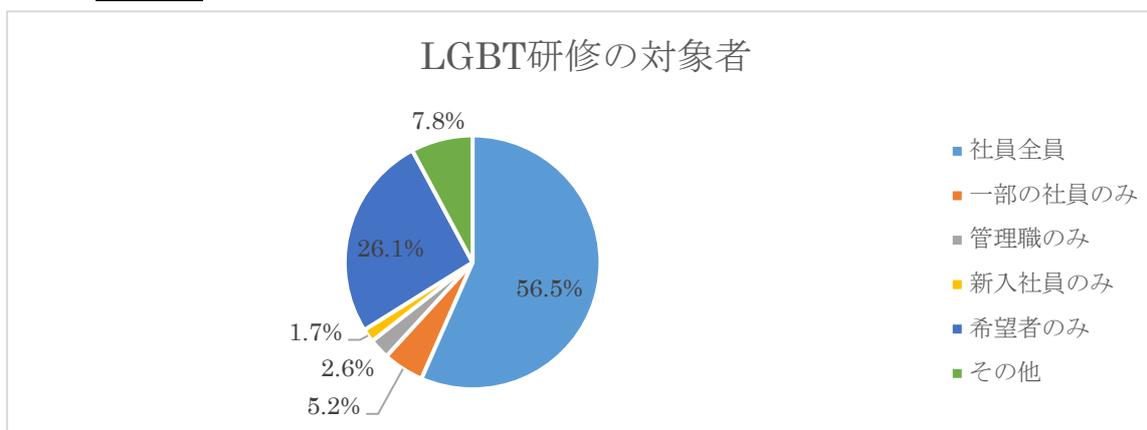
半数以上の 65.5%が「職場で LGBT に関する研修を受けたことがない」と回答し、「職場で LGBT に関する研修を受けたことがある」と回答した人は 17.1%、「非該当(学生もしくは職場経験がない)」は 17.4%という結果だった。

Q11SQ1 Q11で「1. ある」と回答された方に伺います。あなたが受けた研修はどのような内容のものでしたか。あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。複数回ある場合は、一番印象に残っているものをお答えください。



職場でのLGBTに関する研修の内容を尋ねたところ、最も多かったのが「LGBTについての説明だけでなく、当事者を招いて経験談をきいたりした(46.4%)」、次いで「LGBTやセクシャルマイノリティといった言葉などについて簡単に触れた程度(31.3%)」、「具体的事例をあげたり、映像などを使ったりしてLGBT当事者の現状などについても詳しく説明された(18.8%)」、「その他(3.6%)」という結果だった(「その他」の内容は別途記載)。

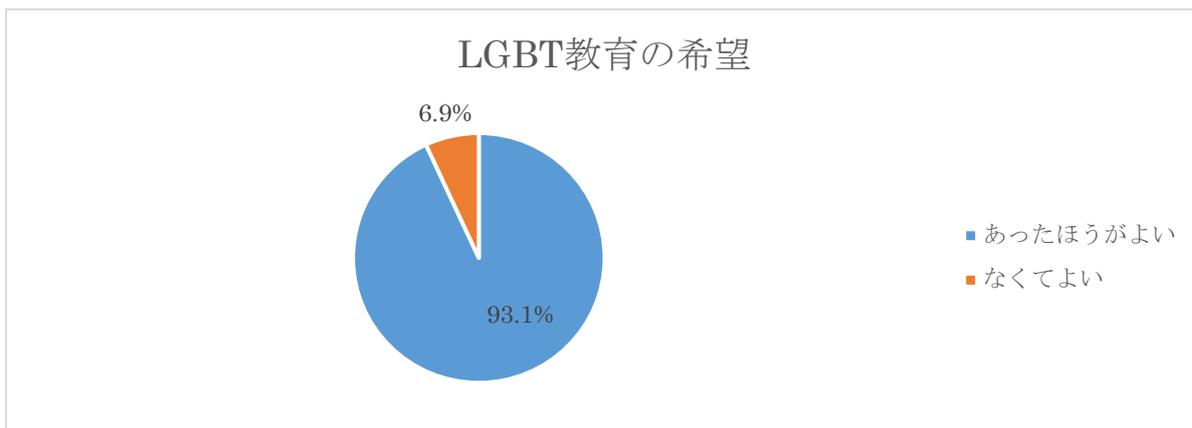
Q11SQ2 Q11SQ1で回答された研修の対象はどのようになっていましたか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



LGBT研修の対象者は回答数の多い順に「社員全員(56.5%)」、「希望者のみ(26.1%)」、「その他(7.8%)」、「人事部など一部の部署の社員のみ(5.2%)」、「管理職のみ(2.6%)」、「新入社員

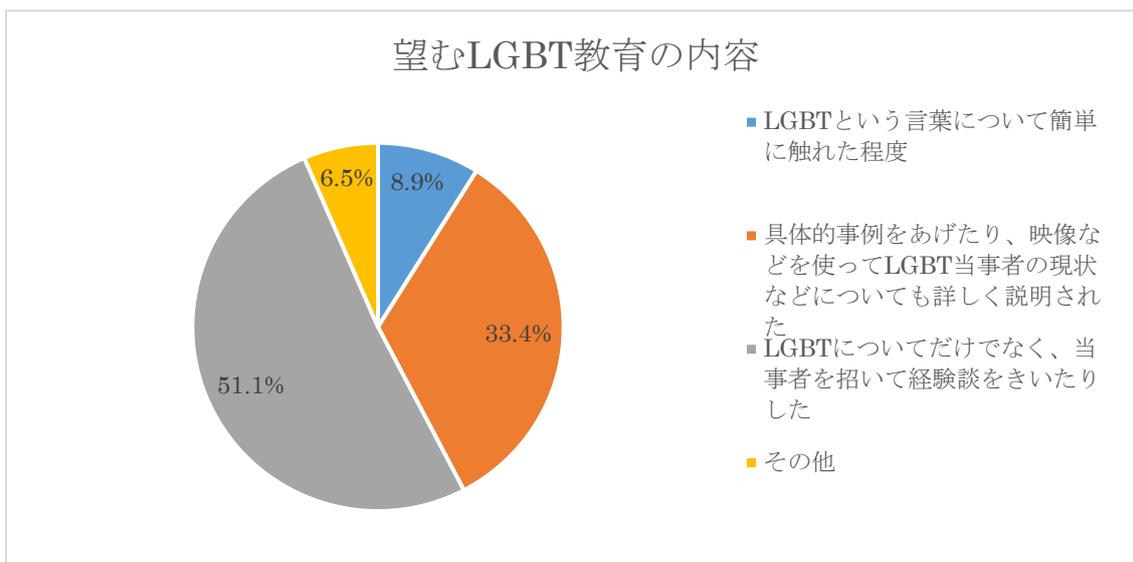
のみ(1.7%)」という結果だった。研修を行っている会社でも一部社員のみが対象者のところが半数近くあることが分かった(「その他」の内容は別途記載)。

Q12 あなたは、学校で LGBT に関する授業があったほうがよいと考えますか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



LGBT 教育は「あったほうがよい」と回答した人は 93.1%と非常に多く、「なくてよい」と回答した人は 6.9%という結果だった。

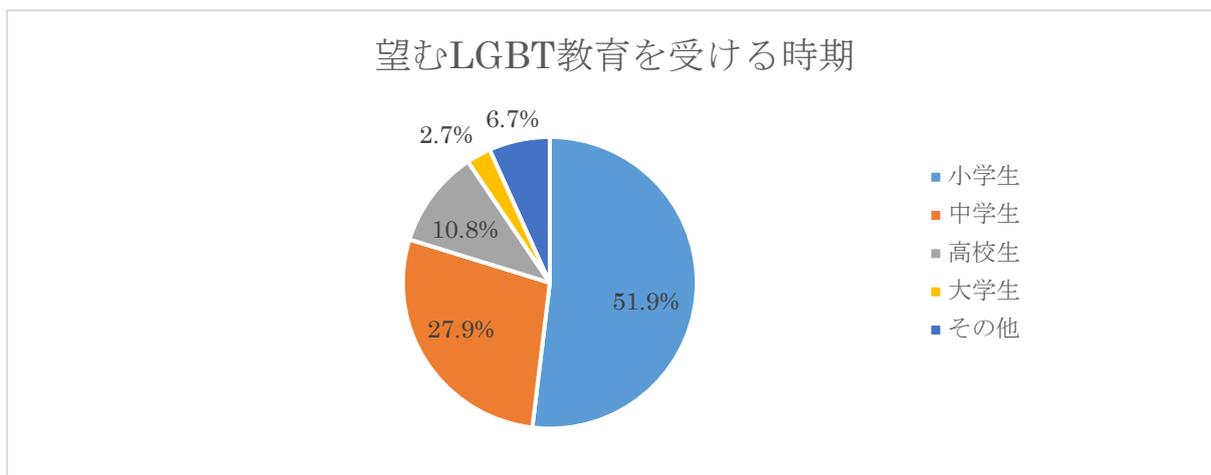
Q12SQ1 Q12で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。具体的にどのような内容が望ましいと思いますか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



具体的な教育内容で回答数が多かった順に「LGBT についての説明だけでなく、当事者を招いて経験談をきいたりした(51.1%)」、「具体的事例をあげたり、映像などを使ったりし

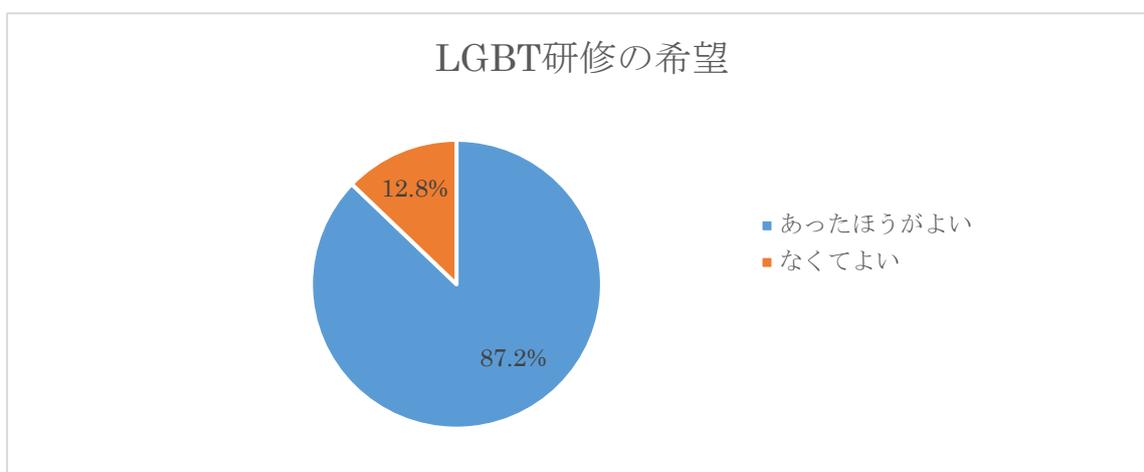
て LGBT 当事者の現状などについても詳しく説明された(33.4%)」、「LGBT やセクシャルマイノリティといった言葉について簡単に触れる程度(8.9%)」、「その他(6.5%)」という結果だった。このことから、多くの人が学校で LGBT に関して言葉だけでない深い理解を求めていることが分かった(「その他」の内容は別途記載)。

Q12SQ2 Q12で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。実施する時期はいつが最も良いと思いますか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



望む LGBT 教育の時期としては、割合が高い順に「小学生(51.9%)」、「中学生(27.9%)」、「高校生(10.8%)」、「その他(6.7%)」、「大学生(2.7%)」という結果だった。小学生という早い段階からの希望が多かったのは、早い段階でセクシャルマイノリティについての知識を得ることが、当事者の悩みを解決しつなげるからだと考えられる(「その他」の内容は別途記載)。

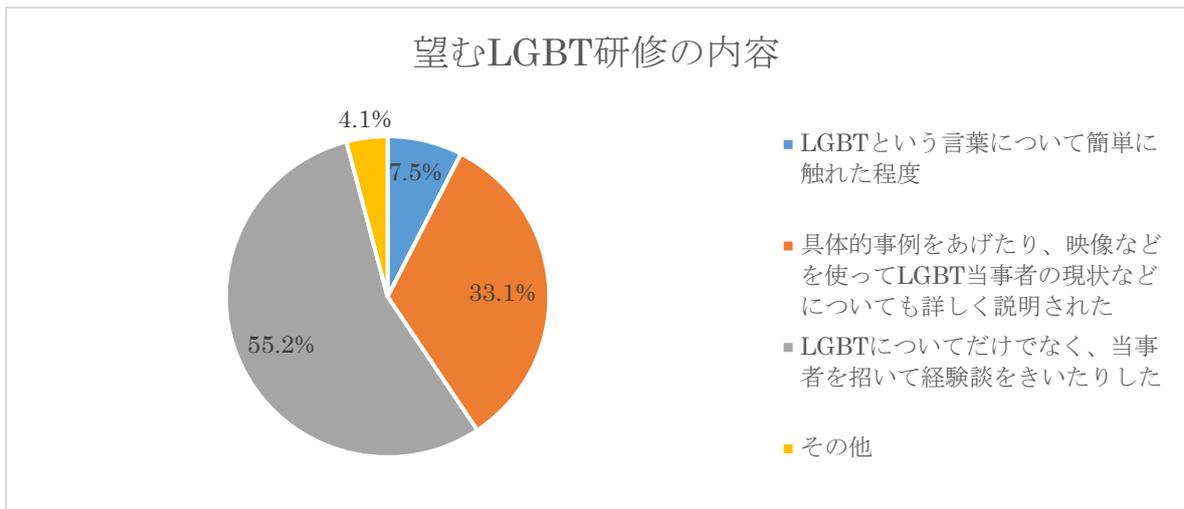
Q13 あなたは、職場で LGBT に関する研修があったほうがよいと思いますか。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



職場の LGBT 研修については「あったほうがよい」と回答した人は 87.2%、「なくてよい」

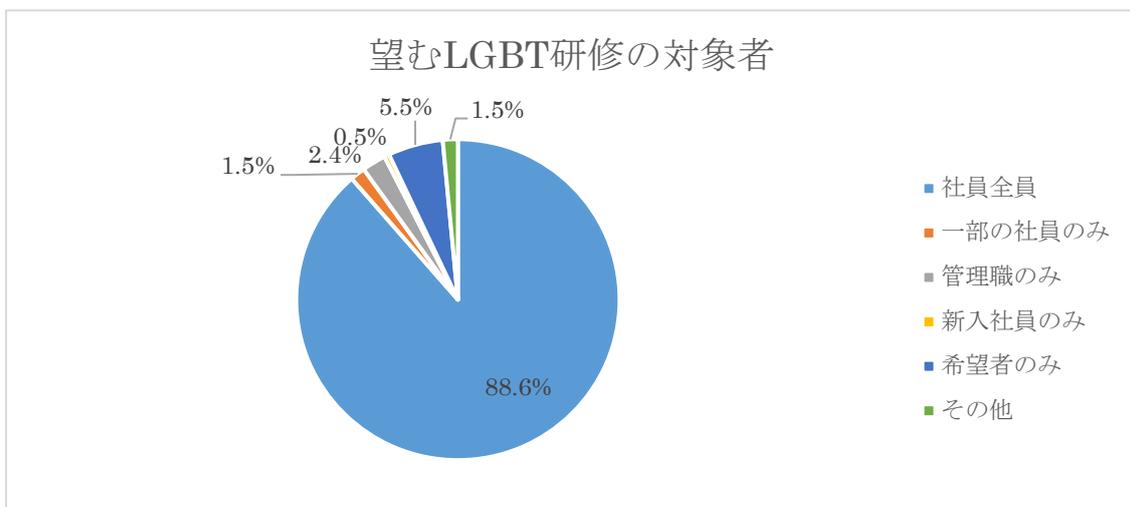
と回答した人は 12.8%という結果だった。

Q13SQ1 Q13で「1. あったほうが良い」と回答された方に伺います。具体的にどのような内容が望ましいと思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



望む LGBT 研修の内容としては、「LGBT についての説明だけでなく、当事者を招いて経験談をきいたりした」が 55.2%と最も割合が高く、次いで「具体的事例をあげたり、映像などを使ったりして LGBT 当事者の現状などについても詳しく説明する」が 33.1%、「LGBT やセクシャルマイノリティといった言葉について簡単に触れる程度」は 7.5%、「その他」は 4.1%という結果だった(「その他」の内容は別途記載)。

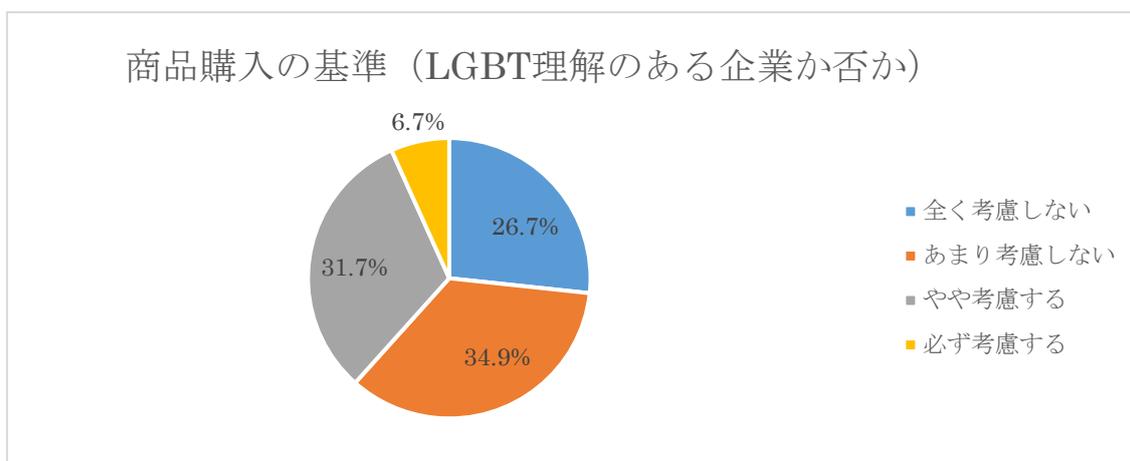
Q13SQ2 Q13で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。実施する対象はどのような形がよいと思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



研修を実施する対象として回答数の多かった順に「社員全員(88.6%)」、「希望者のみ

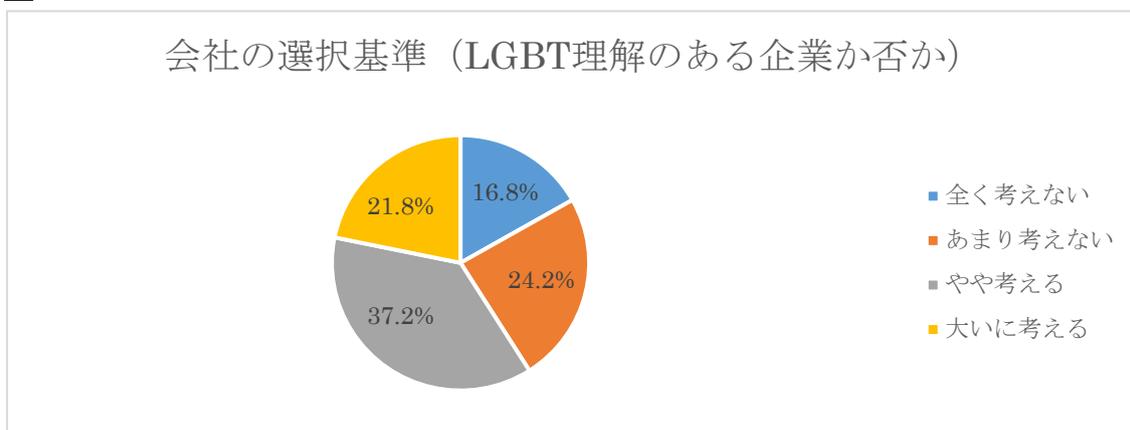
(5.5%)」、「管理職のみ(2.4%)」「人事部など一部の部署の社員のみ(1.5%)」、「その他(1.5%)」、「新入社員のみ(0.5%)」という結果だった。8割以上が社員全員の実施を希望しているが、実際は6割程度しか実施されていない現状である。（「その他」の内容は別途記載）

Q14 あなたは、商品を購入する際に、その商品を製造している会社が LGBT に理解のある会社かどうかを考慮して購入しますか（例えば、同じ種類の複数の商品から 1 つを選ぶ際に、多少価格が高くとも、LGBT へ理解を示している企業の製品を買うなど）。あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



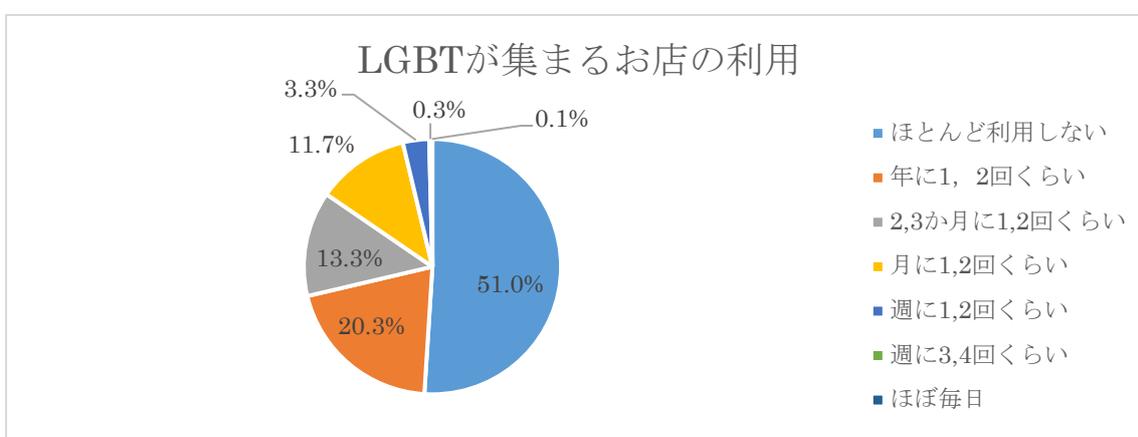
商品を購入する際に、その商品を製造している会社か LGBT に理解のある会社か、考慮して購入するか尋ねたところ「やや考慮する」が 31.7%、「あまり考慮しない」が 34.9%、「全く考慮しない」が 26.7%であった。全体的に考慮しない人が多いと考えられる（LGBT である人と LGBT でない人の相違は参考資料 2 を参照）。

Q15 あなたは、仕事を選択する際に、LGBT に理解のある職場であるかどうかを選択の基準のひとつとして考えますか。現在学生の方は、今後の就職活動を想定して、また現在就業をお持ちの方はこれまでの職場を決めた際のことを思い出して、あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



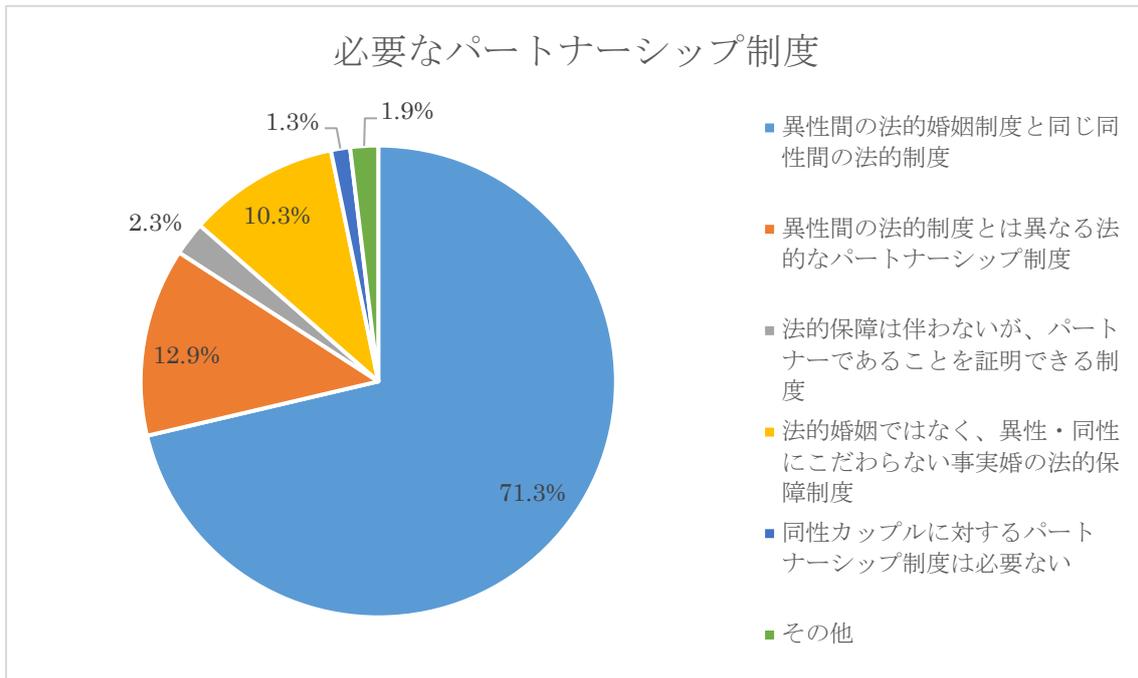
会社の選択基準として、LGBTへ理解のある企業かどうか考えるか尋ねてみたところ、「やや考える」という回答が37.2%で最も多いということが分かった。また、「大いに考える」という回答も21.8%あり、全体的に会社の選択の際にLGBTへ理解のある企業かどうか考える人が多いということが考えられる（LGBTである人とLGBTでない人の相違は参考資料2を参照）。

Q16 あなたは、LGBTが集まるお店（飲食店など）をどの程度利用しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



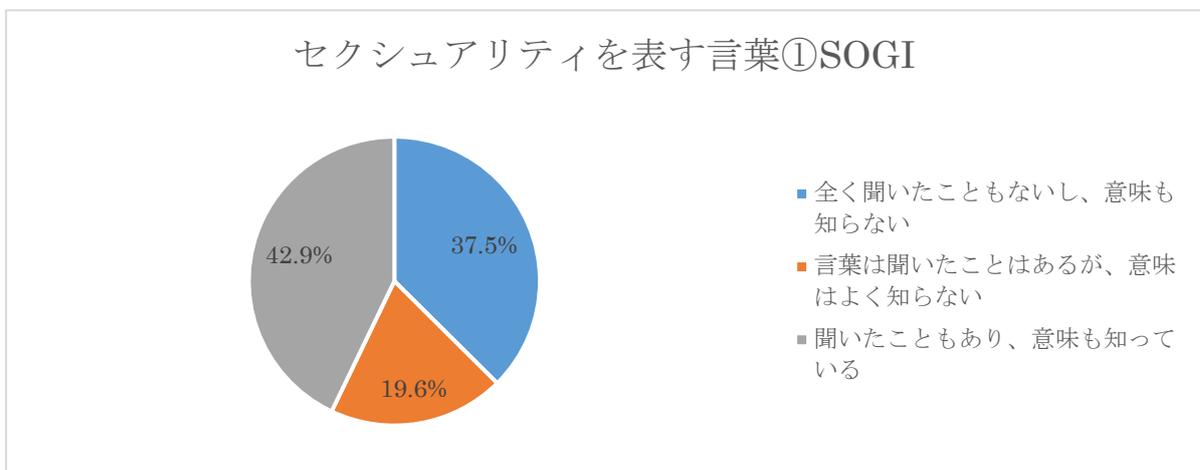
LGBTの方が集まるお店をどの程度利用しているのか尋ねたところ、「ほとんど利用しない」という回答が、51.0%であるということが分かった。利用頻度が高いと考えられる「週に1, 2回くらい」、「週に3, 4回くらい」という回答はそれぞれ3.3%と0.1%であり、お店の利用については、LGBTの方が集まるお店だからといって、特別多く利用しているわけではないということが考えられる（LGBTである人とLGBTでない人の相違は参考資料2を参照）。

Q17 渋谷区の同性パートナーシップ証明書、世田谷区のパートナーシップ宣誓書をはじめとする同性カップルのパートナーシップを証明しようとする自治体が増えています。しかし、これらはいずれも法的なパートナーシップ制度ではありません。あなたは、日本においても、同性カップルに対する法的なパートナーシップ制度が必要だと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

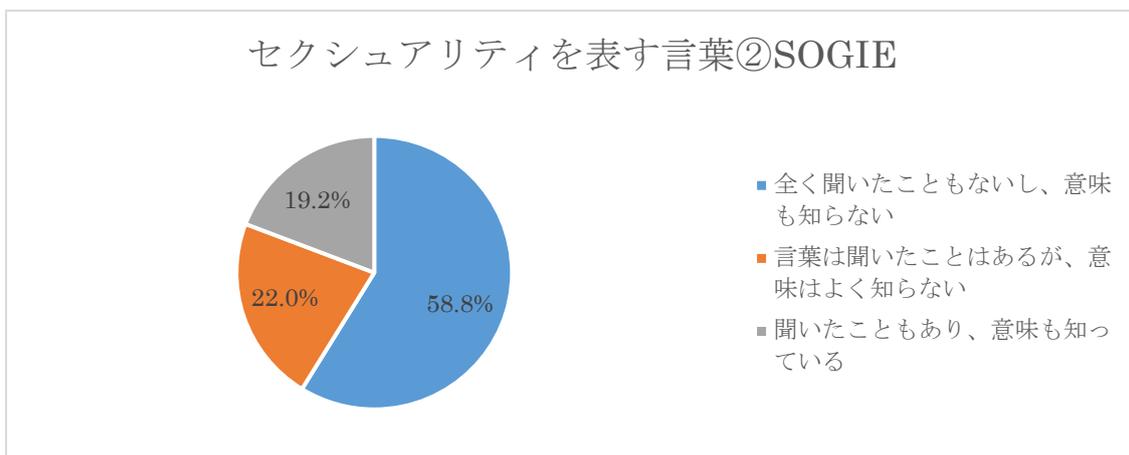


日本においても、同性カップルに対する法的なパートナーシップ制度が必要かどうか尋ねてみたところ、「異性間の法的婚姻制度と同じ同性間の法的な婚姻制度が必要」という回答が71.3%と最も高く、全体の約7割を占めた。法的実行力をもつ婚姻制度は、これから日本が考えなければいけない制度だろう。

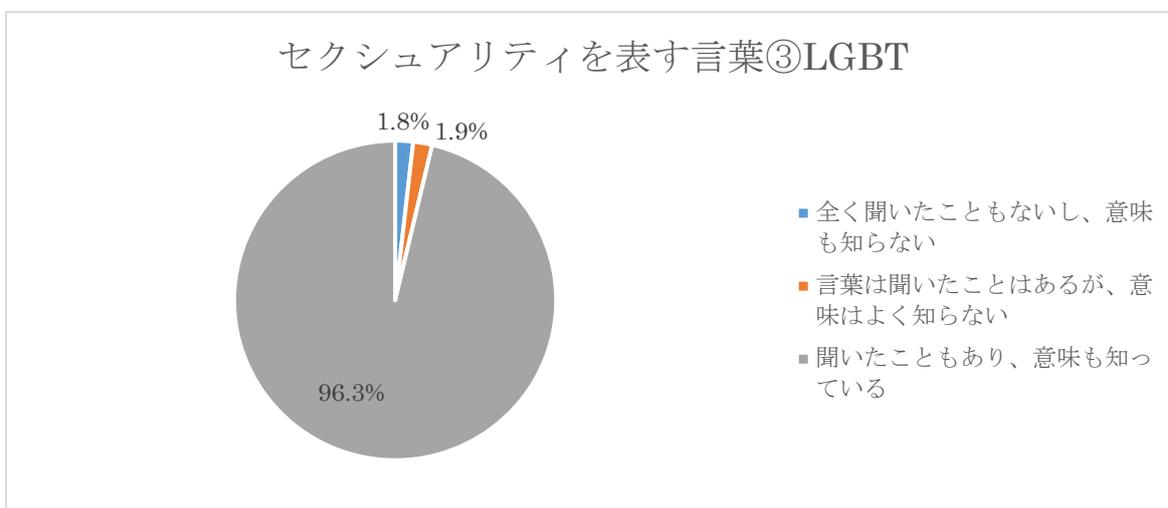
Q18 セクシュアリティを表す表現として「SOGI(ソギ)」あるいは「SOGIE(ソギー）」という用語を使用することがあります。また、多様なセクシュアルマイノリティを示す言葉として、LGBTの他、LGBTQ、LGBTIQなどの表現を使うこともあります。あなたは、これらの言葉を聞いたことがありますか。それぞれについてあてはまる番号を選択肢から1つだけ選び、()内にその数字を記入してください。



セクシャリティを表す言葉「SOGI」で一番多いのは「聞いたこともあり、意味も知っている」で42.9%。続いて「全く聞いたこともないし意味も知らない」が37.5%。「言葉は聞いたことあるが、意味は知らない」が19.6%である。

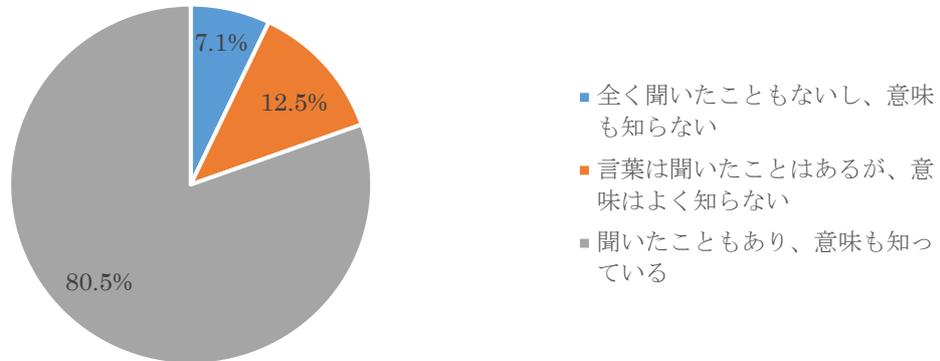


セクシュアリティを表す言葉「SOGIE」で一番多いのは「全く聞いたこともないし意味も知らない」で58.8%。続いて「言葉は聞いたことあるが、意味は知らない」が22.0%である。「聞いたこともあり、意味も知っている」が19.2%である。



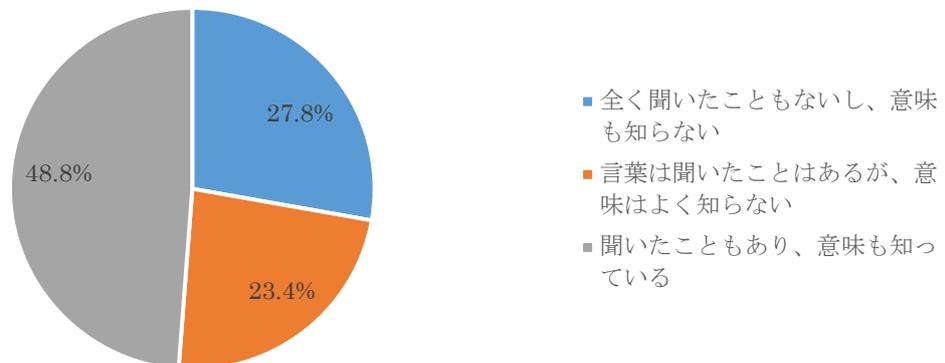
セクシャリティを表す言葉「LGBT」で一番多いのは「聞いたこともあり、意味も知っている」で96.3%。続いて「言葉は聞いたことあるが、意味は知らない」が1.9%。「全く聞いたこともないし意味も知らない」が1.8%である。

セクシュアリティを表す言葉④LGBTQ



セクシュアリティを表す言葉「LGBTQ」で一番多いのは「聞いたこともあり、意味も知っている」で80.5%。続いて「言葉は聞いたことあるが、意味は知らない」が12.5%。「全く聞いたこともないし意味も知らない」が7.1%である。

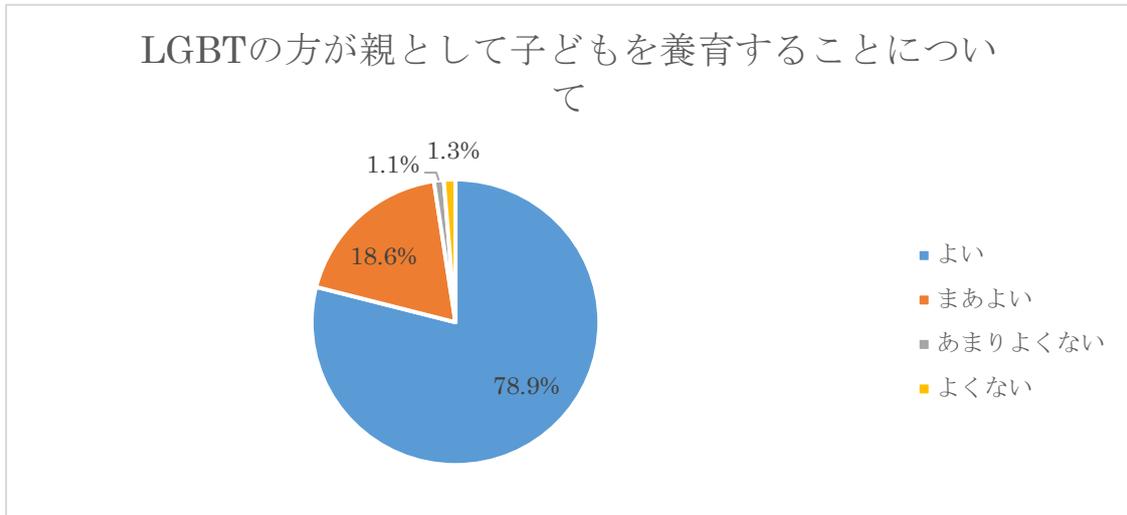
セクシュアリティを表す言葉⑤LGBTIQ



セクシュアリティを表す言葉「LGBTIQ」で一番多いのは「聞いたこともあり、意味も知っている」で48.6%。続いて「全く聞いたこともないし意味も知らない」が27.8%。「言葉は聞いたことあるが、意味は知らない」が23.4%だった。

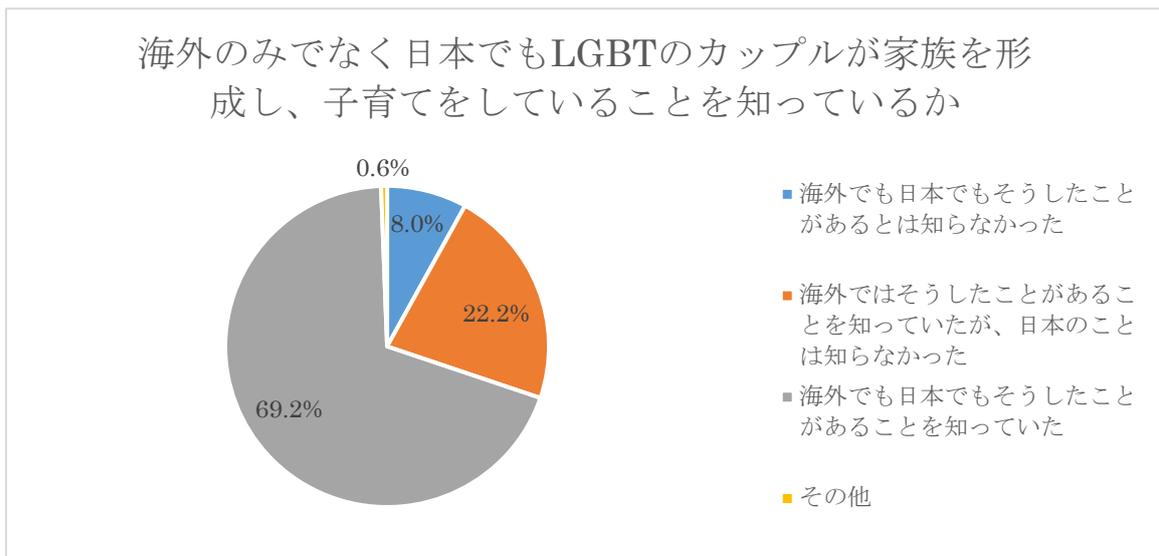
Q19 あなたは LGBT の方が親として子どもを養育することについて、どのように思いま

すか。あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



LGBTの方が親として子どもを養育することについて一番多いのは「よい」で78.9%。続いて「まあよい」で18.6%と、LGBTの方が子どもを養育することについては、90%以上の方が賛成しているという傾向がみられた。

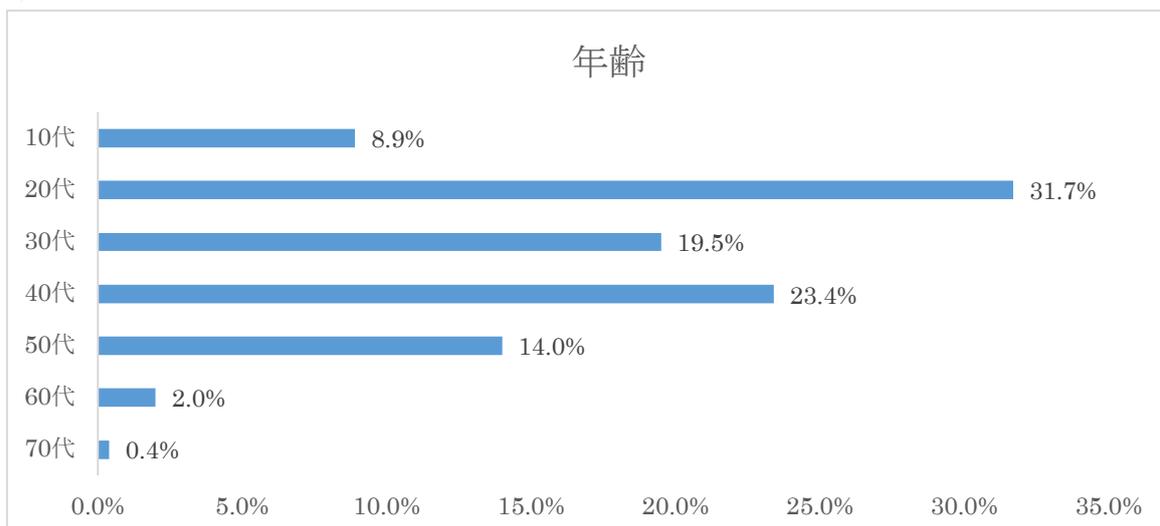
Q20 海外のみだけでなく、日本においてもLGBTのカップルが家族を形成し、子育てをしている現状があります。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



LGBTカップルの家族形成と子育てについて、「海外でも日本でもそうしたことがあることを知っていた」が69.2%で最も多い。続いて「海外ではそうしたことがあることを知って

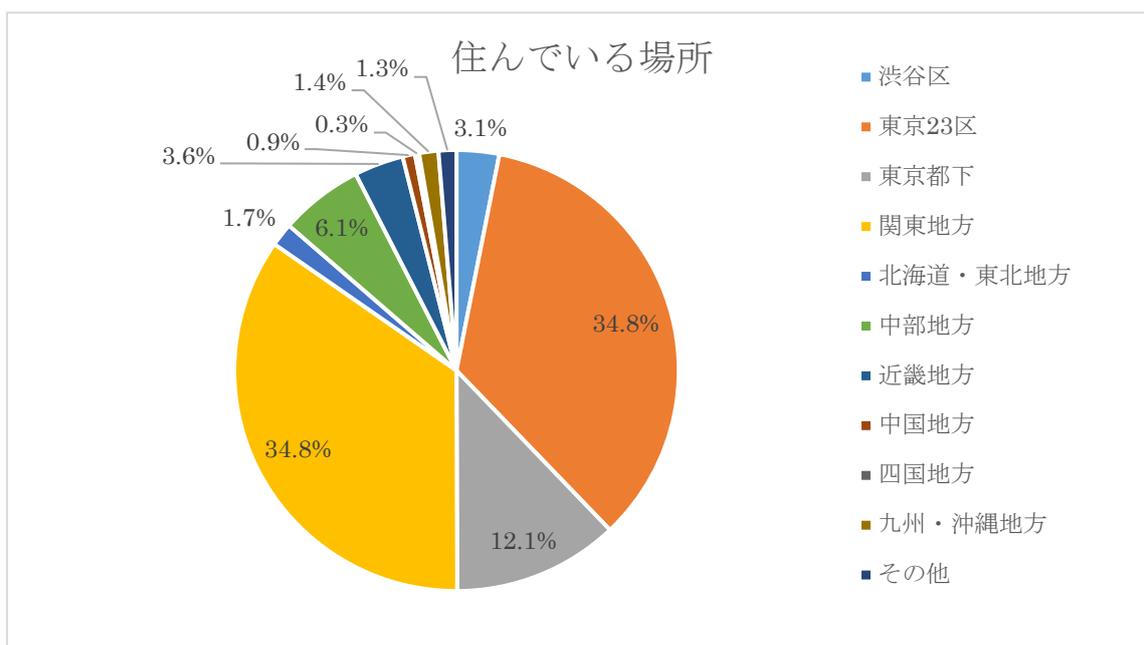
いたが、日本のことは知らなかった」が 22.2%。「海外でも日本でもそうしたことがあることを知らなかった」が 8.0%である(「その他」の内容は別途記載)。

Q21 あなたは現在おいくつですか。あなたの年齢を () に数字で記入してください。



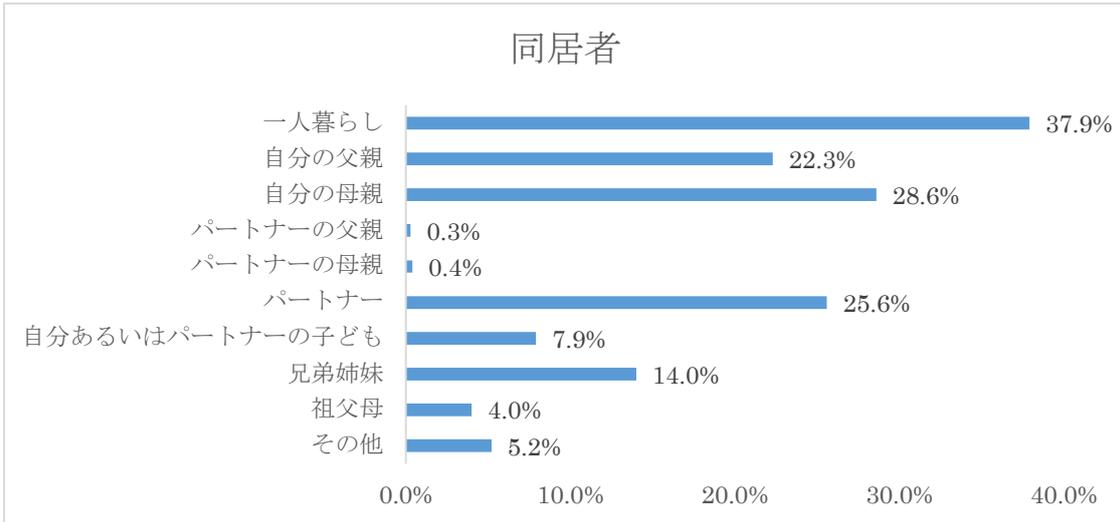
来場者の年齢は 20 代が 31.7%で最も多い。続いては 40 代で 23.4%。30 代で 19.5%と続いている。

Q22 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



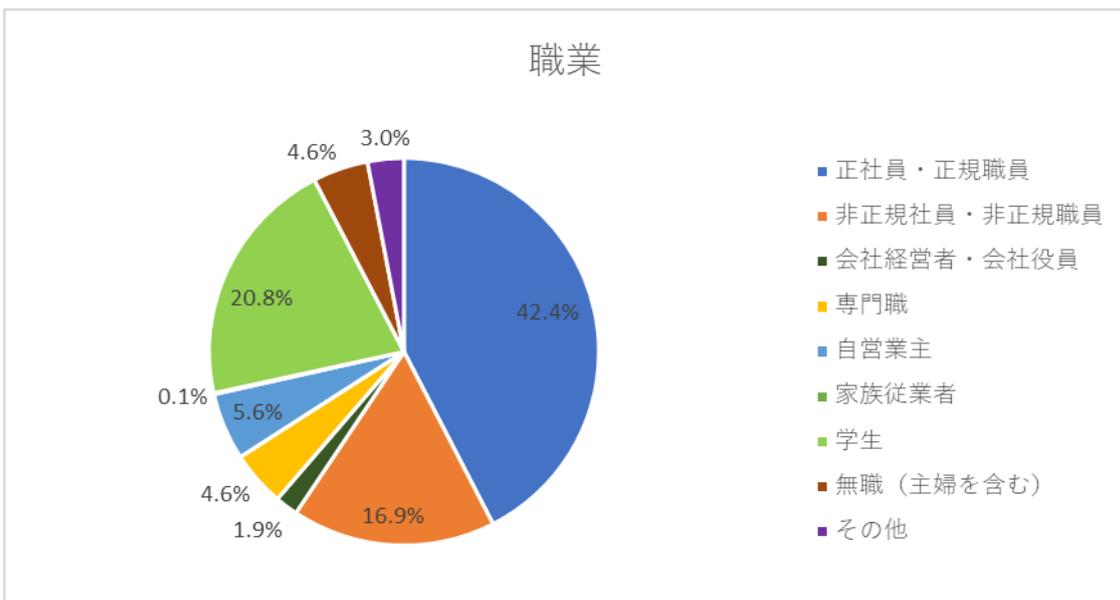
来場者の住まいは、東京 23 区と関東地方がどちらも 34.8%で最も高い。次は 12.1%で東京都下と続いている(「その他」の内容は別途記載)。

Q23 あなたはどなたと暮らしていらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



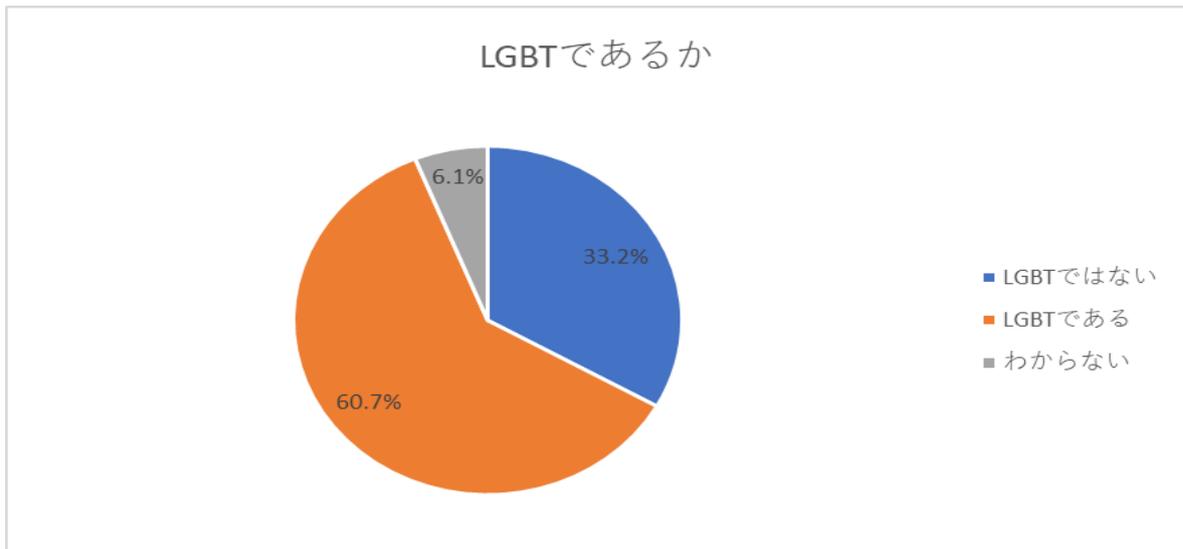
誰と暮らしているかについて、最も多かったのは「一人暮らし」が 37.9%、続いて、「自分の母親」28.6%、三番目に多かったのは、「パートナー」で 25.6%となった(「その他」の具体的内容は別途記載)。

Q24 あなたのお仕事について伺います。あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



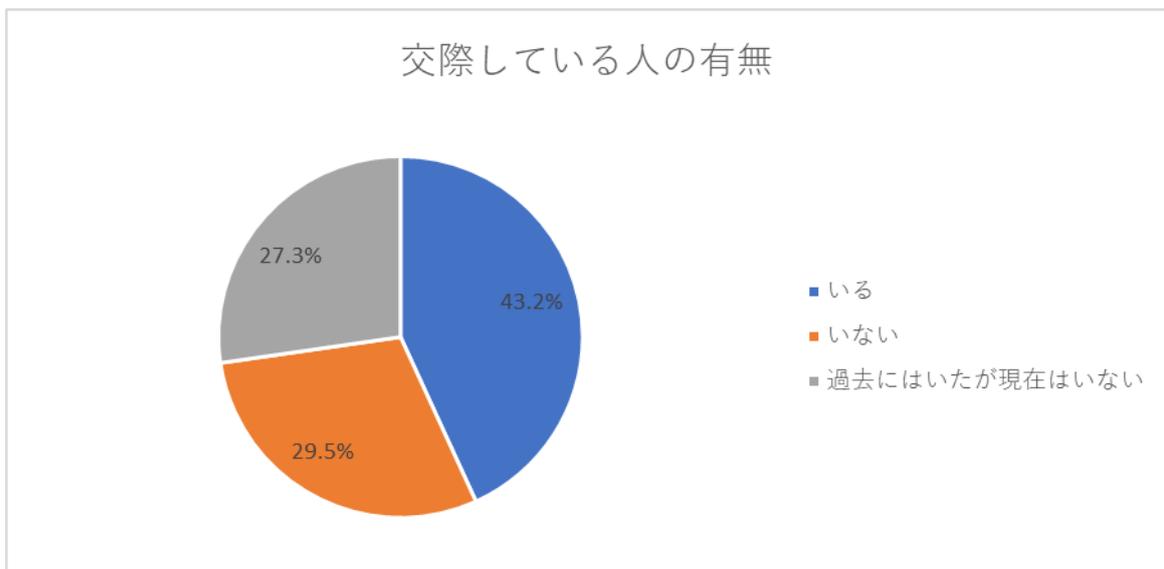
職業については、「正社員・正規職員」が42.4%と最も多い。次いで、「学生」が20.8であるということが分かった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

Q25 あなたのセクシュアリティについて伺います。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。



セクシュアリティについては、「LGBTである」と答えた人が60.7%となっており、来場者の半数以上がLGBTであることが分かった。また、LGBTでない人が33.2%、わからないと答えた人が6.1%となった。

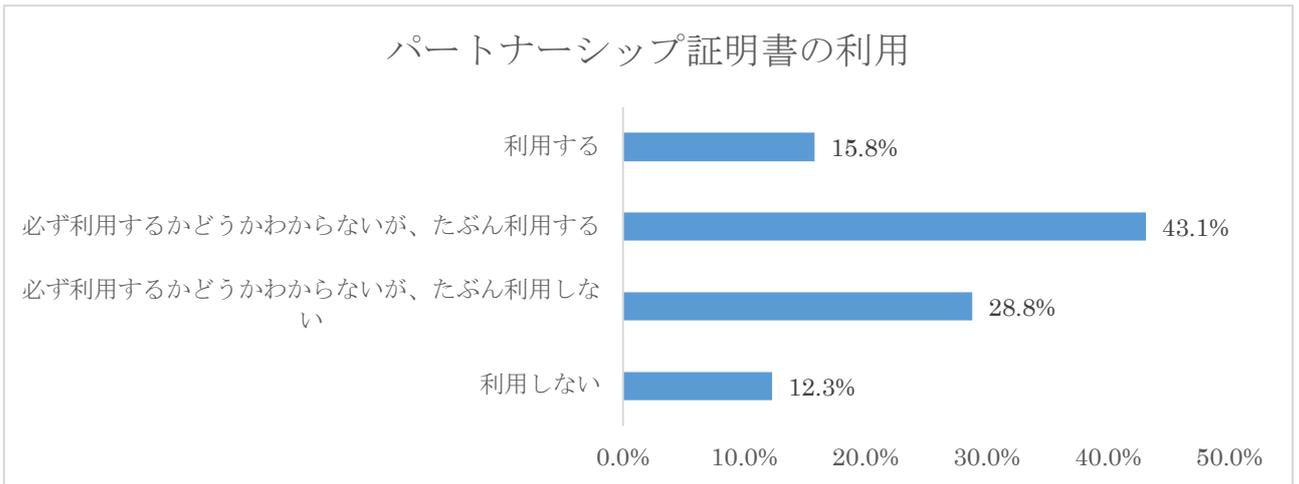
Q26 あなたは、現在お付き合いされている方はいらっしゃいますか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。



交際している人の有無については、「いる」と答えた人が43.2%と最も高く、来場者の約

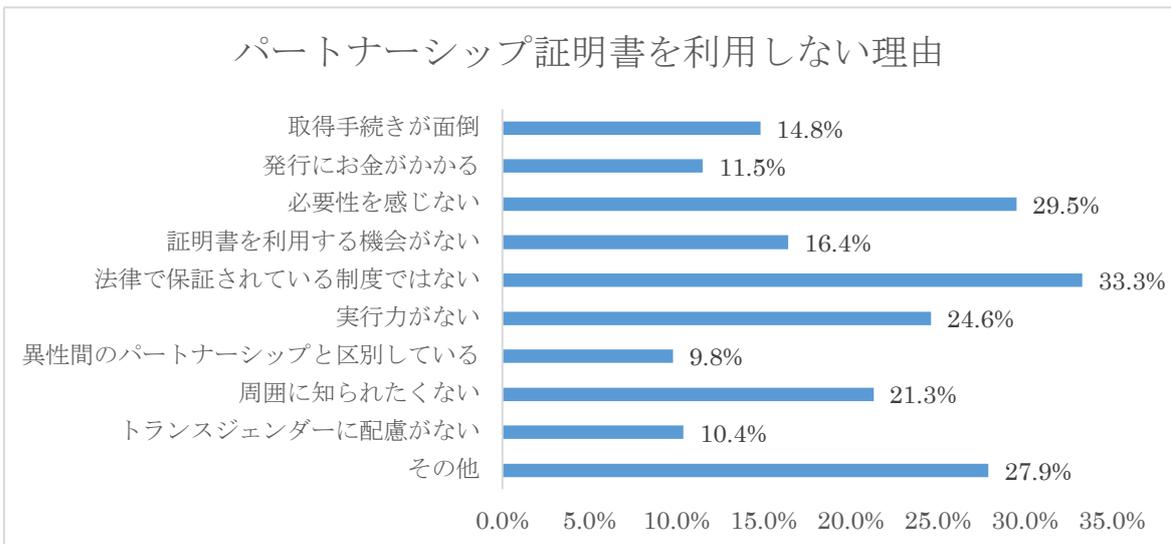
半数が交際している人がいることが分かった。

Q27 あなたがお住まいの自治体でも渋谷区や世田谷区のようなパートナーシップにかかわる証明書が発行されることになったら、利用したいと思いますか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。



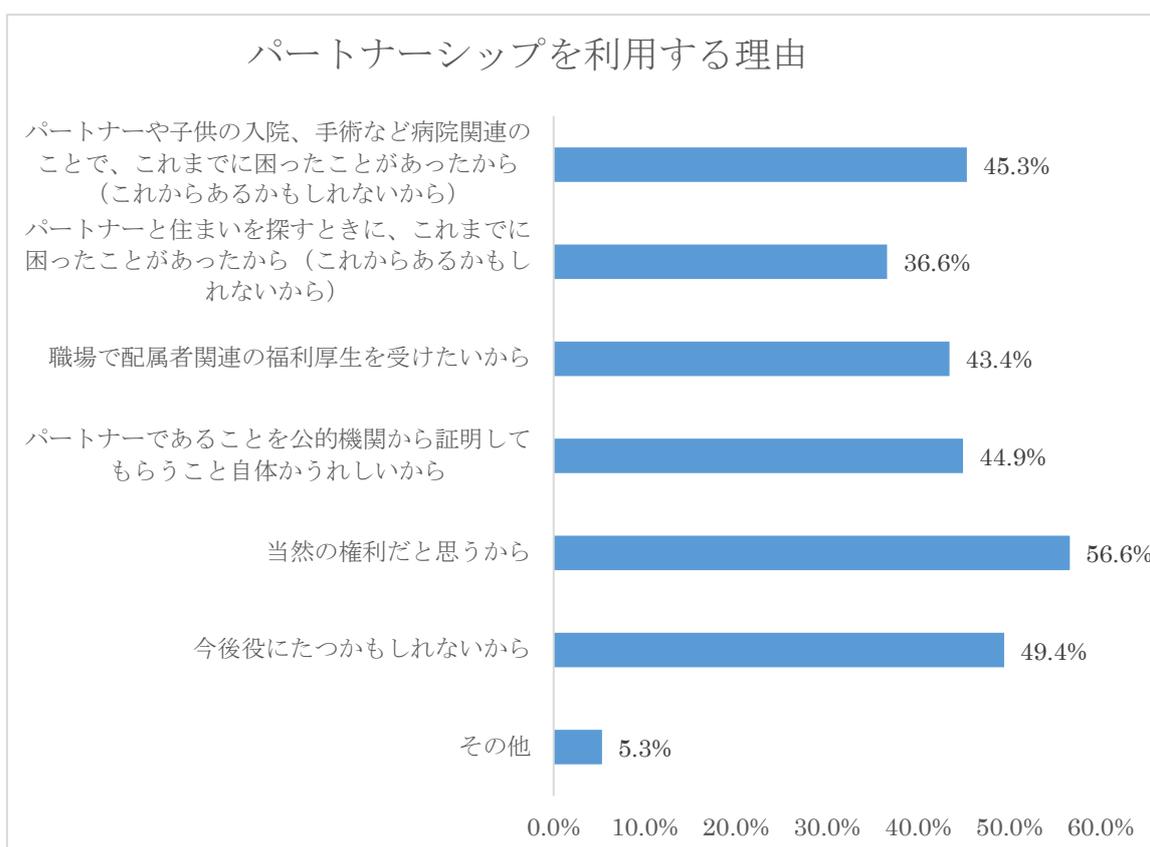
パートナーシップ証明書の利用で、「必ず利用するかどうかわからないが、たぶん利用する」という回答が 43.1%で最も多かった。それ以降の多い順に「絶対利用しないというわけではないが、たぶん利用しない」という回答が 28.8%、「必ず利用する」という回答が 15.8%、「利用しない」という回答が 12.3%という結果になった。

Q27SQ1 Q27で「1.利用しない」「2.絶対利用しないというわけではないが、たぶん利用しない」と回答された方に伺います。利用しないのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



パートナーシップ証明書を利用しない理由で、「法律で保障されている制度ではない」という回答が 8.4%で最も多かった。次いで多い順に「必要性を感じない」という回答が 7.3%、「その他」という回答が 6.5%、「実行力がない」という回答が 6.2%、「周囲に知られたくないから」という回答が 5.4%、「証明書を利用する機会がない」という回答が 4.2%、「取得手続きが面倒」という回答が 3.7%、「発行にお金がかかる」という回答が 2.9%、「トランスジェンダーに配慮がない」という回答が 2.6%、「異性間のパートナーシップと区別している」という回答が 2.5%、「パートナーシップには反対だから」という回答が 0.6%という結果になった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

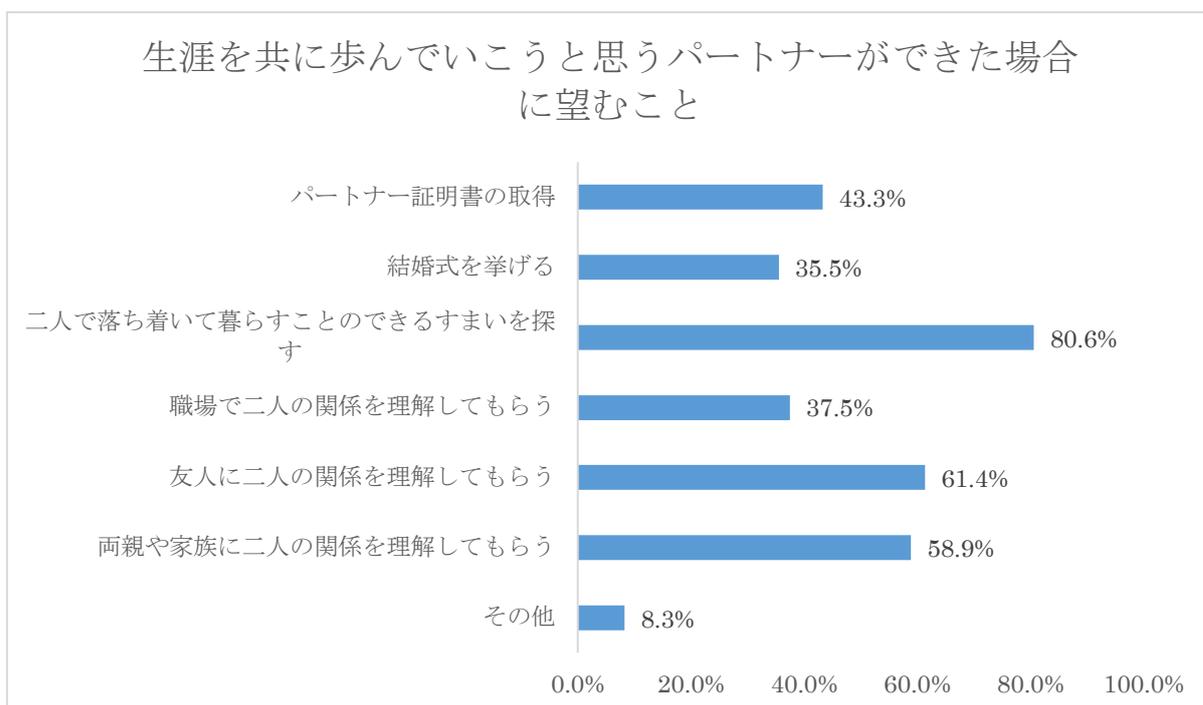
Q27SQ2 Q27で「3.必ず利用するかどうかわからないが、たぶん利用する」「4.必ず利用する」と回答した方に伺います。利用しようと思うのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



パートナーシップを利用する理由で、「当然の権利だと思うから」という回答が 56.6%で最も多かった。それ以降の多い順に「今後役に立つかもしれないから」という回答が 49.4%、「パートナーや子供の入院、手術など病院関連のことで、これまでに困ったことがあったから（これからあるかもしれないから）」という回答が 45.3%、「パートナーであることを公的

機関から証明してもらうこと自体がうれしいから」という回答が 44.9%、「職場で配偶者関連の福利厚生を受けたいから」という回答が 43.4%、「パートナーと住まいを探すときに、これまでに困ったことがあったから(これからあるかもしれないから)」という回答が 36.6%、「その他」という回答が 5.3%という結果になった。(「その他」の具体的内容は別途記載)。

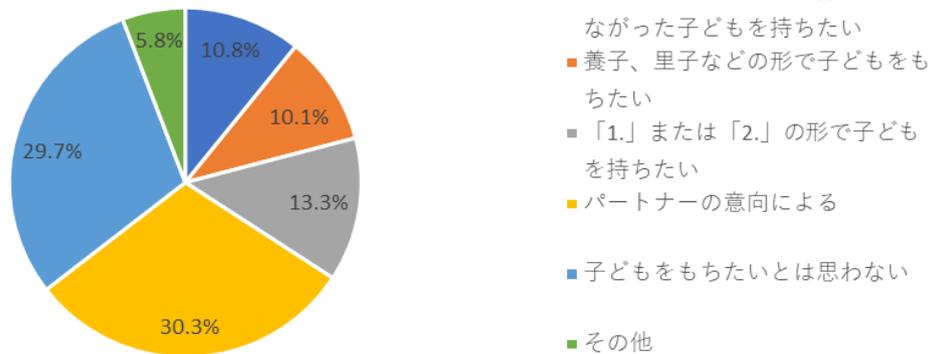
Q28 生涯をともに歩んでいこうと思う特定のパートナーの方ができた場合、あなたは、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



生涯を共に歩んでいこうと思うパートナーができた場合に望むことで、「二人で落ち着いて暮らすことのできるすまいを探す」という回答が 80.6%で最も多かった。それ以降の多い順に「友人に二人の関係を理解してもらう」という回答が 61.4%、「両親や家族に二人の関係を理解してもらう」という回答が 58.9%、「パートナー証明書の取得」という回答が 43.3%、「職場で二人の関係を理解してもらう」という回答が 37.5%、「結婚式を挙げる」という回答が 35.5%、「その他」という回答が 8.3%という結果になった(「その他」の具体的内容は別途記載)。

Q29 生涯をともに歩んでいこうと思う特定のパートナーの方ができた場合、あなたはパートナーの方と子どもをもちたいですか。あてはまる番号 1つだけ ○をつけてください。

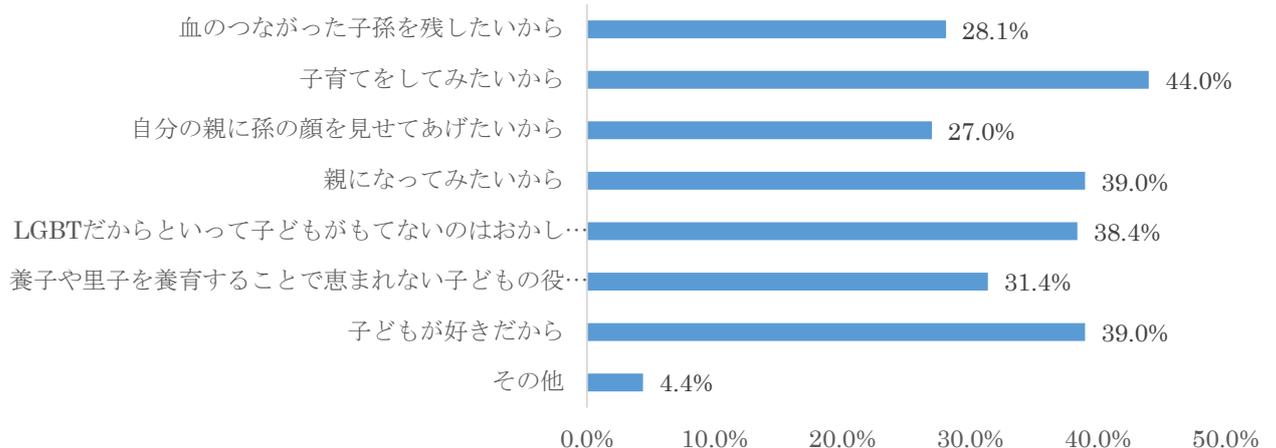
生涯を共に歩んでいこうと思うパートナーが出来た場合
パートナーとの子供を望むか



パートナーとの子どもを望むかについては、「パートナーの意向による」が30.3%と最も高かった。次いで、「子どもを持ちたいとは思わない」が29.7%であった。（「その他」の具体的内容は別途記載）

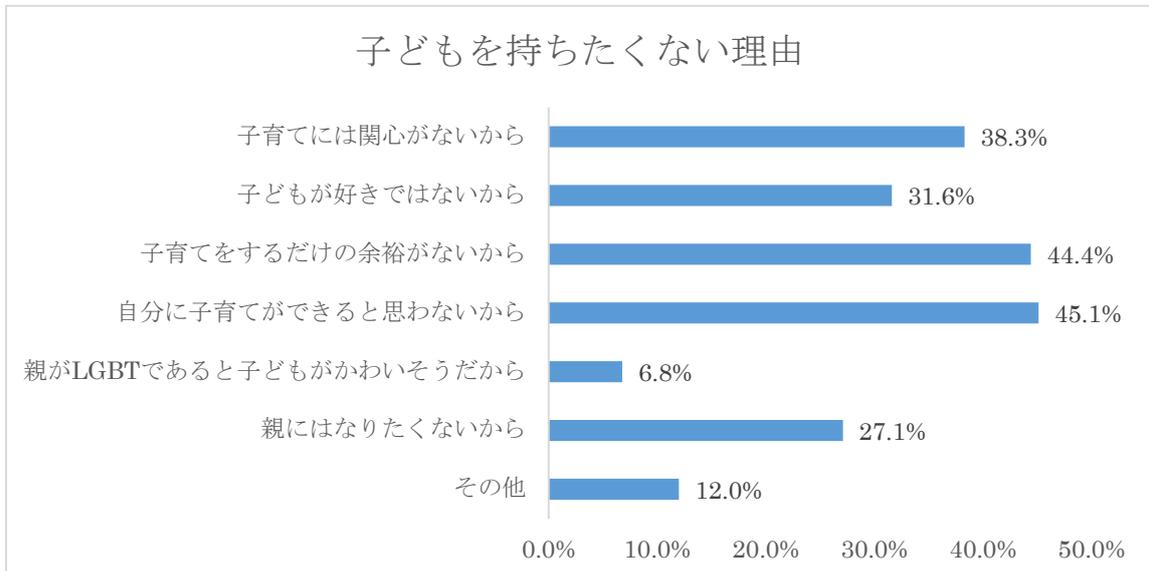
Q29SQ1 Q29で「1. パートナーもしくは自分と血のつながった子どもを持ちたい」、「2. 用紙や里子などの形で子どもを持ちたい」「3. 『1.』『2.』の形で子どもを持ちたいと回答された方に伺います。それはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを持ちたい理由



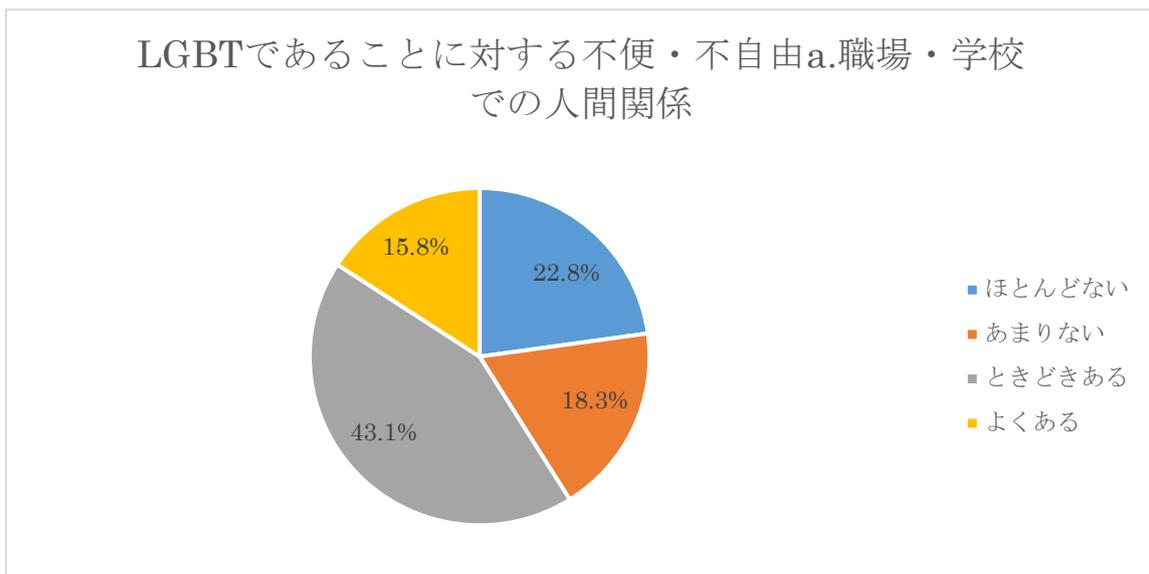
子どもを持ちたい理由については、「子育てをしてみたいから」が44.0%と最も多かった。次いで「子どもが好きだから」という理由が39.0%であった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

Q29SQ2 Q29で「5. 子どもをもちたいと思わない」と回答された方に伺います。それはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



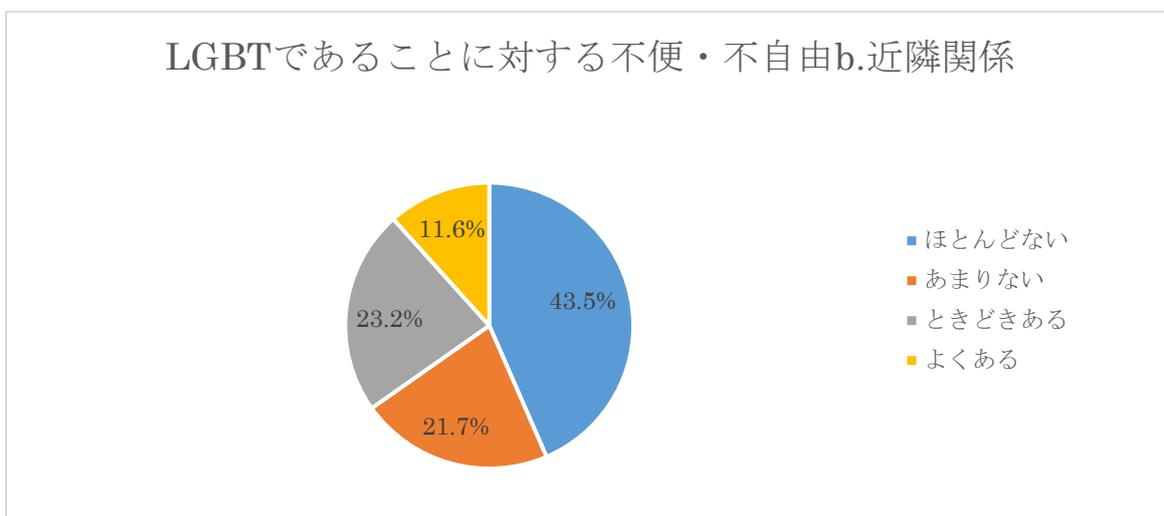
子どもをもちたいと思わない理由について、「自分に子育てができると思わないから」が45.1%と最も多かった。次いで、「子育てをするだけの余裕がないから」が44.4%であった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

Q30 あなたは日常生活において、LGBTであるからということで不便・不自由を感じることはありますか。aからcについてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

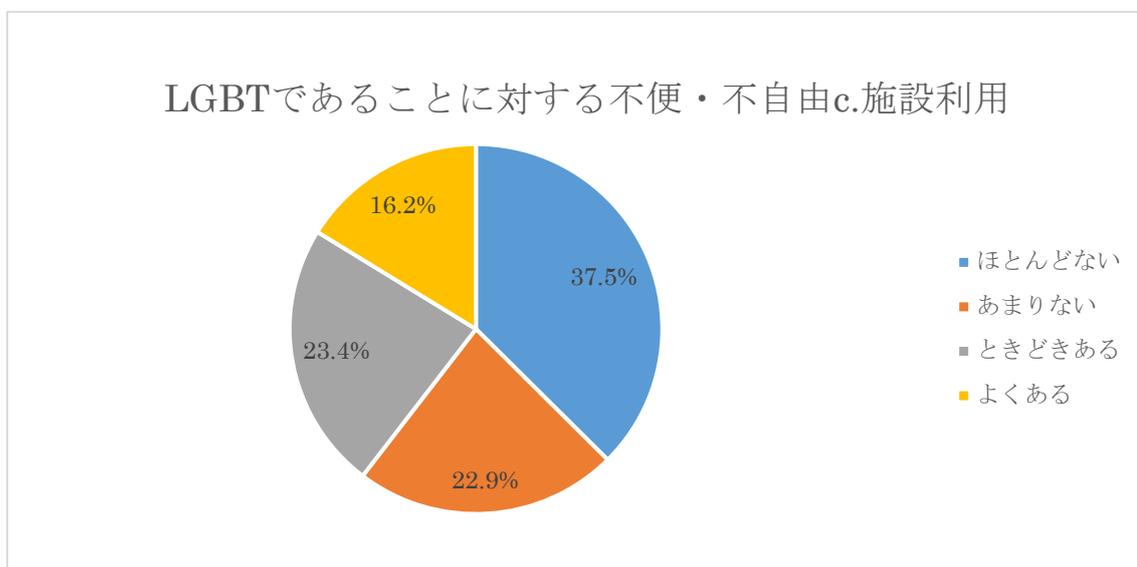


LGBT(セクシャルマイノリティ)であると回答した人に対して、職場・学校での人付き合いに不便・不自由を感じるかと言う質問したところ、「よくある」が15.8%、「ときどきあ

る」が 43%、「あまりない」が 18.3%、「ほとんどない」が 22.7%、という結果になった。職場・学校での人付き合いにおいて不便・不自由を感じている人は約 6 割ということが分かった。

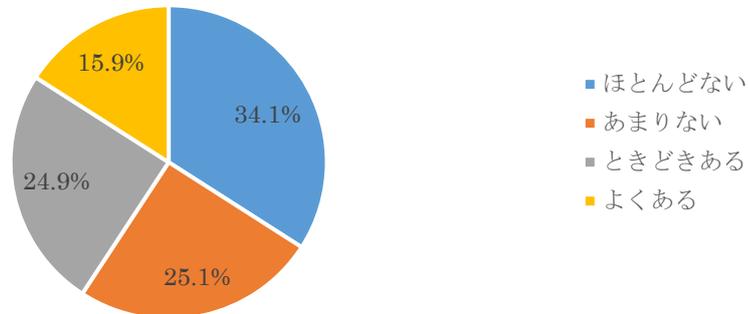


LGBT (セクシャルマイノリティ)であると回答した人に対して、近所付き合いに不便・不自由を感じるかと言う質問したところ、「よくある」が 11.6%、「ときどきある」が 23.2%、「あまりない」が 21.7%、「ほとんどない」が 43.5%という結果になった。



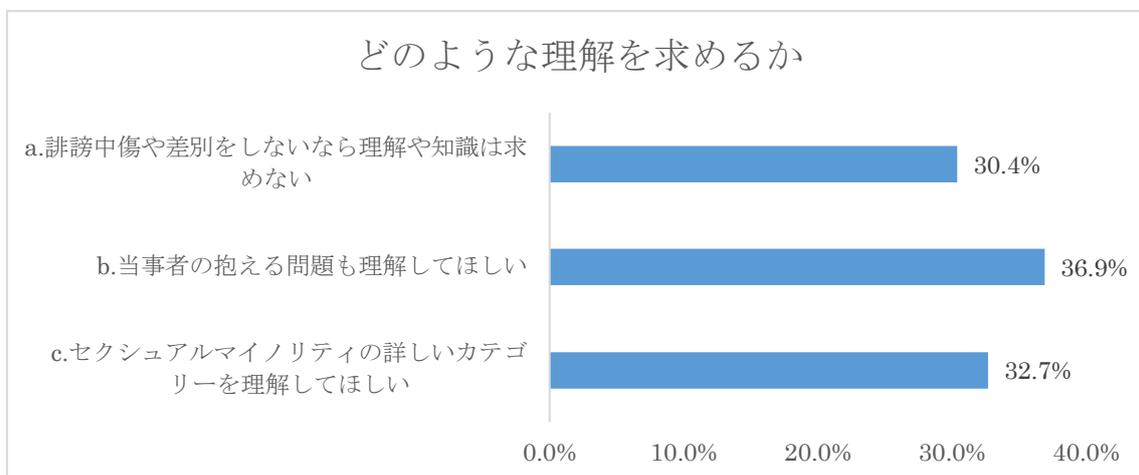
LGBT (セクシャルマイノリティ)であると回答した人に対して、施設利用について不便・不自由を感じるかと言う質問したところ、「よくある」が 16.2%、「ときどきある」が 23.4%、「あまりない」が 22.9%、「ほとんどない」が 37.5%、という結果になった。

LGBTであることに対する不便・不自由d.保証制度



LGBT(セクシャルマイノリティ)であると回答した人に対して、保証制度について不便・不自由を感じるかと言う質問したところ、「よくある」が15.9%、「ときどきある」が24.8%、「あまりない」が25.1%、「ほとんどない」が34%、という結果になった。約4割の人が不便・不自由と感じると回答した。

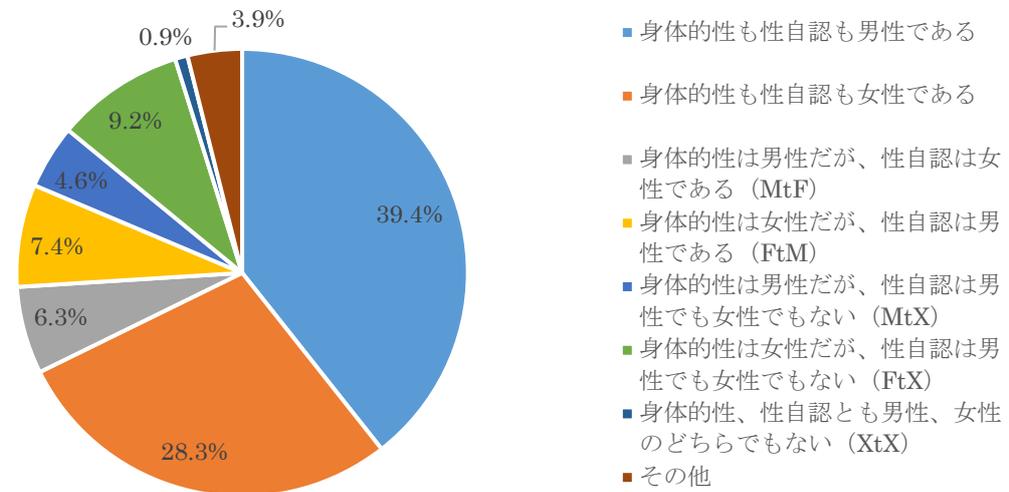
Q31 近年 LGBT やセクシャルマイノリティという言葉は浸透してきましたが、あなたは、LGBT 当事者でない方には、どのような理解を求めますか。a から c についてあてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。



LGBTでない人からどのような理解を求めるかについては、「当事者の抱える問題も理解してほしい」が36.9%で最も高かったが、「セクシャルマイノリティの詳しい理解」32.7%、「誹謗中傷や差別しないなら、理解は求めない」も30.4%とほぼ同じ割合であった。

Q32 あなたの身体的性と性自認について伺います。当てはまる番号に 1つだけ○をつけてください。

身体的性と性自認

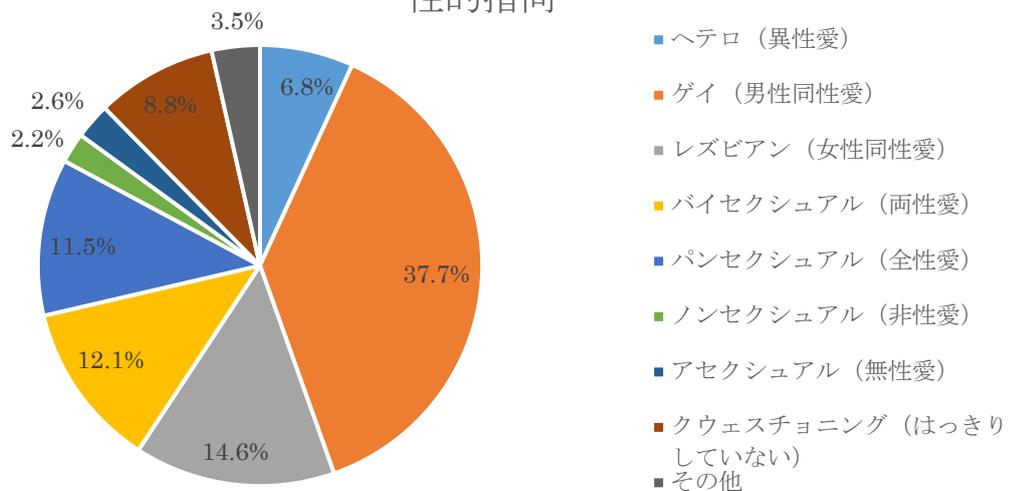


身体的性と性自認について、割合がもっとも高かったのは「身体的性も性自認も男性である」が 39.4%であった。次いで、「身体的性も性自認も女性である」が 28.3%であった。

このことから性別違和を持たない人が約 65%を占めている。MtF は 6.3%、FtM は 7.4%、MtX は 4.6%、FtX は 9.2%であったため、性別違和をもつ人たちの割合は全体の約 3 割であった。

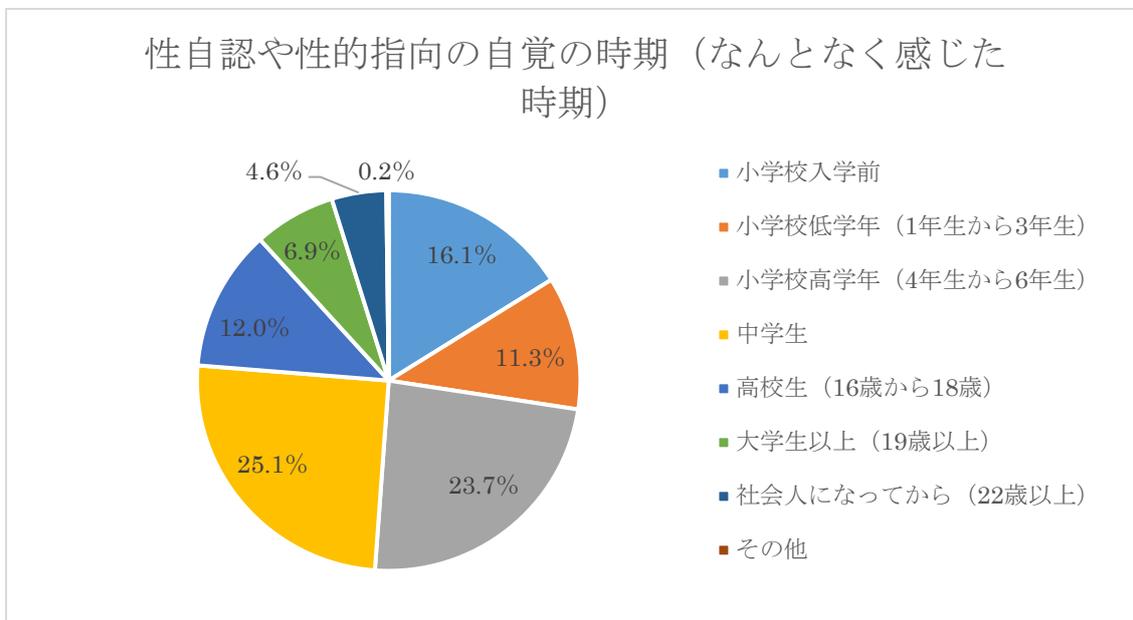
Q33 あなたの性的指向についてお伺いします。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

性的指向



性的指向に関して、最も割合が高いのが、「ゲイ（男性同性愛）」の37.7%であった。次いで、割合の高い順に「レズビアン（女性同性愛）」が14.6%、「バイセクシュアル（両性愛）」が12.1%、「パンセクシュアル（全性愛）」が11.5%、「クウェスチョニング（はっきりしていない）」が8.8%、「ヘテロ（異性愛）」が6.8%であった。この問いはセクシュアルマイノリティに対する質問であるため、「ヘテロ（異性愛）」と回答している人は、性別違和をもつトランスジェンダーの方であると思われる。

Q34 あなたがご自身の性自認や性的指向について自覚されたのはいつごろからですか。①
なんとなく感じた時期について、あてはまる番号を選択肢から1つだけ選び、()内に記入してください。



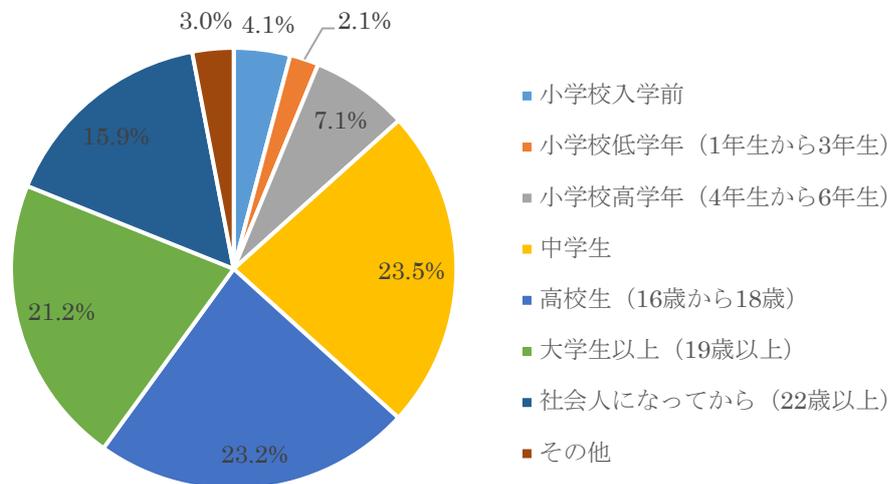
性自認や性的指向の自覚をなんとなく感じた時期として最も割合が高いのが、「中学生」で25.1%であった。

次いで、「小学校高学年（4年生から6年生）」が23.7%で、「小学校入学前」が16.1%という回答であった。

また、小学校卒業までという早い時期に自分の性自認や性的指向についてなんとなく感じた人が5割を超えていることがわかった。

Q34 あなたがご自身の性自認や性的指向について自覚されたのはいつごろからですか。②
はっきりと認識した時期について、あてはまる番号を選択肢から1つだけ選び、()内に記入してください。

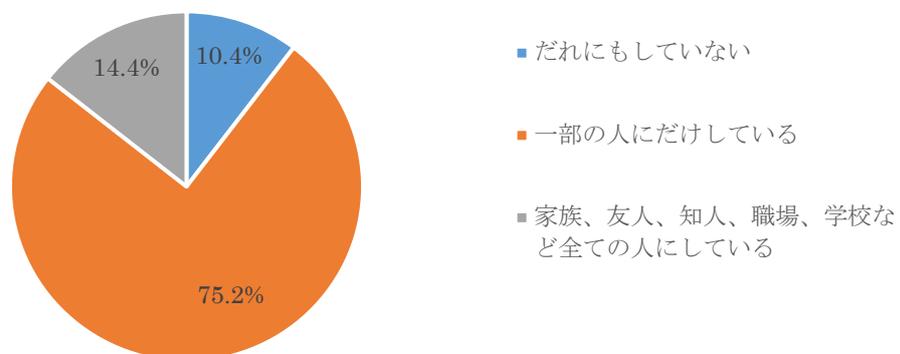
性自認や性的指向の自覚の時期（はっきりと認識した時期）



性自認や性的指向の自覚の時期として最も割合が高いのが、「中学生」で23.5%であった。次いで「高校生（16歳から18歳）」が23.2%であり、「大学生以上（19歳以上）」が21.2%という回答であった。小学校卒業までに自分の性自認や性的指向をはっきりと認識した人は1割強であり、中学生から大学生の間ではっきりと認識した人が7割弱だとわかった。

Q35 あなたはご自身がLGBT（セクシュアルマイノリティ）であることを周りの方にカミングアウトしていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

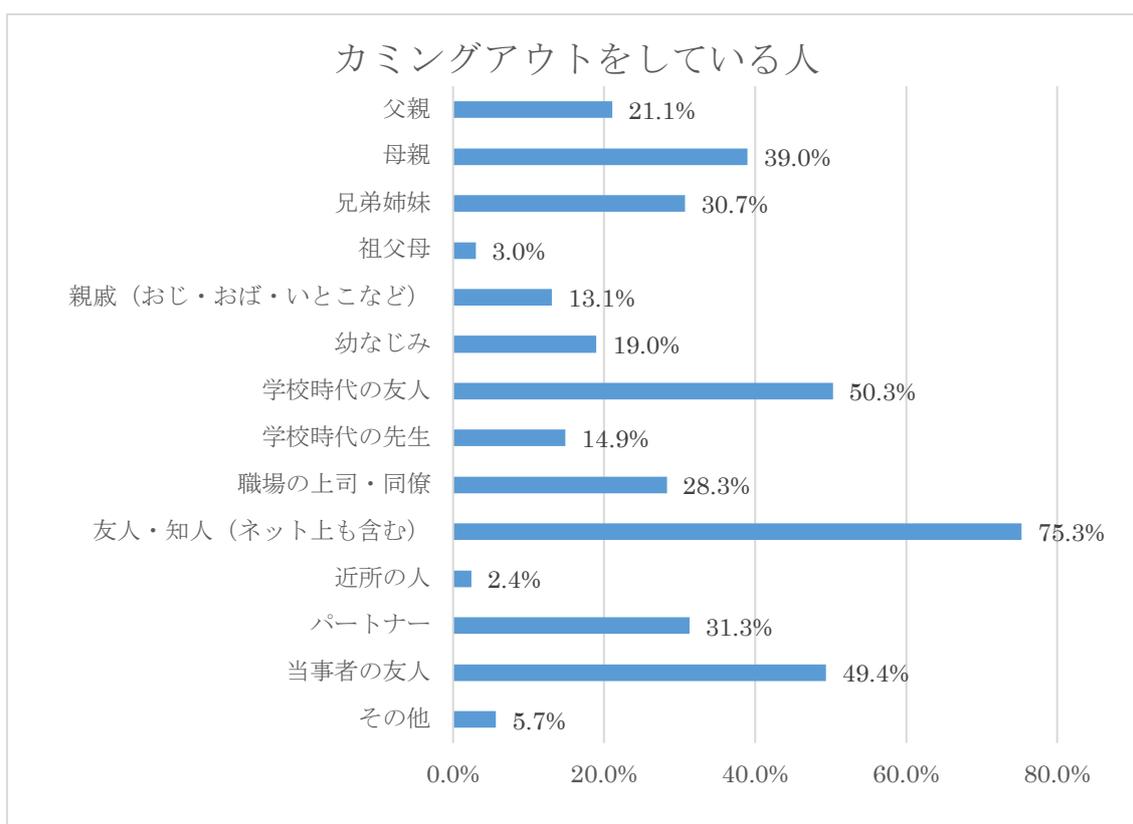
セクシュアリティのカミングアウト



カミングアウトを「一部の人だけにしている」という割合が最も高く、75.2%であった。

「家族、友人・知人、職場、学校など全ての人にしている」の割合は14.4%であり、「だれにもしていない」の割合は10.4%であった。9割の人が、少なくとも一部の人にはカミングアウトをしていることがわかった。

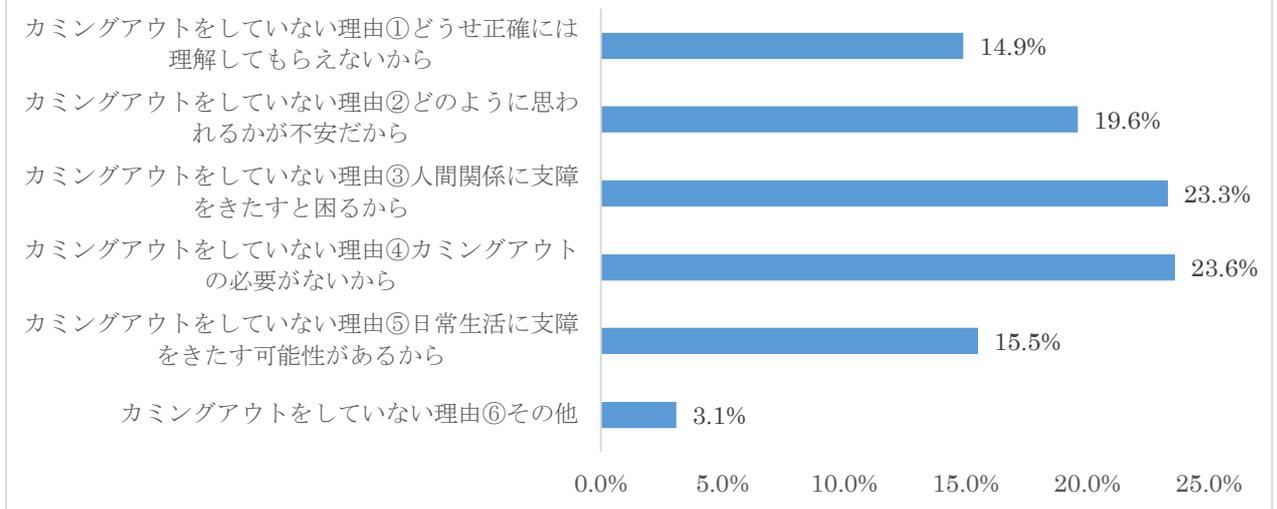
Q35SQ1 Q35で「**2. 一部の人にだけしている**」と回答された方に伺います。具体的にはどなたにカミングアウトされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



誰にカミングアウトされているのかという質問に対し、「友人・知人 (ネット上の知り合いも含む) が75.3%と最も高く、次いで「学校 (時代) の友人」が50.3%、「当事者の友人」も49.4%と高い。身内は「母親」が39%、兄弟姉妹が30.7%だった (「その他」の具体的な内容は別途記載)。

Q35SQ2 Q35で「**1. だれにもしていない**」、「**2. 一部の人にだけしている**」と回答された方に伺います。カミングアウトをされていない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なぜカミングアウトをしていないのか



カミングアウトをされていない理由については、「カミングアウトの必要がないから」が23.6%と最も高く、次いで「人間関係に支障をきたす可能性があるから」が23.3%であった（「その他」の具体的内容は別途記載）。

第二章 アンケート項目の「その他」の具体的記述内容と自由記述

Q1 今回の東京レインボープライド 2019 を知ったきっかけについて、あてはまる番号に 1つだけ○をつけてください。

○「その他」の回答内容

毎年来ているから 2名

大学の授業・学校で知った 2名

SNS で知って 2名

出展

購読しているメルマガから

以前ボランティアに参加

コミュニティスペースで知った

大学のサークルの紹介にて

会社としてパレード参加

フェイスブックを見てパートナーと一緒に

仕事の関係上(大使館)

近所のため

東京新聞

Q3 あなたがこの催しにいらっしゃった目的について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

○「その他」の回答

Seigo&Bren に会いに

連帯取材

ブースに行くため

署名活動協力団体への挨拶

各種情報収集

興味本位です

旧友に会う

市議員と、色々な方への橋渡しの為

LGBT として世間にアピールするため

時間があったから

パレードとイベントトーク出演のため

体感する事が重要だと思った

いつも聴いているラジオ番組の公開収録があったから

LGBT 以外の友人にも会うため

将来の夢に関して聞きたいコトがあった
トランスジェンダーとして悩みをとくため。
当事者であるので。ブースにいる友人に会うため。

Q3SQ1

LGBT の仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため
友人に会うため
LGBT の知識や人脈
どんな規模でどんな感じなのか知りたかった

Q4SQ1 Q4で「1. 満足していない」、「2. やや満足していない」に○をつけた方に伺います。それぞれについてどのような点に満足されなかったのでしょうか。それぞれについてあてはまる番号に3つまで○をつけてください。

○「その他」の回答

b. ブースについて

大企業ばかり。お金が動いているんだなど。前はこんなじゃなかったのに。
あちこちで音が鳴っていて混乱する。
イスラエルのとなりで初日に大変迷惑をした。
グッズが欲しかった、物を売っているブースが少ない
場所が悪い
参加費が高い

c. パレードについて

企業名を冠したグッズが目立つ。禁止してほしいわけではないが、プライドパレードが企業や資本前提になっているきがして複雑な気持ちになる。そういったものがなくても自由や平等が当たり前を目指してほしい。
もっとスムーズに流れたら、50分遅れとかならないと思う。道路に出る所で誰か総合的に進行する人が1人でもいるといいと思う。(いたような感じはしますが)。
出発予定時間の遅れ。14時じゃなく12時からなどの対策
時間通りにならない
集合場所に二時間程度立たされたままで、もう少し効率的な方法があると思う
ブースの妨げになる
分断されすぎて、規模感が出ない
2014年くらいから異なるイデオロギーの団体が出場している。
待ち時間が長い

当日参加制の導入は無理があると思った

e.会場全体について

以前に比べて活気がなくなった。大企業が多すぎ。前より、ブース少ない気がする。

人が多くて歩きにくい！

混雑し過ぎていて長居出来ない。

多くのブースが多様性への支援ではなく単なる商業目的のように感じた。

Q4SQ2 Q4で「1. 満足していない」、「2. やや満足していない」に○をつけた方に伺います。それぞれについて具体的な改善策やご提案がありましたら、() 内にご記入ください。

○「その他」の回答

a. ステージについて

タイムテーブルをつくる

伝統芸能は必要な LGBT アーティストの...

エンターテインメント性をもっと

ステージ以外のスピーカーから音を出さない

b. ブースについて

時間どおりにすすめるように仕切る人をつくる

聞いても案内がスムーズにいかない

イスラエルの出展をやめさせる (デモがあると聞いたので)

通行者の区別や整理

参加費を安く

c. パレードについて

道路に出る所ではっきりと進行する人が目立っているといいと思います

信号に従うと遅れが発生する

人数を減らしたほうがよい

昨年のように団体に申し込み、集合時間を小刻みにすればよいと思う

一般と団体がごっちゃになっていて移動大変だったので、もっとわかりやすく伝達が上手くいけばいいのにと思いました。

5列縦隊ではなく、道路を歩行天にしてパレード専用にしてもらう (海外のパレードみたいに) とより規模感、存在感が出る

集合場所が入り乱れすぎている

集合スペースが狭く混雑、案内を充実させたほうが良い。

セクシュアルマイノリティの祝祭だということを忘れないでほしい。異なる政治活動への勧誘等は控えてほしい。ワンイシューであるべき。

同じジャンルは2つまでにするとか出来ると良いかも

以前の整理券(?)配布に戻したらどうか

集合から出走までの時間が長すぎる

d. 飲食の屋台について

それぞれの屋台や飲食のテーブル横にゴミ箱を設置してほしい。(ゴミ箱の位置まで移動するのに人ごみを歩いて抜けていくのに一苦労)

安く提供してほしいよ

歩道をうめてしまう。もっと広い場所で開催

飲食屋台のテントの色を統一したらわかりやすいと思った

e. 会場全体について

原点に戻ってみてください。何が目的か。

それぞれの屋台や飲食のテーブル横にゴミ箱を設置してほしい。(ゴミ箱の位置まで移動するのに人ごみを歩いて抜けていくのに一苦労)

もっと広い会場でやる。

トイレを増やしてほしい

Q5SQ1 Q5で「3. あまりよくない」、「4. よくない」に○をつけた方に伺います。どの点が良くなかったのでしょうか。()内に具体的にご記入ください。

順番がわかりにくい

当日参加されると突然途中から参加されるのが嫌だから、迷惑だから

当日の混乱が大きかったから

わかりづらい! 情報拡散が足りない

参加者が多くパレード完了に時間がかかってしまったため

当日参加できるのかできないのかよくわからなかった

フロートひとつの参加人数は 250 人という制限は告知されなかった。すべて事前予約にするほうがよい。

(特に団体の方々)伝達がうまく行かず、一般の列の中から移動したりなんだりして、関係のない人たちも動くのが大変そうでした。

ブースの横や正面すぐ前に並ぶなど、ブースの妨げになっていた案内が行き届いていない気がする

とても並んでいて、14時から並び1時間後ぐらいにスタートしたため

人数が増えすぎて時間を要するから

事前申込の方が混乱なく集まれる。☆14:50～15:00に出発列をつくる、など。

人数の把握が難しく、進行が遅れがちになる

待ち時間が思っていたよりも長く疲れてしまった。歩いているときは、パレードらしくゆったりと歩けた気がした（例年は、さっと歩く、速くいかないとみたいなせかされる感があった）

パレードへの誘導が以前と比べてスムーズではない。

わかりづらい、団体ごとをHPなどにほしい

受付が必要

予想外の人で混雑する可能性があるため

参加人数が多すぎて後続の待ち時間が長すぎ

参加したいフロートを選べない

事前予約と当日参加の分かれ目がわかりづらい

事前に参加をする申し込みを作った方がいい。

混雑する、どのくらい並ぶのかよく分からない。当日予約がよい。

どんな人が参加するのかがわかりにくい

Q7 プライドウィークの期間は、この会場でのプライドフェスティバルとパレードのほか、オープングレセプションをはじめとしてパーティやワークショップなど様々な催しが行われています。あなたはこれらにも参加します（した）か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

○「その他」の回答

明日109に参加する

参加したいが遠方のためできなかった

4月30日の109のイベントに参加予定

講演会

知っていたが参加していない。遠いので。

体力ないので行けないが、体力あれば行きたい

今後参加していきたい

過去に講師で参加した

Q8 東京レインボープライドでは、プライドウィークの企画・運営の他、渋谷区のLGBTを対象としたコミュニティスペース（#渋谷にかける虹）の企画・運営なども行っています。「#渋谷にかける虹」のような東京レインボープライドが年間を通じて運営を行う企画として、希望するものやアイデアがあれば、()内に具体的な内容をご記入ください。

ビンゴ大会、仮装大会

話す場がほしい

渋谷にかかわらず、LGBT に関する情報提供拠点

TRP でも宣伝すべきだと思います

区民として少々の理解

気軽に購入できる雑貨やカフェ（飲み物やお菓子）などがあればいいですね

ダブルマイノリティをもっと取り上げてほしいです。

全国規模の活動グループの集まり、交流会を5月の半年後の11月あたりでやってほしい

渋谷から日本、そして世界をかける虹

レズビアンに関する催し

パートナーとのこと、仕事について性別移行の事例など

就職活動相談

LGBT 活動家の企画

子供への啓発

初心者向けの講座を2ヶ月に1回ほど開催したほうがよい

ラッピングバス

トークが聞きたい。生声が欲しい。

運命の人と逢える企画

レインボーフラッグを街中にも広める

同性婚について、裁判所に訴訟されて進められているが、現在世界で20カ国以上認められた経緯を伝えるべきアクションをしてほしい

問いの数を増やして欲しい

地域イベント-全部で

コミュニティスポットを設ける

ペイント合戦

年に一回だけでなく、小規模なイベントを定期的に行って周知をしてほしい

SNS と連動のリアルイベント

TV 出演

全国でして欲しい。

Q9SQ1 Q9で「2. LGBT 関連の活動はしていない」と回答された方に伺います。そうした活動をされていないのはなぜですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○「その他」の回答

団体行動が苦手

常にリベラルな立場でいたいから

アライとしてサポートできる立場でいられればと思い、特に団体に所属はしていない

職務上の理由。

社会的意義のある団体への寄付 etc.の支援は行っているが顔出しなどの行為、また LGBT 業界の空気感が苦手のため。

今、栃木にいて、引っ越した関係で今はやっていない。以前は、宮城県石巻市で石巻パシフィック Rainbow という市民団体の代表をしていました。フェイスブック残っています。

海外に住んでいる

考え中

海外に住んでいる

経済的な問題

ひとつの団体に絞れないから。

Q10SQ1 **Q10** で「1. ある」と回答された方に伺います。あなたが受けた授業はどのような内容のものでしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。複数回ある場合は一番印象に残っているものをお答えください。

「その他」の回答

法的解釈

Q10SQ2 **Q10SQ1** で回答された授業を受けたのはいつですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「その他」の回答

会社で 2名

専門学生の頃

大学の聴講

社会人になったとき

フェイスブックを見てパートナーと一緒に

社会人院生として

Q11SQ1 **Q11** で「1. ある」と回答された方に伺います。あなたが受けた研修はどのような内容のものでしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。複数回ある場合は一番印象に残っているものをお答えください。

「その他」の回答

石巻市の職員に対し、LGBT の基礎知識的な話を（実体験を主に）話した。

Q11SQ2 **Q11SQ1** で回答された研修の対象はどのようになっていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「その他」の回答

市役所、各部署から1人ずつ参加してもらった。

希望参加型のイベント

Q12SQ1 Q12で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。具体的にどのような内容が望ましいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○「その他」の回答

LGBTという言葉でまとめずマイノリティの人々がたくさんいる事実を教えてください。年齢に応じて

自分で調べてマジョリティ性について考えるようなもの

違いはあるが、人間であり、差別するものではない授業

社会学科のような学科では学んだほうがよいと思う。内容的にはできるだけ深く。

LGBTに限らず、セクシュアリティについての話をしてほしい

当事者の現状より、LGBTが誰にでもありうる普通のことであることを医学的にちゃんと説明し、偏見の芽を生まないことから始めるべきだと思う

当事者の現状より、LGBTが誰にでもありうる普通のことであることを医学的にちゃんと説明し、偏見の芽を生まないことから始めるべきだと思う

多様性を認める人間教育に基にLGBTを設け詳しく説明する

多様性について学ぶ中で一例として。特別にすると特別視すると、LGBTでなくても、性で苦しい思いをしている人もいるから

Q12SQ2 Q12で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。実施する時期はいつが最も良いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○「その他」の回答

社会人 2名

なるべく早く

全校種において必要

未しゅうがく児の頃から

幼稚園や保育園から必ずしないと。男の子は『青』女の子は『ピンク』ではない

Q13SQ1 Q13で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。具体的にどのような内容が望ましいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○「その他」の回答

SOGIとして自分のこととして考えられる内容で

法令、社会制度、差別について

LGBTという言葉ではなく、性の多様性として教える。

本来は社会人になる前に教育されていれば不要だ

当事者の現状より、LGBT が誰にでもありうる普通のことであることを医学的にちゃんと説明し、偏見の芽を生まないことから始めるべきだと思う

Q13SQ2 Q13で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。実施する対象はどのような形が良いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 「その他」の回答
非常勤の方も含める
全員

Q17 渋谷区の同性パートナーシップ証明書、世田谷区のパートナーシップ宣誓書をはじめとする同性カップルのパートナーシップを証明しようとする自治体が増えています。しかし、これらはいずれも法的なパートナーシップ制度ではありません。あなたは、日本においても、同性カップルに対する法的なパートナーシップ制度が必要だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 「その他」の回答
他府県なのでわからない
異性間の法的婚姻制度を廃止して、新しい制度へ
それについての知識が少なく考えられない。

Q20 海外のみではなく、日本においてもLGBTのカップルが家族を形成し、子育てをしている現状があります。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 「その他」の回答
以前アメリカで見た映画はゲイの二人が子供をすごくうまく育てていたのになにかゆとりのある教育をしていて子育て真っ最中だった主婦として教えられた気がして感動した

Q22 あなたのおすまいはどちらですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 「その他」の回答
フィリピンと渋谷区
ドイツ、ベルリン
タイ

Q23 あなたはどなたと暮らしていらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「その他」の回答
結婚している

家族、夫、娘、息子
友人（スペイン人）
夫、子供二人、犬三匹
両親、祖母
ゲイのいそろうがいる
学生寮
私と子ども（今は別居中）

Q24 あなたのお仕事について伺います。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○「その他」の回答

実子
就労意向支援事業所通所
年金者
大学非常勤講師
福祉工場（A型）
大学教授答

Q27SQ1 Q27で「1.利用しない」「2.絶対了解しないというわけではないが、多分了解しない」と回答された方に伺います。利用しないのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

○「その他」の回答

ストレートだから
パンセクシュアルなので法律結婚可能な場合もあるため
自分がどんな性の人と結ばれるかまだわからないから。
パートナーは必要ないため
そもそもパートナーがいない
現在結婚しているから
必ずしも結婚するとは限らないから。
異性と結婚したいから。
性転換手術済みだから
もう養子縁組をしているから
まだわからない
一夫一婦制に反対だから
パートナーシップに反対というわけではないが、1対1の人間関係が歪だと感じており、パートナーを持つことに抵抗がある。
パートナーがいるかどうかわからないから

法律婚が可能なので（男女である）
どちらが好きなのか分からないから
婚姻に反対だから

Q27SQ2 Q27で「3.必ず利用するかどうか分からないが、たぶん利用する」「4.必ず利用する」と回答された方に伺います。利用しようと思うのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」の回答

自分の家族や親族が納得しやすいかもしれないから
可視化になるから。これからの条例の基になるから
親に二人の関係を説明する根拠になるから

Q28 生涯をともに歩んでいこうと思う特定のパートナーの方ができた場合、あなたは、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」の回答

証明書が必要のない世界
地域の人に理解してもらう
合法的な婚姻
同居契約またはパートナーシップ契約をする
周囲の人に理解してもらえなくてもいいが、事実は伝えられる範囲で伝える。
パートナーを必要としない
二人でくらせていければどうでもよい
相続ができるかどうか

Q29 生涯をともに歩んでいこうと思う特定のパートナーの方ができた場合、あなたは、パートナーの方と子供を持ちたいですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「その他」の回答

子供のいる家庭に強く憧れるが教育上の影響が心配なので葛藤している
もちたかった。もう年だから体力的にムリ
まだわからない
なんらかの形でそういった巡り合わせがあれば、という程度で持ちたい
かつては持ってもよいと考えていたが、今は年齢的に難しい
パートナーも子供も必要としない

Q29SQ1 Q29で「1.パートナーもしくは自分と血のつながった子供をもちたい」、「2.養

子や里子などの形で子どもをもちたい」、「3.『1.』または『2.』の形で子どもをもちたい」と回答された方に伺います。それはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」の回答

自分たちとのつながりを感じる

1~7の理由がわからない

Q29SQ2 Q29で「5.子供はもちたいとは思わない」と回答された方に伺います。それはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」の回答

「子を持つ」ということをあきらめた身なので

パートナーと私の子供でないといやだから

年齢的にムリかと

Q32 あなたの身体的性と性自認について伺います。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

「その他」の回答

日によって変わる

性自認(X)、性的指向(G)

そもそも「性自認」が何か、感覚的に理解できない。

MtX 性別変更済み

アレドのジニー

FTM→戸籍上男性に変わっている

身体的には男性だが女性として暮らしたい

Q33 あなたの性的指向についてお伺いします。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください

「その他」の回答

性自認(X)、性的指向(G)

女性の恋人がいるが、自身の性が X のため、レズビアンとはいえない

トランスジェンダー

アセク&ノンセク

FTM バイ

上記にいずれも合致しません

Q34 あなたがご自身の性自認や性的指向について自覚されたのはいつごろからですか。
①なんとなく感じた時期、②はっきりと認識した時期について、あてはまる番号を選択肢から1つだけ選び()内に記入してください。

「その他」の回答
はっきりしていない

Q35SQ1 Q35で「2.一部の人にだけしている」と回答された方に伺います。具体的にはどなたにカミングアウトされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」の回答
理解のある人
社内コミュニティ担当部署
塾の友人
カウンセラー
NPOの活動での知人
世間に
新聞上またはSNS

Q35SQ2 Q35で「1.だれにもしていない」、「2.一部の人にだけしている」と回答された方に伺います。カミングアウトをされていない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」の回答
傷つける人もいるから
ゲイは気持ち悪いと言われたことがあったため
めんどくさい
パートナーがカミングアウトを望まないから
オペもおわって、希望の性で生活できているので、カムする必要がないときにはしない
聞かれた場合のみ

【自由記述】

・楽かったです。アンケートぜひ役立ててください！！

・HAPPY PRIDE

・LGBTQの部分には、大変配慮をして作られているとは思いましたが、その他のマイノリティの中のマイノリティにはあまり配慮されていないように感じました。Q7以降は、LGBTとそうではない人の区別があまりにもはっきりしすぎているように感じました。もう少しマイノリティの方々を想定した幅広い選択肢があればよいかと思います。

・一緒に頑張りましょう！！

・私この世界に生まれたことに神に感謝

・お疲れさまでした。すてきなイベントを企画運営ありがとうございます。フロートの出発・時間が遅れたのは困りました。プロのカメラマンを時間指定でたのんでいたのに、どうなるかハラハラでした。

・このようなアンケートの機会を与えていただき感謝しています。私はすでに65歳になります。(私はゲイです)16歳で母にカミングアウトしてから、ずっと心の内楽でいます。しかし外ではやはりいろいろなこともありました。今もいつあの人はゲイ？と噂されることの不快感はあります。でも、今の職場では、カミングアウトを同僚の助けでさせてもらいました。信頼できる同僚が助けてくれました。なかなか自分から積極的に、自分がゲイだとは言いません。言えません。私は、自らダイレクトにいう必要はないと思っているほうですから、仲間を支えられてのカミングアウトを成功させたのだと思います。それでも、新しい人に出会うときなど不安になります。不安にならなくてもよい時が、私の一生の間に来て、みんなが楽に生きていって欲しいです。意見を書かせてくれてありがとう！！

楽しかったです。パレードの時の沿道の声援があんなにもあたたかいものだと思いますでした。泣きそうになりました。来年もまた参加したいです。

・界限全体としてちってジャンル分けにこだわりすぎではないか。結婚はひとつの手段に過ぎないし、LGBTQで分類できない人もいる。

・公式ホームページの多言語翻訳は自動翻訳を使っており言葉、異言語や異文化に対する敬意が感じられません。きちんと翻訳者に依頼してやくしてほしいです。

・パレードが過去最大の参加者数だったとのこと、とてもうれしいです。ボランティアの皆さまありがとうございました。ただ唯一残念なのが、あまりの人でパレードの待機時など、具合が悪くなってしまおう人が出そうなほどの混雑、混乱でした。待機場所を柵などで囲むなどして、他の歩行者を入れず、1つ1つのフロートを集めて、送り出すなど、一度に集まってしまわない方が良いと思いました。

・アンケート結果が、今後のイベント等に活かされることを望みます。警察等警備の方々に、感謝を伝えられるようなパレード内容であってほしいです。

・イベント大きくなったね～。

・今回のイベントに関して、普段、周りの人に自分がそうであることをカミングアウト出来ずして、一人で抱え込んでしまっている人も、このイベントを通して、同じ境遇の人に出会えることができ、心の苦しみが軽くなりますし、色々な教訓が得られるととてもいいイベントだと思います。これからもこういったイベントを開催して、少しでもLGBTを理解してもらえることが増えていけばいいなと思います。

・企業の協賛が増えていることは、一般の理解が進むことにもなるが、当事者の気持ちが「営利」に負けない様なイベント内容にしていかなければ、いずれ破綻していくのではないかと(当事者がいなく、五居づらくなってしまおう)と思う。

・楽しかった。来年もまた来たい

・パートナーシップ問題の選択肢についてすでに使っている人の選択肢が欲しかった。なかなかボリュームのあるアンケートなので家に帰ってからじっくり答えられるように web 版が欲しい。

・写真の無断での up や決められたブース以外のほかのスペースの使用などルールを守ってほしい。たくさんの方の笑顔が今年も見れてよかった

・LGBT 以外にも、人間関係の深いところで悩み苦しむ死を考えたことのある人は共感できると思う。その他のように LGBT 以外にも家族に利用されかけて自分の性を嫌ったり自分らしく生きにくい人生を歩んでいる人はたくさんいるので愛とやさしさがあふれる世の中になればいい。また、LGBT 同士で子どもや家庭を持つことは大賛成だ。

・アンケートの量が多いのと複雑で答えるのが大変でした

・初めて来てみたが、こんなにもたくさんの方がいるとは思わなかった。しかし、LGBT に対しての取り組み、イベントをすることで理解してくれていると思う。

・TRP 最高

・昨年も当アンケートに参加しました。今もこうして調査が続いていることを LGBT 当事者として嬉しく思いました。研究の成功をお祈りしています。

・昨年よりも企業ブースも増えて人もたくさん参加してとてもはなやかになった印象。当事者の方（私はちがうけど）も昨年より、お多いと感じた。ぜひマスコミ等にもこのレインボープライドをアピールしてもっと社会に周知できるようになったらいいと思う。

・LGBT を発信することはとてもすばらしいと思います。今後、国や自治体、企業になるきっかけになると思います。お祭りのような要素を重要ですが、現状として人の人生や生命にしかかわる部分も発信するなどよいかと思います。上記のような事、企業や国に求めます。また医療機関などが参加するなどより今後の発展につながるかと思っています。

・Q28 が TS ヘテロには答えがないです

・蝶ネクタイ欲しかった。売り切れていて残念。

・LGBT という言葉が誇りである。もっと松浦さんの言葉を理解する必要がある。「言葉の断片だけをとらえきゅうだんしても事の解決にはなりません」杉田辞めろデモはまちがいだ!!!

・イベントの企画運営ありがとうございました。

・来年の TRP は、オリンピック開催の年なので、五輪組織委員会や J リーグ、B リーグといったスポーツ団体と連携したほうがよいのでは？今年の場合、初日に J リーグや B リーグ、プロ野球の試合が行われていたので、試合の休憩時や開始前に何か告知をしたり、TRP 会場やパンプなどでメッセージをいただいたほうがよいと思います。TRP の運営側に元フエニング日本代表の杉山文野さんもいらっしゃるの、その人脈で何かできないでしょうか。よろしく願い申し上げます。

・事前レジストなしの自由参加型のパレードは、当日フロートなどを見てその場の雰囲気

自分で自由に決めることができるのでとても良いアイデアだと思いました。

・LGBTにLGBTしか含まれていない。QuestingとしてQ25で③を選んでいたら、後の部分が「LGBT」であることが確定されていて、答えられなかった。内容がおかしいです。LGBT しっかり勉強してアンケート作ってください。色々なアンケートに対し、当事者が「この質問はおかしくないか？」と思う人が回りに結構いますので。これからも色々勉強して頑張ってください。

・たくさんのアンケートをまとめるのは大変だと思いますが応援しています。

性自認については複雑な分類にわかれていると思います。病気が原因で処方した薬によって男性化して、FTM ゲイという方がいたり、家族がいて子どもが大きくなり、女性ホルモンを始めようとしている方もいたり、それでいて現在のパートナーとずっといたいという意思をもっている人がいたり。自分のように、FTM で性転換をしたが、10%、20%は男性を好きかもでも一生なら女性のパートナーを求めているなど、とても複雑です。

もっと LGBT 等の啓蒙活動をして下さい。社会に知らない人が多すぎて、説明が面倒で消耗する。がんばってください

・レイアウトが見やすく、今後作成する予定の質問紙の参考になった

アンケートがあるのは知らなかった

・パレードに参加して、楽しくメッセージを交換できる体験ができてよかったです。ありがとうございました。

・Q25 から先のアンケート内容はLGBT 以外でも回答可にしても良いのでは？

年々企業ブースが増えて盛り上がっているけれど、団体ブースが減ってしまっているのが残念。地方から参加しているので難に一度、毎年活動団体の方々とお会いし、情報交換の場でもあったので。

・露出は本当に禁止してほしい

・アンケート結果楽しみにしています！

・素晴らしいイベントだと思います。今後もよりよく発展させて頂きたいです。

多くの意見や考えを得られてより正確な分析の礎とありますことを期待しております。私は現在住んでいる自治体（北海道網走市）でパートナーシップ制度の導入を求め議会へ陳情を行ってます。当事者がどのように考えているかがよくわかる客観的なデータが多く集まれば行政当局も考えるようになると思っております。本日は参加させていただきありがとうございました。

・Q34 の質問の意図が知りたい。意図によっては危険な質問だと感じた

・イスラエルの取材にかんしてもう少し整備をしてほしい

・ごくろうさまです！Happy pride

・初めて参加しましたが、感動しました！！こんなに多くの方がパレードやブースに足を運んでいるなんて、地元に住んでいたら一生わからなかったと思います。今後ももっと楽しくLGBTを感じる事ができればと思います！！

・周囲（友人）にLGBTがおり、関心を持っている。LGBTへの人権問題も深刻化しており、日本でも意識が高まっている。企業は研修をすることが増えているというが役所、教育、福祉、医療の分野ではまだまだ理解が進んでいない。同姓婚の法制化とともにLGBT（性的マイノリティ）への理解は急務と考えている。私は当事者ではないが当事者に寄添い、これからも認知度や活動にも注視していきたい

・職場にもカミングアウトしてくれた方がいる、ただどう接すればいいのかよくわからない

・来年もまた来ます。

・また来年も来たいです。楽しみにしていると同時にもっともっとこのイベントが大きくなってほしいです。

・興味本位で初めて参加しましたが、大変感動いたしました。無意識に自分にしていたフタが外れたような気持ちになりました。LGBTの人達には少なからず偏見がありましたが今日来て無条件で自分を受け入れてくれているようなそんな自由な気持ちになりました。LGBTの方達のことをもっと知りたいと思うようになりました。

・今回初めてこのイベントに参加させていただきました。とてもグローバルですごく心地よかったです。このストレスフリーな空間が当たり前になるといいなと思いました。

フラッグの小さいやつを出してほしい。昔は売っていたミニサイズ。（リュックにも収まる）、・トイレを増やしてほしい。

・パレード後に配布したらよかったですね。結果が出たら周知してください。

来てよかった。

・今回、初めて東京のレインボーパレードに参加できて大変うれしい。沿道の人や、歩道橋の人たちにも手を振ってあげた。すごい人ばかりだったが楽しかった。

・LGBTの子ども（幼児～中高生）までの記述+その親がどう思っているかのアンケート欄も欲しい。

(参考資料 1)

東京レインボープライド 2019 来場者アンケート

お願い

本アンケートは、東京レインボープライドにご来場、ご参加くださった方々を対象として、本イベントのご感想、ご意見をお伺いし、来年度以降の開催にあたっての参考にさせていただくことを主要な目的としています。「駒澤大学『人を対象とする研究』に関する倫理委員会」の承認を受け、「東京レインボープライド 2019」の協力を得て、「駒澤大学文学部社会学科松信ひろみ研究室」が主体となって実施するものです。

無記名でご回答いただきましたアンケートは、統計的な処理により、個人の回答は特定できない数値の形（どの回答が何%といった形）で表されます。アンケートでは、みなさまの年齢や職業、セクシュアリティ、そして日ごろの活動や様々な事柄に関するお考えなど個人的なことも伺っておりますが、これらは、どのような方がどのようなご感想・ご意見をお持ちなのかといった傾向を分析するために必要なものです。本アンケートの趣旨をご理解の上、可能な限りご回答いただけますよう、お願い致します。

なお、本アンケートの結果は、秋以降の「東京レインボープライド 2019」の HP にて公開される予定です。また、昨年度の来場者アンケートにつきましては、現在 HP 上にて公開中です。

ご回答へのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

2019.4.28,29

調査主体：駒澤大学文学部社会学科社会学専攻
松信ひろみ研究室（社会学専門演習演習Ⅱ）
email:mhiromi@komazawa-u.ac.jp

【レインボープライドの会場でのイベントについて伺います】

Q1 今回の東京レインボープライド 2019 を知ったきっかけについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 友人・知人の紹介 | 5. Twitter をみて |
| 2. 自分がかかわっている団体が参加する | 6. たまたま近くを通りかかった |
| 3. ラジオ放送などマスコミの報道 | 7. 以前から来ている |
| 4. HP などインターネットのサイトをみて | |
| 8. その他（具体的に： _____） | |

Q2 東京レインボープライド（プライドパレード）への参加は今回で何回目ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 1回目（初めて） | 4. 4回目 |
| 2. 2回目 | 5. 5回以上 |
| 3. 3回目 | 6. その他（ _____） |

Q3 あなたがこの催しにいらっしゃった目的について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. パレードに参加するため | 2. パレードを見物するため |
| 3. ブースを出展するため | 4. ブースでの買い物や見学のため |
| 5. ステージに出演するため | 6. ステージを見るため |
| 7. ボランティアとして参加 | 8. たまたま通りかかった |
| 9. LGBT に関する知識や情報を得るため | 10. PRIDE に関する知識や情報を得るため |
| 11. LGBT の友人を増やすため | 12. LGBT の友人に会うため |
| 13. LGBT の仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため | |
| 14. その他（具体的に： _____） | |

Q3SQ1 Q3 の中で一番主要な目的は何ですか。あてはまる番号を1つだけ（ _____ ）内にご記入ください。（ _____ ）

Q4 会場でのイベントにはどの程度満足しましたか。a から d に関して、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	満足していない	やや満足していない	まあ満足している	満足している	体験・参加していない
a.ステージ	1	2	3	4	5
b.ブース	1	2	3	4	5
c.パレード	1	2	3	4	5
d.飲食の屋台	1	2	3	4	5
e.会場全体	1	2	3	4	5

Q4SQ1 Q4で「1. 満足していない」、「2. やや満足していない」に○をつけた方に伺います。それぞれについてどのような点に満足されなかったのでしょうか。それぞれについてあてはまる番号に3つまで○をつけてください。

a.ステージについて

1. 開始時間、終了時間がよくわからない	2. 何をやっているのかよくわからない
3. 内容に関心がもてない	4. 混雑していてよく見ることができない
5. パレードと被っていると見ることができない	6. メッセージ性が弱い
7. その他（具体的に： _____）	

b.ブースについて

1. どこに何があるのかわかりづらい	2. 出展ブースの内容に偏りがある
3. 参加しづらい雰囲気がある	4. 会場、ブースが狭すぎる
5. 何のブースなのか（内容、目的、支援体制など）がわかりづらい	
6. 通路が狭くて混雑している	
7. その他（具体的に： _____）	

c.パレードについて

1. 集合場所がよくわからない	2. 開始時間がよくわからない
3. LGBT とは無関係の主張をしている	4. 出発場所や到着場所が良くない
5. メッセージ性が弱く、主張がうまく伝わっていない	
6. 服装が好ましくない（露出が多いなど）人がいる	
7. その他（具体的に： _____）	

d.飲食の屋台

1. どこに何があるのか場所がわかりにくい	2. 食べるスペースが狭い
3. 同じような内容の屋台が多い（種類が少ない）	4. 値段が高い
5. 混雑しすぎていてなかなか買えない	6. ソフトドリンクの販売が少ない
7. その他（具体的に：	）

e.会場全体

1. ブースや屋台など会場全体の配置がわかりにくい	2. トイレの数が少ない
3. 一人だと参加しづらい雰囲気がある	4. ゴミ箱の数が少ない
5. ゴミ箱の場所がわかりにくい	6. 会場案内がわかりにくい
7. その他（具体的に：	）

Q4SQ2 Q4 で「1. 満足していない」、「2. やや満足していない」に○をつけた方に伺います。それぞれについて具体的な改善策やご提案がありましたら、（ ）内にご記入ください。

- a.ステージについて（ ）
b.ブースについて（ ）
c.パレードについて（ ）
d.飲食の屋台について（ ）
e.会場全体について（ ）

Q5 今回からパレードへの参加方法が変わり、事前予約なしに、当日参加することが可能になりました。今回のようなパレードへの参加方法をどのように思われますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

Q5SQ1 Q5 で「3. あまりよくない」、「4. よくない」に○をつけた方に伺います。どのような点が良くなかったのでしょうか。（ ）内に具体的にご記入ください。

（ ）

Q6 会場には多くの企業がブースを出展していますが、これらの企業は、LGBT に理解のある企業として好感がもてますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|--------------|-----------|-----------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. ややそう思う | 4. 大変そう思う |
|-----------|--------------|-----------|-----------|

Q7 プライドウィークの期間は、この会場でのプライドフェスティバルとパレードのほか、オープニングレセプションをはじめとしてパーティやワークショップなど様々な催しが行われています。あなたはこれらにも参加します(した)か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. パレードとフェスタ以外にそのような催しがあることは知らなかった。 | |
| 2. パーティに参加した (する予定) | 3. レクチャーに参加した (する予定) |
| 4. ワークショップに参加した (する予定) | 5. 交流会に参加した (する予定) |
| 6. オープニングレセプションに参加した | 7. 前夜祭に参加した |
| 8. クロージングパーティに参加する予定 | 9. いずれにも参加する予定はない |
| 10. 未定 | |
| 11. その他 (具体的に : |) |

Q8 東京レインボープライドでは、プライドウィークの企画・運営の他、渋谷区のLGBTを対象としたコミュニティスペース(＃渋谷にかける虹)の企画・運営なども行っています。「＃渋谷にかける虹」のような東京レインボープライドが年間を通じて運営を行う企画として、希望するものやアイデアがあれば、()内に具体的な内容をご記入ください。
()

【以下では、皆様の日常生活やお考えについてお伺いします】

Q9 あなたはLGBT関連の団体や活動に参加していますか？あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. LGBT関連の団体に所属、もしくは活動に参加している (→Q10へ) |
| 2. LGBT関連の団体への所属、もしくは活動はしていない (→Q9SQ1へ) |

Q9SQ1 Q9で「2. LGBT関連の活動はしていない」と回答された方に伺います。そうし

た活動をされていないのはなぜですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. どのような団体や活動があるのかよくわからないから
2. そうした団体や活動に興味がない、興味のもてる団体がないから
3. どのように参加したらよいかかわからないから
4. 関心はあるが、機会・きっかけがないから
5. まわりにカミングアウトしていないので、かかわることができないから
6. 活動にかかわる必要性を感じないから
7. LGBT 当事者ではないので、かかわることに躊躇してしまうから
8. かかわる時間がないから
9. その他（具体的に： _____)

Q10 あなたは、これまでに学校で LGBT に関する授業を受けたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. ある (→Q10SQ1 へ) | 2. ない (→Q11 へ) |
|-------------------|----------------|

Q10SQ1 Q10 で「1. ある」と回答された方に伺います。あなたが受けた授業はどのような内容のものでしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。複数回ある場合は、一番印象に残っているものをお答えください。

1. LGBT やセクシュアルマイノリティといった言葉などについて簡単に触れた程度
2. 具体的事例をあげたり、映像などを使ったりして LGBT 当事者の現状などについても詳しく説明された
3. LGBT という言葉の説明にとどまらず、当事者を招いて話しを聞いた
4. その他（具体的に： _____)

Q10SQ2 Q10SQ1 で回答された授業を受けたのはいつですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------------------|--------|--------|--------|
| 1. 小学生 | 2. 中学生 | 3. 高校生 | 4. 大学生 |
| 5. その他（具体的に： _____) | | | |

Q11 あなたは、これまでに職場で LGBT に関する研修を受けたことがありますか。あて

はまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. ある (→Q11SQ1 へ) | 3. 非該当 (学生もしくは職場経験がない) |
| 2. ない (→Q12 へ) | |

Q11SQ1 Q11で「1. ある」と回答された方に伺います。あなたが受けた研修はどのような内容のものでしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。複数回ある場合は、一番印象に残っているものをお答えください。

- | |
|--|
| 1. LGBT やセクシュアルマイノリティといった言葉などについて簡単に触れた程度 |
| 2. 具体的事例をあげたり、映像などを使ったりして LGBT 当事者の現状などについても詳しく説明された |
| 3. LGBT という言葉の説明にとどまらず、当事者を招いて話を聞いた |
| 4. その他 (具体的に :) |

Q11SQ2 Q11SQ1で回答された研修の対象はどのようになっていましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------------|
| 1. 社員全員 | 2. 人事部など一部の部署の社員のみ |
| 3. 管理職のみ | 4. 新入社員のみ |
| 5. 希望者のみ | 6. その他 (具体的に :) |

Q12 あなたは、学校で LGBT に関する授業があったほうがよいと考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. あったほうがよい (→Q12SQ1 へ) | 2. なくてよい (→Q13 へ) |
|-------------------------|-------------------|

Q12SQ1 Q12で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。具体的にどのような内容が望ましいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. LGBT やセクシュアルマイノリティといった言葉について簡単に触れる程度 |
| 2. 具体的事例をあげたり、映像などを使ったりして LGBT 当事者の現状などについても詳しく説明する |
| 3. LGBT という言葉の説明にとどまらず、当事者を招いて話を聞く |
| 4. その他 (具体的に :) |

Q12SQ2 Q12で「1. あったほうがよい」と回答された方に伺います。実施する時期はい

1. 全く考えない 2. あまり考えない 3. やや考える 4. 大いに考える

Q16 あなたは、LGBTが集まるお店（飲食店など）をどの程度利用しますか？あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. ほとんど利用したことがない | 2. 年に1, 2回くらい |
| 3. 2, 3か月に1, 2回くらい | 4. 月に1, 2回くらい |
| 5. 週に1, 2回くらい | 6. 週に3, 4回くらい |
| 7. ほぼ毎日 | |

Q17 渋谷区の同性パートナーシップ証明書、世田谷区のパートナーシップ宣誓書をはじめとする同性カップルのパートナーシップを証明しようとする自治体が増えています。しかし、これらはいずれも法的なパートナーシップ制度ではありません。あなたは、日本においても、同性カップルに対する法的なパートナーシップ制度が必要だと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 異性間の法的婚姻制度と同じ同性間の法的な婚姻制度 |
| 2. 異性間の法的婚姻制度とは異なる形での法的な保障を伴うパートナーシップ制度 |
| 3. 法的保障は伴わないが、パートナーであることを証明できる制度 |
| 4. 法的婚姻ではなく、異性カップル・同性カップルにこだわらない事実婚の形で法的な保障を受けられる制度 |
| 5. 同性カップルに対するパートナーシップ制度は必要ない |
| 6. その他（具体的に： _____） |

Q18 セクシュアリティを表す表現として「SOGI（ソギ）」あるいは「SOGIE（ソギー）」という用語を使用することがあります。また、多様なセクシュアルマイノリティを示す言葉として、LGBTの他、LGBTQ、LGBTIQなどの表現を使うこともあります。あなたは、これらの言葉を聞いたことがありますか。それぞれについてあてはまる番号を選択肢から1つだけ選び、() 内にその数字を記入してください。

- (ア)SOGI () ② SOGIE ()
(ア)LGBT () ④ LGBTQ () ⑤ LGBTIQ ()

(選択肢)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 全く聞いたこともないし、意味も知らない。 |
| 2. 言葉も聞いたことはあるが、意味はよくわからない。 |
| 3. 聞いたこともあり、意味も知っている。 |

Q19 あなたは LGBT の方が親として子どもを養育することについて、どのように思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------|------------|---------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|-------|---------|------------|---------|

Q20 海外のみでなく、日本においても LGBT のカップルが家族を形成し、子育てをしている現状があります。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 海外でも日本でもそうしたことがあるとは知らなかった |
| 2. 海外ではそうしたことがあることを知っていたが、日本のことは知らなかった |
| 3. 海外でも日本でもそうしたことがあることを知っていた |
| 4. その他（具体的に： _____） |

【以下では、あなたご自身のことやご家族のことについて伺います。集計・分析に必要な質問項目ですので、趣旨をご理解の上、できるだけお答えください】

Q21 あなたは現在おいくつですか。あなたの年齢を（ _____ ）に数字で記入してください。
（ _____ ）歳

Q22 あなたのおすまいはどちらですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 渋谷区 | 2. 東京 23 区（渋谷区を除く） |
| 3. 東京都下（三鷹市、小平市、国立市、八王子市など都内市部及び町村） | |
| 4. 関東地方（千葉、埼玉、神奈川、茨城、群馬、栃木） | |
| 5. 北海道・東北地方（北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島） | |
| 6. 中部地方（新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知） | |
| 7. 近畿地方（三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山） | |
| 8. 中国地方（鳥取、島根、岡山、広島、山口） | |
| 9. 四国地方（香川、愛媛、徳島、高知） | |
| 10. 九州・沖縄地方（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄） | |
| 11. その他（具体的に： _____） | |

Q23 あなたはどなたと暮らしていらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------|----------|
| 1. 一人暮らし | 2. 自分の父親 | 3. 自分の母親 |
| 4. パートナーの父親 | 5. パートナーの母親 | 6. パートナー |
| 7. 自分又はパートナーの子ども | 8. 兄弟姉妹 | 9. 祖父母 |
| 10. その他（具体的に： | | ） |

Q24 あなたのお仕事について伺います。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. 非正規社員・非正規職員（パート・アルバイト・派遣等） | |
| 3. 会社経営者・会社役員 | 4. 専門職 | 5. 自営業主（自由業を含む） |
| 6. 家族従業者 | 7. 学生 | 8. 無職（主婦を含む） |
| 9. その他（具体的に： | | ） |

Q25 あなたのセクシュアリティについて伺います。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. LGBT（セクシュアルマイノリティ）ではない（→アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。お気づきの点があれば、最後の自由記入欄にご記入下さい） |
| 2. LGBT（セクシュアルマイノリティ）である（→Q26へ） |
| 3. わからない（→Q26へ） |

Q26 あなたは、現在お付き合いされている方はいらっしゃいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|-------------------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 過去にはいたが、現在はいない |
|-------|--------|-------------------|

Q27 あなたがお住まいの自治体でも渋谷区や世田谷区のようなパートナーシップにかかわる証明書が発行されることになったら、利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 利用しない（→Q27SQ1へ） |
| 2. 絶対利用しないというわけではないが、たぶん利用しない（→Q27SQ1へ） |
| 3. 必ず利用するかどうかわからないが、たぶん利用する（→Q27SQ2へ） |
| 4. 必ず利用する（→Q27SQ2へ） |

Q27SQ1 Q27で「1. 利用しない」「2. 絶対利用しないというわけではないが、たぶん利用しない」と回答された方に伺います。利用しないのはなぜですか。あてはまる番号すべ

てに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 証明書の取得手続きが面倒だから | 2. 証明書の発行にお金がかかるから |
| 3. 必要性を感じないから | 4. 証明書を利用する機会があまりないから |
| 5. 法律によって保障される制度ではないから | 6. 実効力がないから |
| 7. 異性間のパートナーシップと区別しているから | 8. 周囲に知られたくないから |
| 9. トランスジェンダーに配慮がないから | 10. パートナーシップには反対だから |
| 11. その他（具体的に： | ） |

Q27SQ2 Q27で「3. 必ず利用するかどうかわからないが、たぶん利用する」「4. 必ず利用する」と回答した方に伺います。利用しようと思うのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. パートナーや子どもの入院・手術など病院関連のことで、これまでに困ったことがあったから（これからあるかもしれないから） | |
| 2. パートナーと住まいを探すときに、これまでに困ったことがあったから（これからあるかもしれないから） | |
| 3. 職場で配偶者関連の福利厚生を受けたいから | |
| 4. パートナーであることを公的機関から証明してもらうこと自体がうれしいから | |
| 5. 当然の権利だと思うから | |
| 6. 今後役に立つかもしれないから | |
| 7. その他（具体的に： | ） |

Q28 生涯をともに歩んでいこうと思う特定のパートナーの方ができた場合、あなたは、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. パートナー証明書の取得 | 2. 結婚式を挙げる |
| 3. 二人で落ち着いて暮らすことのできるすまいを探す | |
| 4. 職場で二人の関係を理解してもらう | 5. 友人に二人の関係を理解してもらう |
| 6. 両親や家族に二人の関係を理解してもらう | |
| 7. その他（具体的に： | ） |

Q29 生涯をともに歩んでいこうと思う特定のパートナーの方ができた場合、あなたは、パートナーの方と子どもをもちたいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. パートナーもしくは自分と血のつながった子どもを持ちたい | 4. パートナーの意向による |
| 2. 養子、里子などの形で子どもを持ちたい | 5. 子どもを持ちたいとは思わない |
| 3. 「1.」または「2.」の形で子どもを持ちたい | 6. その他（具体的に： _____） |

Q29SQ1 Q29で「1. パートナーもしくは自分と血のつながった子どもを持ちたい」、「2. 養子や里子などの形で子どもを持ちたい」「3. 『1.』または『2.』の形で子どもを持ちたい」と回答された方に伺います。それはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 血のつながった子孫を残したいから | 2. 子育てをしてみたいから |
| 3. 自分の親に孫の顔を見せてあげたいから | 4. 親になってみたいから |
| 5. LGBTだからといって子どもがもてないのはおかしいから | |
| 6. 養子や里子を養育することで恵まれない子どもの役に立ちたいから | |
| 7. 子どもが好きだから | 8. その他（具体的に： _____） |

Q29SQ2 Q29で「5. 子どもは持ちたいとは思わない」と回答された方に伺います。それはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 子育てには関心がないから | 2. 子どもが好きではないから |
| 3. 子育てをするだけの余裕がないから | 4. 自分に子育てできるとは思わないから |
| 5. 親が LGBT であると子どもがかわいそうだから | 6. 親にはなりたくないから |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

Q30 あなたは日常生活において、LGBTであるからということで不便、不自由を感じることはありますか？a から c についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	ほとんどない	あまりない	ときどきある	よくある
a.職場や学校での人間関係	1	2	3	4
b.近隣関係	1	2	3	4
c.施設利用（宿泊・娯楽施設、病院など）	1	2	3	4
d.様々な保障制度（職場の福利厚生なども含む）	1	2	3	4

Q31 近年 LGBT やセクシュアルマイノリティという言葉は浸透してきましたが、あなたは、LGBT 当事者でない方には、どのような理解を求めますか。a から c についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
a. 誹謗中傷や差別をしないなら理解や知識は求めない	1	2	3	4
b. 当事者の抱える問題を理解してほしい	1	2	3	4
c. セクシュアルマイノリティの詳しいカテゴリーを理解してほしい	1	2	3	4

Q32 あなたの身体的性と性自認について伺います。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体的性も性自認も男性である 2. 身体的性も性自認も女性である 3. 身体的性は男性だが、性自認は女性である (MtF) 4. 身体的性は女性だが、性自認は男性である (FtM) 5. 身体的性は男性だが、性自認は男性でも女性でもない (MtX) 6. 身体的性は女性だが、性自認が女性でも男性でもない (FtX) 7. 身体的性、性自認とも男性、女性のどちらでもない (XtX) 8. その他 (具体的に： _____) |
|---|

Q33 あなたの性的指向についてお伺いします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ヘテロ（異性愛）
2. ゲイ（男性同性愛）
3. レズビアン（女性同性愛）
4. バイセクシュアル（両性愛）
5. パンセクシュアル（全性愛：性別にこだわらず、愛情と性的欲求を感じる）
6. ノンセクシュアル（非性愛：愛情は感じるが、性的欲求を感じない）
7. アセクシュアル（無性愛：愛情も性的欲求も感じない）
8. クウェスチョニング（はっきりしていない）
9. その他（具体的に： _____）

Q34 あなたがご自身の性自認や性的指向について自覚されたのはいつごろからですか。①なんとなく感じた時期、②はっきりと認識した時期について、あてはまる番号を選択肢から1つだけ選び、() 内に記入してください。

(ア)なんとなく感じた時期 () ②はっきりと認識した時期 ()

(選択肢)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 小学校入学前 | 5. 高校生（16歳から18歳） |
| 2. 小学校低学年（1年生から3年生） | 6. 大学生（19歳から22歳） |
| 3. 小学校高学年（4年生から6年生） | 7. 社会人になってから（22歳以上） |
| 4. 中学生 | 8. その他（具体的に記入してください） |

Q35 あなたはご自身がLGBT（セクシュアルマイノリティ）であることを周りの方にカミングアウトしていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. だれにもしていない（→Q35SQ2へ）
2. 一部の人にだけしている（→Q35SQ1へ）
3. 家族、友人・知人、職場、学校など全ての人にしている（→アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。お気づきの点があれば、最後の自由記入欄にご記入下さい）

Q35SQ1 Q35で「2. 一部の人にだけしている」と回答された方に伺います。具体的にはどなたにカミングアウトされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

今回のイベントやこのアンケートに関しまして、ご意見・ご感想がありましたら、以下にご自由にお書きください。

あとがき（調査を終えて）

「東京レインボープライド 2019」への来場者は、4月 28 日、29 日の両日で 20 万人を超え、パレードは 10915 人という過去最高の参加だった。参加者は年々増加しており、このイベントの浸透ぶりが伺われる（「東京レインボープライド 2019」HP より）。LGBT でない方々もかなり参加するようになり、また、今年度のアンケート結果からは、「初めて」、「2 回目」という来場者は減少し、「5 回目以上」といったリピーターの方も増加していること、都内や関東など東京近郊区からばかりでなく、全国規模で参加者が広がっているということが読み取れる。

本調査の中心的な目的は、「東京レインボープライド」の催しに対する感想、意見を伺い、翌年度の改善点の参考にさせていただくということであるが、多様な LGBT の方々に「共通してみられる経験・意識」を見出そうとする学術的な関心も含んでいる。

ここ数年で、LGBT 当事者の方を対象とした量的調査（アンケート調査）も増加してきたが、これまでは LGBT の方々を対象とした調査といえば、インタビューなどの質的調査法に基づく、各個人ごとの事例調査が主体であった。つまり、「多様な LGBT の方々」の「多様な個別の経験・意識」を明らかにするという調査である。しかし、今回の調査は、調査票に基づく量的調査であり、多様な LGBT の方々の「個別の経験・意識」ではなく、多様な LGBT の方々に「共通してみられる経験・意識」を見出すことが可能である。本調査は、来場者を対象としたとはいえ、調査に協力してくださった方は、約 20 万人の来場者の極一部である。さらに言えば、今回の催しに来場した LGBT の方々を対象としている調査であるため、必ずしも「日本の」LGBT の方々を代表しているとはいえない。とはいえ、本調査により、「多様な LGBT の方々」が共通して抱えている問題、意識を発見する糸口を見出すことができたといえるのではないだろうか。また、来場者には LGBT 当事者でない方も含まれているため、意識の比較も行うことができた。

本年度は「来場者アンケート」も 5 年目を迎え、1 月には 5 年間のデータの推移についての報告会も実施した（そのときの資料は参考資料 2 として本報告書に収録した）。毎年来場者は増加しているにもかかわらず、来場者アンケートの回収は増えていない。今後は、どのようにすればより多くの方に回答していただけるか、方法を模索して行きたい。

最後に、本調査の実施を快諾してくださった「東京レインボープライド 2019」の共同代表者である山縣真矢さんと杉山文野さん、来場者アンケート実施にご協力くださった東京レインボープライドのスタッフのみなさん、そして、何よりも本調査にご回答くださった来場者の方々に感謝し、本報告書の結びとしたい。

020 年 2 月 27 日

駒澤大学文学部社会学科 松信ひろみ

「東京レインボープライド 2019 来場者アンケート調査」報告書

2020 年 2 月 27 日発行

発行 駒澤大学文学部社会学科社会学専攻

松信ひろみ研究室（社会学専門演習Ⅱ）

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1 - 2 3 - 1

第一研究館 1515

電話 03 (3418) 9298 (研究室直通)

Email: mhiromi@komazawa-u.ac.jp